湖国の感動 未来へつなぐ

わたSHIGA輝く国スポ

第79回国民スポーツ大会

2025

JAPAN GAMES

ソフトボール競技会

令和７年９月29日(月)から10月１日(水)まで

■主催　公益財団法人日本スポーツ協会 / 文部科学省 / 滋賀県
公益財団法人日本ソフトボール協会 / 東近江市 / 高島市 / 草津市 / 守山市

国民スポーツ大会

国民スポーツ大会（国スポ）は、広く国民の間にスポーツを普及し国民の体力向上を図るとともに、地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与することを目的として、毎年開催される国内最大の総合スポーツ大会です。
都道府県対抗で行われる正式競技・特別競技・公開競技のほか、年齢・性別・障害のあるなしを問わず、誰もが参加することができるデモンストレーションスポーツが実施されます。

第79回国民スポーツ大会

大会愛称

わたSHIGA輝く国スポ

選手、ボランティアをはじめ、滋賀県で開催するこの大会に関わるすべての人が、様々な場面で主役として光り輝き、夢や感動、連帯感を共有できる大会を目指します。

大会スローガン

湖国の感動 未来へつなぐ

「琵琶湖」を擁する湖国滋賀で生まれた感動が、この大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれるようにとの願いが込められています。

大会マスコットキャラクター

琵琶湖に生息する固有種「ビワコオオナマズ」をモチーフにしたキャラクターです。

■ キャッフィー
どんくさいわりにチャレンジ精神が旺盛で何事にも一生懸命。子ども好きで人を楽しませることが大好きです。

■ チャッフィー
「キャッフィー」の幼なじみで、昔から仲の良い友達です。泳ぐことは得意ですが、陸のスポーツは少し苦手で「キャッフィー」に教えてもらっています。

「キャッフィー」と「チャッフィー」を合わせて「キャッチ」。人の心をキャッチする、という意味が込められています。

目　　次

大会会長　あいさつ……1
文部科学大臣　あいさつ……2
公益財団法人日本ソフトボール協会会長　あいさつ……3
滋賀県知事　歓迎のことば……4
東近江市長　歓迎のことば……5
高島市長　歓迎のことば……6
草津市長　歓迎のことば……7
守山市長　歓迎のことば……8
滋賀県ソフトボール協会会長　歓迎のことば……9
国民スポーツ大会天皇杯・皇后杯授与規程……10
国民スポーツ大会会長トロフィー授与規程……11
大会役員……12
競技会役員……16
競技役員……20
競技補助員・競技会係員・競技会補助員 ……24
協力機関・団体等……25
総則……27
ソフトボール競技　実施要項……46
式典次第……51
競技日程・組合せ表……52
ソフトボール競技の見方……56
都道府県別参加数一覧表……62
選手名簿（成年男子）……63
選手名簿（成年女子）……71
選手名簿（少年男子）……79
選手名簿（少年女子）……87
競技成績採点方法 ……95
総合成績（天皇杯・皇后杯）一覧表……96

年次別成績一覧表 ……………………………………………………97
得点経過記入表 ……………………………………………………100
会場配置図（東近江市総合運動公園布引多目的グラウンド）……………102
会場配置図（高島市今津総合運動公園第１グラウンド・第２グラウンド）･104
会場配置図（草津市立野村運動公園グラウンド）……………………107
会場配置図（守山市民球場・守山市民運動公園ソフトボール場）…………109
会場案内図（東近江市周辺）……………………………………………112
会場案内図（高島市周辺）………………………………………………114
会場案内図（草津市周辺）………………………………………………115
会場案内図（守山市周辺）………………………………………………117
関係機関電話番号一覧 ……………………………………………………119

あ い さ つ

公益財団法人日本スポーツ協会
会長 遠藤利明（えんどう としあき）

約400万年の歴史を持つ日本最大で最古の湖である琵琶湖を中心に雄大な風景が広がり、古くから日本の文化や経済の先進地として栄えたここ滋賀県において、第79回国民スポーツ大会が開催されますことは、誠に喜ばしい限りです。

大会愛称である「わたSHIGA輝く国スポ」のとおり、大会に関わる全ての方々が主役となり、光り輝くことができる大会となることを願っております。

スポーツは、目標に向かっての努力と達成感、そして観戦する人をワクワクさせ、楽しく、心を動かすものであるからこそ、人々を、社会を元気にする力を持ちます。

本年６月、１４年ぶりに改正されたスポーツ基本法では、スポーツを「する」「みる」「ささえる」に加え、「集まる」「つながる」として明示されています。

厳しい予選を勝ち抜き、郷土の代表として集まったアスリートの皆様には、フェアプレーを通じて友情を深め、つながり、スポーツが楽しいものであることを体現いただき、開催地の皆様とも交流を深め、全国にスポーツの力と滋賀県の魅力を発信する伝道者になっていただければ幸いです。

さて、昭和21(1946)年にスタートした「国民体育大会」は、昨年から「国民スポーツ大会」へ名称を変えて新たなスタートを切るなど、大きな変革期にあります。

日本スポーツ協会では、本年３月、「今後の国民スポーツ大会の在り方を考える有識者会議」から示された「提言」に基づき、国民の皆様がこれまで以上にワクワクし持続可能な魅力ある大会となるよう、様々な改革に取組んでいくこととしています。

結びに、本大会の開催にあたり、長年諸準備にご尽力いただきました、地元滋賀県をはじめ関係の皆様方のご支援、ご協力に対し心から深く感謝申し上げます。

あ い さ つ

文 部 科 学 大 臣

あ べ 俊(とし) 子(こ)

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、ここ滋賀県において第７９回国民スポーツ大会「わたＳHIGA輝く国スポ」が盛大に開催されますことを、誠に喜ばしく存じます。

滋賀県は、日本最大の湖である「琵琶湖」、四季折々の表情を見せる「伊吹山」等、美しく彩りある豊かな自然の魅力にあふれ、世界文化遺産である「比叡山延暦寺」や国宝「彦根城」等、歴史と文化が息づく県です。

昭和５６年のびわこ国体以来４４年ぶりの滋賀県での開催となり、「湖国の感動 未来へつなぐ」をスローガンに、県全域を舞台に熱戦が繰り広げられます。

また、本大会は、様々な場面で環境に配慮した取組を行い、スポーツの力を活用し、持続可能な社会づくりに貢献していくすばらしい大会となっています。「わた SHIGA 輝く国スポ」が、国民に夢と感動、連帯感を共有できる大会、また、開催地である滋賀県の活性化に資する大会となりますことを心から願っております。

郷土の代表として参加される選手の皆さんが、これまで積み重ねてこられた練習の成果を思う存分発揮され、我が国の国際競技力の向上が図られるとともに、この機会に全国の仲間や滋賀県民の皆さんとの交流の輪を広げられ、思い出に残る大会となりますことを期待しております。

昨年度は、パリオリンピック・パラリンピック競技大会が、今年度は東京２０２５世界陸上競技選手権大会、第２５回夏季デフリンピック競技大会東京２０２５、ミラノ・コルティナ２０２６冬季オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、国民のスポーツへの関心はますます高まっているところです。

文部科学省としましても、アスリートや子供たちの活動の機会を確保し、スポーツの持つ力やすばらしさが社会の活力につながるよう関係の皆様と一丸となって取組を進めてまいります。

結びに、「わた SHIGA 輝く国スポ」の開催に当たり御尽力いただいた地元滋賀県、会場となる各市町をはじめとする関係の皆様の御支援、御協力に対し、心から敬意と感謝の意を表しまして、御挨拶といたします。

令和７年７月３１日

あ い さ つ

公益財団法人日本ソフトボール協会

会長　牧島（まきしま）　かれん

わたＳＨＩＧＡ輝く国スポ・障スポ２０２５が開催され、第７９回国民スポーツ大会ソフトボール競技を、ここ滋賀県東近江市・高島市・草津市・守山市におきまして盛大に実施できますこと、誠に喜ばしく、ご尽力いただきました皆様に感謝申し上げます。

１９４６年より７７年にわたり親しまれた国民体育大会が、スポーツの価値を世界の人々と分かち合い、世界各国と協調していくことを背景に法改正が行われました。昨年のＳＡＧＡ２０２４大会より「国民スポーツ大会」となり、今回のわたＳＨＩＧＡ輝く国スポが２回目の大会となります。長い歴史を共に歩んだ「体育」が、更なる価値を創造することで「スポーツ」だからこそ生み出せる、様々な取組が行われていくことが期待されています。今年もこうして開催できることは、多くの方々のお力添えのおかげであり、改めまして厚く御礼申し上げます。

そして、各地区の厳しい予選を勝ち抜かれ、郷土の代表として出場された監督・選手の皆様、ご出場おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。国民スポーツ大会は、英語で「ＪＡＰＡＮ　ＧＡＭＥＳ」と表記しますが、まさに日本最高峰の大会として、全国のトップアスリートがここ滋賀県へ一堂に集う大会です。自らの限界に挑み、それをも楽しみ、更なる飛躍へとつなげていく事が、体育では辿りつけないスポーツの魅力かもしれません。これまで練習を重ねてこられた成果をいかんなく発揮されますことを願っております。加えて、全国から同じ思いを持つ者同士が集う場です。同志や地元の皆様方と交流の輪を広げていただけると嬉しいです。有意義で思い出に残る大会となりますよう祈念しております。

ソフトボールは全国各地に組織やチームがあり、年齢層も子どもから大人までと幅広く、まさに国民的スポーツです。世界で戦うアスリートから小さい子どもにまで愛されるスポーツとして、より一層競技の裾野を広げながら、ファンを増やしていきたいと思っておりますので、今後とも応援をお願いいたします。

チームの皆様方のみならず、ご来場される方々、大会運営をお手伝いくださる皆様におかれましても、水分補給や休息を十分に取り、体調管理やコンディショニングづくりには十分注意いただきながら、ソフトボールのプレーをお楽しみいただければと存じます。

結びに、日頃からご指導いただいております公益財団法人日本スポーツ協会をはじめ、開催に向けて諸準備を進めてくださいました、わたＳＨＩＧＡ輝く国スポ・障スポ実行委員会、並びに東近江市・高島市・草津市・守山市の各実行委員会、多くの関係の皆様方に心より感謝の意を表しまして、ひとこと挨拶とさせていただきます。

歓迎のことば

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会会長
滋賀県知事 三日月大造（みかづきたいぞう）

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、全国から選手・役員の皆様をはじめ多くの方々をお迎えし、ここ滋賀県において「わたSHIGA輝く国スポ」を開催できますことは、この上ない喜びであり、県民を代表して心から歓迎申し上げます。

また、本大会の開催にあたり多大な御支援と御協力を賜りました関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。

本大会は、「湖国の感動 未来へつなぐ」をスローガンに掲げ、年齢、性別、障害のあるなしを問わず、すべての人が様々な場面で主役として光り輝くとともに、大会を通じて湖国滋賀で生まれた夢や感動、連帯感が、大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれることを目指しています。

大会における共生社会の実現に向けた取組や環境配慮の実践、さらには心のこもったおもてなしなど、長年培ってきた滋賀ならではの視点により、みんなが輝く大会にしてまいりたいと考えております。

本県は、我が国最大の湖である琵琶湖をはじめとする豊かな自然環境や、古くから交通の要衝として栄えてきた歴史を有するとともに、先人が人と人、人と自然のつながりの中で育んできた文化が今も脈々と息づいています。是非、滋賀のリズムに触れていただき、心のリズムを整え、本県での滞在を楽しんでください。

選手の皆様方におかれましては、日頃の練習の成果を存分に発揮されますとともに、地域をこえた交流に触れ、本大会を思い出に残る素晴らしい大会にしていただきたいと存じます。

結びに、本大会に関わる皆様の御健勝と御多幸を心から祈念申し上げ、歓迎のことばといたします。

歓迎のことば

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ

東近江市実行委員会会長

東近江市長　小　椋　正　清（おぐら　まさきよ）

第79回国民スポーツ大会「わたＳＨＩＧＡ輝く国スポ」ソフトボール競技会（成年男子）を東近江市で開催できますことを嬉しく思います。また、全国から来場されます選手・監督をはじめとするチーム関係者の皆様、これから繰り広げられる熱戦を楽しみに御来場いただく観客の皆様に市を代表して心から歓迎の意を表します。

東近江市は、滋賀県の南東部に位置し、鈴鹿の山々から琵琶湖までが一つの市域となった「森・里・川・湖」の多様性のある自然の上に、千年を超える歴史、文化、伝統が息づくまちです。この豊かな自然と地域で育まれた特産品として、「近江米」や「近江牛」などがあり、日本経済の礎を築いた「近江商人」、ろくろ技術を全国に広めた「木地師」の発祥の地として知られています。この機会に東近江市の多彩な魅力に触れていただき、大会終了後にも再び東近江市へお越しいただければ幸いです。

さて、ソフトボール競技は、昭和56年第36回大会でも当市で開催しており、実に44年ぶりに再びあの感動が蘇ってきます。各ブロックの厳しい予選を勝ち上がり、栄えある郷土の代表として本大会に出場される選手の皆様におかれましては、日頃の練習の成果を存分に発揮され、観覧する者全てを魅了していただけるものと楽しみにしています。また、全国からお越しになる皆様をはじめ、多くの市民が喜びと感動にあふれる、心に残る大会となるよう準備を進めてまいりました。この大会を通じて観覧される多くの皆様がトップレベルの選手のプレーを肌で感じ、刺激を受けることで競技の普及と次世代選手の育成に繋がることを期待しております。

結びに、今大会の開催に御尽力いただきました関係者の皆様に心から感謝を申し上げますとともに、大会の成功と選手の皆様の御健闘を心からお祈り申し上げ、歓迎のことばといたします。

歓迎のことば

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ

高島市実行委員会会長

高島市長 今城克啓（いまき かつのぶ）

第79回国民スポーツ大会「わたSHIGA輝く国スポ」ソフトボール競技会を、全国から多くの選手・監督をはじめ、大会関係者の皆様を高島市にお迎えし開催できますことは、誠に光栄であり市民を代表いたしまして、心から歓迎申し上げます。

高島市は滋賀県の北西部に位置し、東は琵琶湖、西に森林や里山が広がり、古来より京阪神と北陸を結ぶ交通の要衝として栄え、豊かな森林から流れ出る水は琵琶湖の３分の１を占める水源を有する地域であります。メタセコイア並木をはじめ全国の百選に13カ所選出された風光明媚な自然景観を有し、近江牛や近江米などの特産品の生産をはじめ、発酵食の鮒寿司、日本酒など古来の文化が色濃く残っています。選手ならびに関係者の皆様には、ぜひこの機会に本市の魅力にも触れていただければ幸いに存じます。

さて、いよいよ、昭和56年の第36回国民体育大会「びわこ国体」以来、44年ぶりとなる「わたSHIGA輝く国スポ」が開催されます。本市では、デモンストレーションスポーツの里湖で地域を結ぶウォーキングを皮切りに、ウエイトリフティング、ソフトボール（成年女子）および銃剣道の正式競技に加え、特別競技である高等学校野球（軟式）が行われます。今大会が競技への関心を高め、本市におけるスポーツ振興を図る上でも大変意義深いものとして、今後も地域に根付いていくものとなりますことに大きな期待を寄せております。選手の皆様には、日頃の練習の成果を遺憾なく発揮され、最良の結果がもたらされるとともに、お互いの親睦や交流を深めるすばらしい大会となることを願っております。

結びになりましたが、本大会の開催にあたりご尽力いただきました関係者の皆様に深甚なる敬意と感謝の意を表しますとともに、選手の皆様のご活躍と本大会の成功を心からご祈念申し上げ、歓迎のことばといたします。

歓 迎 の こ と ば

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ

草津市実行委員会会長

草津市長　橋（はし）　川（かわ）　渉（わたる）

第７９回国民スポーツ大会「わたSHIGA輝く国スポ」ソフトボール競技が、ここ草津市で開催できますことを大変嬉しく思いますとともに、全国各地からお越しの多くの選手や監督、関係者の皆様を心より歓迎申し上げます。

「わたSHIGA輝く国スポ」は、昭和５６年に開催された第３６回国民体育大会「びわこ国体」以来、４４年ぶり２回目の開催となり、草津市ではソフトボール競技をはじめとする５競技８種目の正式競技を行います。

今回の少年男子の競技会場である草津市立野村運動公園グラウンドは、「びわこ国体」でもソフトボールの競技会場として利用された会場であり、今大会においても４４年前と同様に、白熱した戦いを身近で観戦できることを嬉しく思います。

ソフトボールは、７回終了時点で得点の多いチームが勝利するゲームで、コンパクトなフィールドサイズにより、初めて観戦される方でも、迫力のあるスピーディーなプレーとスリリングな展開が楽しめる競技です。

全国から訪れる多くの方々を心のこもったおもてなしで温かくお迎えするとともに、夢や感動、連帯感を共有できる大会となるよう、市民総参加で準備を進めてまいりました。

選手の皆様には、日頃の練習の成果を存分に発揮していただくとともに、多くの人に勇気や感動を与え、ソフトボール競技の魅力を伝えていただくことを期待しています。

草津市は、古くから東海道と中山道が分岐・合流する宿場町として、また交通の要衝として栄えており、当時の面影を残す貴重な史跡である「草津宿本陣」や、一年を通して数多くのスイレンの花を観賞いただける「水生植物公園みずの森」、草津市の新しい観光スポットとして天井川であった廃川敷地を整備した、一年を通して四季折々の花が咲いている「草津川跡地公園」などにもお立ち寄りいただけると幸いです。

結びに、本大会の開催にあたり、多大なる御尽力を賜りました関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、本大会の御成功と選手の皆様の御健闘を祈念いたしまして、歓迎のことばとさせていただきます。

歓迎のことば

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ

守山市実行委員会会長

守山市長 森中高史（もりなかたかふみ）

第79回国民スポーツ大会「わたSHIGA輝く国スポ」のソフトボール競技（少年女子）が、この守山市において、全国各地から選手、監督および大会関係者の皆さまをお迎えし、盛大に開催できることは大変喜ばしく、守山市民を代表いたしまして、心から歓迎申し上げます。

本市において、正式競技はサッカー、バレーボール、ソフトボール、軟式野球の４競技を実施いたしますが、大会の成功と来場者の皆さまに心を込めた最高のおもてなしをお届けできるよう、これまで市全体で一丸となって準備を進めてまいりました。

本大会が選手の皆様にとって、日頃の練習の成果と、鍛え上げられた力と技を存分に発揮する機会になるとともに、選手同士の交流や絆が生まれ、全ての来場者の皆さまにとって心に残る大会となりますことを願っております。

守山市では、「『誰もが』『どこでも』『いつまでも』レッツスポーツ！～『健康元気なまち』をめざして～」をスローガンとして掲げ、子どもの外遊びの推進や働き世代・子育て世代の運動習慣づくり、高齢者の生きがいづくり等に力を入れております。

また、春は桜、夏はホタル、秋はコスモス、冬は菜の花といった自然環境に恵まれたのどかな田園都市で、かつて中山道の宿場町として栄えた街並みが現在も残っています。特に滋賀県が誇る琵琶湖の眺望が素晴らしく、第２なぎさ公園には「琵琶湖サイクリストの聖地碑」や「BIWAKOモニュメント」があり、ナショナルサイクルルートにも指定されている琵琶湖一周サイクリング「ビワイチ」の定番の記念撮影スポットとなっております。他にも自然豊かな公園や農産物直売所「おうみんち」、温浴施設など多数の観光施設がございますので、この機会に是非お立ち寄りください。

結びに、本大会の開催にあたり多大なるご尽力を賜りました関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、本大会の成功と選手の皆様のご健闘を祈念いたします。

歓迎のことば

滋賀県ソフトボール協会
会長　西村高司（にしむらたかし）

わたＳＨＩＧＡ輝く国民スポーツ大会ソフトボール競技会に、近江の国滋賀県高島市・草津市・守山市・東近江市の４市に全国各地のブロック予選を勝ち抜かれたチームの皆様や関係者の方々をお迎えできることは、この上ない喜びであり、大変光栄に思い、心より歓迎いたします。本県での国民スポーツ大会開催は、１９８１年びわこ国体以来４４年ぶりとなり、本県ソフトボール協会関係者をはじめ、滋賀県民が皆様とお出会い出来ることを楽しみにしてまいりました。

ソフトボール競技は、健康の維持・向上に男女を問わず子どもから高齢者まで楽しめる素晴らしいスポーツです。そんなソフトボール愛好者の中でも、本大会に出場される皆様は、特に優れた技術や精神力をお持ちの方ばかりです。選手の皆様には、日頃の練習の成果を思う存分に発揮され、素晴らしい試合が展開されますことを期待申し上げますとともに、大会を通して他県選手との交流を深められ、思い出深い大会になりますことを願っております。

また、将来、各自の技術向上により励まれることはもちろんですが、同時にソフトボール競技の魅力や楽しさを全国各地に伝えていただき、底辺拡大や競技力向上にも取り組んでもらえることを期待しております。

本県のソフトボール競技レベルは、全国的に優れているとは言えない状態でありますが、この大会で繰り広げられる全国トップアスリートの皆様方のプレーや競技への取り組み姿勢等を脳裏に焼き付け、この大会を大きなきっかけとして、近い将来、全国上位のソフトボール地域に肩を並べられるよう大きく成長することと思います。

結びになりますが、本大会開催にあたりご尽力をいただきました公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本ソフトボール協会をはじめ、多くの方々のご尽力に改めて深く敬意を表しますとともに、本大会の成功と参加される皆さま方のご健闘をご祈念申し上げ、歓迎のことばといたします。

天皇杯　　皇后杯

国民スポーツ大会天皇杯・皇后杯授与規程

第１条　国民スポーツ大会開催基準要項第 11 項に基づき、天皇杯は、男女総合成績第１位の都道府県、皇后杯は、女子総合成績第１位の都道府県に授与する。
２　第１位が２都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第２条　天皇杯及び皇后杯は、総合閉会式に授与し、次回の総合開会式において返還する。

第３条　天皇杯又は皇后杯を授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。
(1)　信託会社又は確実な金庫に保管する。
(2)　破損、紛失等の場合は、当該都道府県の責任とする。
(3)　公益財団法人日本スポーツ協会が優勝都道府県名刻印のため又はその他の必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

第４条　本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。

附　則　本規程は、昭和 41 年４月　１日制定
昭和 45 年１月 22 日一部改定
昭和 48 年７月 10 日一部改定
昭和 54 年５月　９日一部改定
平成 17 年６月 16 日一部改定
平成 22 年３月 17 日一部改定
本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日（平成 23 年４月１日）から施行する。
平成 30 年４月　１日一部改定
令和　６年１月　１日一部改定

大会会長トロフィー

国民スポーツ大会会長トロフィー授与規程

第１条　国民スポーツ大会開催基準要項第 11 項に基づき、国民スポーツ大会会長トロフィー(以下「大会会長トロフィー」という。)は、正式競技別男女総合成績第１位の都道府県に授与する。

２　第１位が２都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第２条　大会会長トロフィーは、競技会表彰式に授与し、次回競技会において返還する。

第３条　大会会長トロフィーを授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

(1)　責任をもって保管する。

(2)　破損、紛失等の場合は当該都道府県の責任とする。

(3)　優勝の刻印を次回大会までに行なうものとする。ただし､第１条第２項の場合は､当該都道府県で協議して決めるものとする。

(4)　公益財団法人日本スポーツ協会が必要により一時返還を求めた場合は､これに応じなければならない。

第４条　本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。

附　則　本規程は、昭和 41 年４月　１日制定
昭和 45 年１月 22 日一部改定
昭和 48 年７月 10 日一部改定
昭和 54 年５月　９日一部改定
平成 17 年６月 16 日一部改定

本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日（平成 23 年４月１日）から施行する。
平成 30 年４月　１日一部改定
令和　６年１月　１日一部改定

大会役員

2025年7月31日現在
（順不同・敬称略）

名誉会長	あべ俊子			
会長	遠藤利明			
副会長	益子直美	田中不二夫	三宮恵利子	森岡裕策
	室伏広治	三日月大造	河本英典	
顧問	伊藤雅俊	森喜朗	橋本聖子	安西孝之
	岡崎助一	越川均	坂元要	勝田隆
	室伏由佳	村松さやか	湯川和之	植田実
	櫻井由香	鹿島丈博	吉岡成子	石井砂織
	笠師久美子	飯塚悟	久保正美	浦美奈子
	木平芳定	中嶋実	小寺洋	桐木陽子
	旗生康之	池田めぐみ	工藤保子	久保直生
	藤田裕司	藤原誠	室城信之	金子日出澄
	貝瀬智洋	森晃	土橋登志久	石丸元国
	多氣洋平	井﨑洋志	鬼頭有紀子	長谷川洋子
	吉田長寿	齋木尚子	多賀恒雄	安藤淳
	上治丈太郎	湧永寛仁	上原絵美	佐藤健司
	馬場美香	山口宏	南和文	宮永美寿津
	千田健一	中里壮也	岡本友章	大野淳
	加藤出	田村恒彦	蒔田実	山﨑勝洋
	浅見敬子	山口徹正	田中伸周	村田利衛
	建部彰弘	市野保己	丸石博	中村ゆり子
	齋藤良太郎	谷田部和彦	木村博美	井上弘
	今川啓一	近藤重和	池谷正成	大澤明美
	古城資久	小野賢二	園山和夫	中山俊行
	田中徹	知念かおる	出口弘之	田邊哲人
	城門政文	前川恵	上杉晃央	布村幸彦
	茂野直久	生島典明	大沢陽子	谷藤節雄
	熊谷幸一	千葉玲佳	奥山雅信	酒井祐一
	藤田知巳	北條俊明	田子昌之	新井彰
	山﨑成夫	塩見清仁	田名部高雄	井出仁
	今西博一	中村宏平	松本智広	森山喜博
	南部則雄	福永秀樹	髙橋繁浩	山本健次
	増田和伯	猪飼敏之	山本誠三	松本恭幸
	船田一彦	奥田晃	横尾英治	小西慎太郎

	近藤一幸	堂本ひさ美	河村祐一	渡邊浩三
	田中稔	馬越祐希	青木章泰	城戸英敏
	藤本武	小柳勝彦	辛木秀子	宮成康蔵
	藤本格	岩元幸成	平良朝治	藤原正樹
	大河原嘉朗	川上隆弘	佐藤廣子	奈良隆
	小菅司	宇津木妙子	菊幸一	小林久美
	寺澤正孝	山口純子	武部新	野中厚
	金城泰邦	赤松健	増子宏	矢野和彦
	茂里毅	浅野敦行	有村治子	上野賢一郎
	大岡敏孝	嘉田由紀子	北野裕子	小寺裕雄
	こやり隆史	斎藤アレックス	武村展英	宮本和宏
	目片信悟	村井泰彦	北村嘉英	小椋正清
	伊藤定勉	草野聖地	杉浦和人	永浜明子
	有森裕子	鈴木大地	宮本恒靖	深澤祐二
	坂田東一	三須和泰	仲間達也	川合俊一
	藤田直志	三屋裕子	富山英明	馬場益弘
	砂岡良治	金丸恭文	安道光二	河田正也
	豊田章男	千玄室	中村真一	牧島かれん
	村井満	永谷喜一郎	真砂威	土田雅人
	町田幸男	大野正次	世耕弘成	笹川善弘
	番匠幸一郎	久保素子	丹羽秀樹	岩城光英
	寶馨	荒川裕生	小谷知也	達増拓也
	鶴田有司	吉村美栄子	北村清士	大井川和彦
	福田富一	遠藤祐司	大野元裕	熊谷俊人
	山本博	岡田伸浩	花角英世	新田八朗
	馳浩	杉本達治	髙野剛	阿部守一
	田口義隆	中谷多加二	大村秀章	伊藤歳恭
	西脇隆俊	髙橋知史	齋藤元彦	池田誠也
	宮崎泉	林昭男	丸山達也	越宗孝昌
	苅田知英	村岡嗣政	後藤田正純	槙田實
	大塚岩男	服部誠太郎	山口祥義	大石賢吾
	甲斐隆博	麻生益直	日隈俊郎	塩田康一
	玉城デニー			
参与	籾井圭子	大杉住子	赤井康彦	有村國俊
	井狩辰也	今江政彦	岩崎和也	小河文人
	小川泰江	奥村芳正	海東英和	加藤誠一
	河井昭成	川島隆二	河村浩史	桐田真人

	九里　学	桑野　仁	駒井千代	佐口佳恵
	重田　剛	柴田栄一	柴田清行	清水鉄次
	清水ひとみ	白井幸則	周防清二	菅沼利紀
	田中英樹	田中　誠	田中松太郎	谷　成隆
	谷口典隆	冨波義明	中川雅史	中沢啓子
	中山和行	野田武宏	節木三千代	本田秀樹
	村上元庸	木沢成人	森重重則	東　勝
	岸本織江	土井真一	窪田知子	野村早苗
	塚本晃弘	森　和之	園田三恵	松田千春
	東郷寛彦	中村　守	中村達也	山田忠利
	奥山光一	岡田暁人	中田佳恵	伊吹信人
	白井　稔	藤原久美子	正木隆義	保田　誠
	小林雅史	池内久晃	原　陽一	北川純二
	佐藤健司	田島一成	浅見宣義	小西　理
	橋川　渉	森中高史	竹村　健	岩永裕貴
	櫻本直樹	松浦加代子	今城克啓	角田航也
	堀江和博	西田秀治	有村国知	寺本純二
	久保久良	藤田善久	甲津和寿	堤　清司
	高橋祥二郎	市田良夫	藤堂　寛	野村昌弘
	熊倉正志	涌井　努	岸　智昭	武田英明
	山本博一	寺村義伸	金澤博文	山本　順
	杉原真也	竹林幸祥	山田貴司	上西　保
	一圓泰成	石井　太	川戸良幸	田畑太郎
	髙橋健太郎	草野とし子	三木恒治	市川忠稔
	上村照代	富長弘宣	佐野智哉	太田千恵子
	赤井弘和	大西孝雄	﨑山美智子	
委員長	山本　浩			
副委員長	岩田史昭	田中秀和	辻　睦弘	
総務委員	松永敬子	稲垣公雄	笠野英弘	加藤光国
	菅原哲朗	田﨑博道	松田基子	三ヶ田礼一
	山澤文裕	吉田　崇	出﨑和夫	宇野　武
	熊谷利彦	佐橋　誠	田内慎也	山下栄次
	江橋千晴	加藤弘和	小澤大樹	佐野博之
	青木克憲	安井和治	西島義典	
委員	平野　了	髙橋聖一	吉村政弘	若月　等
	松本康夫	福士幸洋	栗原　崇	細野光史
	渡邉圭太郎	佐久間裕司	品田奥義	濱野　勉

寺澤　淳　黒川重男　舟喜信生　髙野　修
中梶秀則　安藤正美　加藤憲二　宮川良輔
鈴木章広　川口　巖　和田　潔　岡泉　茂
田口大祐　平井宏治　岸川剛之　西原斗司男
菅原正幸　高橋　昇　長南哲生　衛藤敬輔
渡辺久雄　三井千壽　鈴木信吾　山中博史
井本　亘　関根明子　中山二三男　越前浩司
吉田由美子　杉本好二　東野眞理子　川口雅三
金子和裕　野口友里　品治恵子　富澤佑也
政岡航大　坊　百花　小河原百映　田口雅紀
寺垣佑介　田中遥大　宇髙章広　近藤　潤
南野芳広　池本佳子　横江弘昭　沼波　輝
門　久仁裕　清水直子　髙井和紀　見田茂紀
加藤雄樹　鈴木　敦　瀬谷尚男　大貫大輔
太田真美　髙野正規　岩埜直史　深谷祐紀
金田貴人　新保　暢　戒田由香里　児玉晶香
村松達也　井澤克行　林　剛史　稲葉晴伸
杉浦美紀　藤田隆司　曽我　学　木原哲也
高橋健二　吉村宗浩　中嶋純也　前田康博
松本守正　松本綾子　田口新也　河口英史
久次米和成　高田孝行　辻岡英幸　前田義朗
笠井康行　尾鷲一成　松山度良　濱本昌宏
吉野賢一郎　横山美和　山元尚史　宮城直人
髙野瑞洋　遠藤信哉　千葉雅也　菅間裕晃
須藤勇司　角田真司　柄澤宏之　竹内延和
東瀬義人　酒井雅洋　碓井　稔　武田知巳
井上　哲　今後元彦　沼田守弘　田部長右衛門
竹内俊勝　松井　守　吉岡直彦　刈谷好孝
寺崎雅巳　荒木健治　平江公一　黒木淳一郎
渡嘉敷通之　綾部吉也

競技会役員

（順不同・敬称略）

名誉会長	小椋正清	今城克啓	橋川渉	森中高史
会長	牧島かれん			
副会長	宇津木妙子	伊東秀仁	宇津木麗華	西村高司
	久保九二雄	山本成靖	伊藤隆樹	赤水新次
	奥村芳正	岩城弘宜	森貴尉	長谷川倫人
顧問	山崎拓	三宅豊	長勢甚遠	藤森友義
	松山正治	土江和良	久保源治	尾崎正則
	笹田嘉雄	髙橋清生	竹島正隆	木本由孝
	沼澤憲三	武田平八	後藤勝則	今川雄策
	佐藤清徳	品田尚孝	和田照男	大島英世
	星名建市	鈴木征	井之上哲夫	有山充剛
	松山玲子	窪田包久	田畑裕明	押野稔
	吉田真士	福崎紀夫	白鳥孝	内海信明
	河合満	太田正隆	田坂幾太	中山泰秀
	藤本百男	疋田進一	二階俊博	出西弘道
	福代秀洋	原憲一	岸田文雄	瀧川勉
	井川龍二	大野敬太郎	穐岡謙治	山本有二
	鬼木誠	大坪泰	尾野一男	小早川宗弘
	三浦正臣	押川尚生	中原重信	中村正人
	西﨑彰	藤田善久	河越安実治	川島浩之
	西村隆行	藤田雅也	渡邉邦男	辻本長一
参与	岩﨑岑生	神崎征治	東山直己	大崎悦男
	西川良夫	村山俊之	河本英典	奥村典三
	津田茂	西澤健次	森田昌司	津田増夫
	小森道宏	川上建一	出原逸三	桑野仁
	西田聡	辻川光男	田中新人	小西信之
	吉川元造	川添利雄	竹内達夫	不破徹也
	一伊達統	南川喜代和	久田哲哉	森田徳治
	山本直彦	前田康一	稲田庄太朗	奥村展三
	南啓次郎	髙木重隆	二橋省之	鈴村重史
	大林茂松	髙田忠明	谷口信樹	川南誠孝
	喜多良道	古澤貞夫	福井好信	横田衛
	大橋健吾	北﨑あゆみ	平岩茂人	小杉厚

森野才治	小林靖英	田畑太郎	山本貴志
山添裕司	久保雅則	上田宜和	大洞共一
田郷正	大橋保治	竹内典子	山中一志
市木徹	西澤由男	安田高玄	廣田耕康
吉坂豊	井上均	田井中丈三	西村和恭
和田喜藏	辻英幸	鈴木則彦	青山孝司
浅居笑	小梶昌巳	中村和広	森鉄兵
澤居寛明	西村要一郎	中江滋希	藤田明男
本持裕久	中堀智之	石橋幸昭	福嶋美津代
仲谷隆彦	中川儀一	森野信一郎	井口みゆき
岡田眞男	泉本了	野田久雄	堀憲司
中村善亮	高田靖史	福井健次	曽羽道明
髙木治三郎	西村純次	関原克己	村山伸二
海東英和	清水鉄次	藤田昭	森脇徹
福井節子	澤本長俊	廣部真造	是永宙
髙木広和	磯部亜希	藍原章	井上佳郎
松木純子	清水大粋	髙取誠隆	吉見大
吉里浩恵	橋本悟史	髙木亜矢	森孝基
地村順子	井花春美	今西拓也	村田秀俊
田濃良和	武田基裕	尾中一彦	饗庭一弥
北野賢昭	筧美貴	山本渉	土永晶
福田久司	川島達郎	松本道明	西村陽子
前川為夫	青谷章	伊原浩徳	時田美和子
小林章宏	本田利弘	小島猛	仲井孝宗
長谷川善一	森田茂之	横井康裕	木下晃
前川一善	吉野信吾	長瀬正弘	藤森泰男
平井秀明	青谷守	奥野直久	饗庭眞二
川原林正宏	西川仁	藤井三恵子	西田剛
杉江昇	中嶋昭雄	西垣和美	瀬川裕海
伊吹達郎	小野元嗣	山元宏和	横江政則
八木良人	遠藤覚	中島美徳	土肥浩資
井上薫	服部利比郎	田中香治	福田茂雄
先成俊士	野村友子	田中詩織	藤本晶
我孫子智美	森登世美	小辻寿規	辻川明宏
南川等	田中歩	北村嘉英	中谷緑郎
合田典宏	浮田豊史	三輪隆	高橋敏夫

	若吉浩二	片岡秀之	河井昭成	原陽一
	稲田優	武田正大	吉川彰治	明石芳夫
	宮﨑千鶴子	新木真一	清水和廣	園田実乗
	木原彰彦	南川千秋	杉田信一	横井和暢
	田畑泉	羽田賢一	岸本久	角一朗
	北相模政和	荒川武仁	金森敏行	野村昌良
	河合裕明	太田一郎	黒川克彦	板垣裕之
	山本陽一	一浦辰己	杉田貢一	髙松弘泰
	奥山敏樹	福井教之	荻下則浩	福西弘充
	髙岡良秀	奥谷美津子	菊池誠	田中三男
	武村彰	黒川孝治	小傳良輝男	馬塲久昭
	岡村敏誠	西澤功雄	宇野治	藤木猛
	髙田正司	筈井昌彦	小牧一美	新野富美夫
	福井寿美子	西村弘樹	田中尚仁	今江恒夫
	藤原浩美	川本航平	田中均	松永恵美子
	川本佳子	二上勝友	北野裕也	上田佐和
	桝本花菜恵	福田正悟	吉田郁雄	里内緑
	髙倉直子	福井靖	西藤安彦	高橋厳擁
	林龍史	藤下茂	武内俊也	沖田昌子
	池田あづさ	川端和行	筈井亨	林下宜史
	嶋本昭	髙橋和也	神藤高敏	北脇辰郎
	西村秀樹	田井繁好	宮嶋國彦	猪飼敏之
	谷和彦	那良明	井上武弥	赤渕義誉
	牧上龍司郎	大崎裕士	水野茂樹	鵜飼重樹
	今津覚			
委員長	岡本友章			
副委員長	重森勇二	加藤誠一	木村進	北川修
	野﨑良樹	新庄貴史	野洲好範	
委員	鈴木俊一	磯谷理義	西康弘	石井延明
	瀬戸山章	神谷和宏	八田祥孝	松田和広
	佐々木幸治	亀田正隆	杉本義彦	谷田圭司
	木田京子	鈴木優子	岩﨑眞美	佐藤理恵
	倉俣徹	岡田理恵	清水光	山田博子
	上村知裕	鈴木利夫	赤城陽一	川村善則
	佐子完十郎	中西泰弘	井口直哉	馬越節夫
	五嶋洋介	前田知	小林敬一郎	

河村修司	高森　浩	衣笠岑雄	奥野　進
加藤佳子	網　千鶴子	嶋本敏明	堀内孝雄
中嶋佐智美	藤澤光汰	中島　晋	小傳良　寛
遠藤麻美	松村　圭	栗田優子	勝馬由起
平田正二	加藤弘明	中田和秀	武孝直子
國松広美	宮下茂久	森　康夫	北川照美
北出みつ子	戸知谷俊治	岸田吾一	飯尾正人
矢野廣意	奥村恭弘	岡　雅則	打谷桂子

競　技　役　員

（順不同･敬称略）

競技委員長	重森勇二			
競技副委員長				
（成年男子）	鈴木俊一	加藤誠一	小林敬一郎	
（成年女子）	瀬戸山　章	澤本長俊	前田　知	
（少年男子）	磯谷理義	小傳良輝男		
（少年女子）	松田和弘	西川良夫	那良　明	
総務委員長				
（成年男子）	久下知宏	上野聖一		
（成年女子）	前田　知			
（少年男子）	井口直哉			
（少年女子）	持田大輔			
総務副委員長				
（成年男子）	藤田睦子	磯部　實		
（成年女子）	衣笠岑雄			
（少年男子）	関根秀夫	梅村すぎ子		
（少年女子）	北川照美			
総務主任				
（成年男子）	富田初代	國松重子	大橋理恵子	
（成年女子）	田崎京子	世古知子	廣畑夕美子	清水リカ
（少年男子）	奥村恭弘	土肥浩資	川上建一	中出幸宏
（少年女子）	西浦澄子	奥原景子		
審判長	神谷和宏			
副審判長	中田和秀			
（成年男子）	水野直輝	平田正二		
（成年女子）	足袋抜豊松	小八木辰男		
（少年男子）	真鍋　朗	喜多　博		
（少年女子）	小牧　司	加藤弘明		
審判主任				
（成年男子）	久保九二雄	杉田　勝		
（成年女子）	石地順一	榛葉真理子		
（少年男子）	石本　隆	堀尾充輝		
（少年女子）	北出みつ子	清水美由紀		

審　判　員

（成年男子）	相良浩志	米川元章	鈴木崇司	梶浦友浩
	高橋信孝	三栖偉弘	大橋一広	鹿野貴史
	小串達夫	武本健二	吉川喜代司	白子篤
	藤居祐司	北林節郎	松下隆之	
（成年女子）	井口佑太	平耕二	土田恵三	舟川菜穂子
	細木俊輔	村上久和	酒井誠	中山貴博
	落合由美子	山内智江	志治勝三	金井武峰
（少年男子）	宮脇昭介	馬場正範	後藤正好	伊藤清勝
	塚本竜	髙橋和義	上野眞	梅谷佳史
	大西昭志	平井俊次	西村武徳	小谷昇
	山口寿雄			
（少年女子）	岩本明	千代恭平	宮木章	石井貞温
	三宅博幸	佐々木惠子	山本光多	若山さつき
	山田香奈子	山﨑登	中西智子	水辰也

記　録　長　遠藤正人

副記録長　五嶋洋介

（成年男子）	安東文雄	久郷修平
（成年女子）	田中都	河村修司
（少年男子）	本部享	倉田弘善
（少年女子）	村田文敏	山根浩明

記録主任

（成年男子）	網千鶴子	奥田健二
（成年女子）	尾松久美子	芝田洋子
（少年男子）	八尾佳代子	飯田俊雄
（少年女子）	本田園子	藤田紀世

記　録　員

（成年男子）	前田淳子	勝村敏昭	西田秀子	香川幸美
	土橋明子	山本紀子	幸野可采	山田佑樹
	内田由美	辻井博子	山本真咲	高橋陽香
	片岡由里子			
（成年女子）	小松嘉則	村瀬佳代子	畑陽子	大塚和久
	三好さか江	佐上知子	山中信子	木山きよみ
	寺田由起	中村知加子	山中茂久	

（少年男子）	北山千代	岩本昭雄	岡田ちず子	飯田しのぶ
	柴野恭子	川居結衣子	内田幸代	田中神優
	木村明美	岡村昭衣	伏黒香苗	森川由里子
	奥田直子			
（少年女子）	平井名敏子	佐藤眞里子	泉美起	岡孝司
	高垣秀雄	池田由紀子	百崎真里	宮本邦江
	井口湊翔	木村浩	高畑友美	

球場主任

（成年男子）	西敦生	籠谷崇広
（成年女子）	高森浩	戸知谷俊治
（少年男子）	小傳良寛	中出幸宏
（少年女子）	中西泰弘	井本久雄

球場委員

（成年男子）	越智弘文	真野秀之	西村友佑	塚本良隆
	若林和男	柴原惇志	永田博之	中村宏和
	菅谷文夫	山本佐千夫	木津剛	
（成年女子）	澤清子	小八木康代	吉田優圭	白子美和
	堀田美央	松本剛	谷重幸	狩野由香里
	宮嶋あゆみ	大貫克也	山本翔輝	田中崇雄
	辻本慎次			
（少年男子）	藤元和浩	杉浦弘樹	越智昭博	中村真紘
	堤豊通	田淵信良	川嶋祥吾	小島功
	港弘好	小傳良創	角田信幸	髙木健太
	中野麻紀子	福永正和	今井雄飛	吉原歩
（少年女子）	森井富造	徳永文一	橋口薩雄	小浦進
	馬越節夫	奥野進	新野良太	園田一朗
	津田耕二	北脇正俊	田中順太郎	伊東昭
	岸田吾一	小松駿秀	原田翔	高橋哲平
	奥村淳二			

放送主任

（成年男子）	山本みどり
（成年女子）	國松広美
（少年男子）	中村由美香
（少年女子）	北林知佳子　森本佐知子

放送委員				
（成年男子）	中江尚子	染谷由梨	三家菜穂子	田中奈緒美
（成年女子）	石井多美子	森田知恵美	中江春美	
（少年男子）	玉利知子	矢島由佳	中島千佳	摺本志保
	深見湖都			
（少年女子）	勝馬由紀	石岡愛	小林美穂子	
練習会場主任				
（成年男子）	小倉繁雄			
（成年女子）	前田順平			
（少年男子）	奥村恭弘			
（少年女子）	三宅和夫			
練習会場委員				
（成年男子）	澤田喜一郎	永田博之	中村宏和	菅谷文夫
	山本佐千夫			
（成年女子）	谷重幸	狩野由香里	松本剛	
（少年男子）	土肥浩資			
（少年女子）	徳永久	岡本平	田中政章	深山勅善
報道主任	佐子完十郎	馬越節夫	奥野進	
報道委員	倉田弘善			
式典主任	関根秀夫	北川照美	前田知	
式典委員	梅村すぎ子	川上建一	西浦澄子	奥原景子
接待委員	廣畑夕美子	清水リカ	井口直哉	村瀬聖子
	西川良夫	持田大輔		
総合成績計算委員長	遠藤正人			
総合成績計算委員	五嶋洋介			

競技補助員

（順不同・敬称略）

協力学校

滋賀学園高等学校	甲西高等学校	八日市南高等学校	北大津高等学校
幸福の科学学園関西中学校・高等学校	高島高等学校	虎姫高等学校	草津東高等学校
八幡商業高等学校	国際情報高等学校	大津高等学校	大津商業高等学校
滋賀短期大学付属高等学校	水口高等学校	比叡山高等学校	石山高等学校

競技会係員

成年男子	わたSHIGA輝く国スポ東近江市実施本部係員
成年女子	わたSHIGA輝く国スポ高島市実施本部係員
少年男子	わたSHIGA輝く国スポ草津市実施本部係員
少年女子	わたSHIGA輝く国スポ守山市実施本部係員

競技会補助員

成年男子	東近江市一般ボランティア
成年女子	高島市一般ボランティア
少年男子	草津市一般ボランティア
少年女子	守山市一般ボランティア　守山市スポーツ推進委員会

協力機関・団体等

（順不同･敬称略）

【成年男子】

協賛企業･団体

株式会社ホンダオートフクナガ	プロ野球 福永裕基選手	プロ野球 茶野篤政選手	一般社団法人 関西ゴルフ連盟
トイボックス	株式会社ニシデン	山源製畳	株式会社ライフテックミツダ
株式会社日吉	株式会社滋賀山下	株式会社チェリオコーポレーション	八日市商工会議所チャリティーゴルフコンペ大会
株式会社村田製作所八日市事業所	株式会社寺嶋製作所	中島商事株式会社	株式会社日本技商
株式会社キャリオン	有限会社かねひょう	湖東信用金庫	東近江ロータリークラブ
小川良株式会社	福田金属箔紛工業株式会社	五個荘能登川ロータリークラブ	八日市南ロータリークラブ
株式会社大橙社	株式会社水研設備	サントリーフラワーズ株式会社	湖東繊維工業協同組合
能登川ライオンズクラブ	株式会社ツジトミ	株式会社二橋商店	株式会社アプテック
サカモト工房	株式会社マスイ	合同会社ZERO警備	奥居匡
株式会社奥田工務店	太郎坊宮	サイクルショップライフ	グリーン近江農業協同組合
滋賀蒲生町農業協同組合	東能登川農業協同組合	湖東農業協同組合	シマノセールス株式会社
株式会社タナベエナジー	一般社団法人がもう夢工房		

応援のぼり旗作成

玉緒小学校	山上小学校	能登川西小学校	船岡中学校
御園小学校	五個荘小学校	能登川南小学校	永源寺中学校
八日市南小学校	愛東南小学校	能登川北小学校	五個荘中学校
箕作小学校	愛東北小学校	蒲生東小学校	愛東中学校
八日市北小学校	湖東第一小学校	蒲生西小学校	湖東中学校
八日市西小学校	湖東第二小学校	蒲生北小学校	能登川中学校
布引小学校	湖東第三小学校	玉園中学校	朝桜中学校
市原小学校	能登川東小学校	聖徳中学校	

花いっぱい運動

玉緒小学校	布引小学校	湖東第一小学校	御園小学校
五個荘小学校	蒲生西小学校	八日市南小学校	愛東南小学校
箕作小学校	愛東北小学校		

クリーンアップ運動

子育てスタジオPIECE	コミスポ∞ジュニアバドミントン	東近江市スポーツ推進委員協議会	東近江市シルバー人材センター

夢事業

レイラック滋賀FC	東近江バイオレッツ

アンバサダー

レイラック滋賀FC	東近江バイオレッツ	小梶孝行

イベント協力

世界凧博物館東近江大凧会館	東近江大凧保存会	一般社団法人がもう夢工房	東近江市スポーツ推進委員協議会
東近江市スポーツ協会	八日市高等学校書道部	東近江市スポーツ少年団	

競技会場・用具協力

京セラ株式会社滋賀東近江工場	滋賀学園高等学校	長野県

協力学校
八日市高等学校 八日市南高等学校 能登川高等学校 滋賀学園高等学校
八幡商業高等学校 大津高等学校 瀬田工業高等学校 八幡工業高等学校
八幡高等学校 日野高等学校 びわこ学院大学

【成年女子】

協賛企業・団体
滋賀日産自動車株式会社 清水興業株式会社 ソエダ株式会社 株式会社ヨシダヤ
株式会社プロクリーン 大塚製薬㈱京滋北陸支店大津出張所 農事組合法人マキノ町果樹生産組合 ナカショウ株式会社
杉橋建設株式会社 株式会社中田運送 不二電機工業株式会社 有限会社とも栄菓舗
株式会社ホリゾン 株式会社桑原組 高島鉱建株式会社 八田建設株式会社
高島ライオンズクラブ 株式会社大山建設 レーク滋賀農業協同組合 株式会社澤村
SUPER CENTER PLANT 高島店

応援のぼり旗作成
市内小学校
マキノ東小学校 マキノ西小学校 マキノ南小学校 今津東小学校
今津北小学校 朽木東小学校 朽木西小学校 安曇小学校
青柳小学校 本庄小学校 高島小学校 新旭南小学校
新旭北小学校

市内中学校
マキノ中学校 今津中学校 朽木中学校 安曇川中学校
高島中学校 湖西中学校

花いっぱい運動
市内小学校
マキノ東小学校 マキノ西小学校 マキノ南小学校 今津東小学校
今津北小学校 朽木東小学校 朽木西小学校 安曇小学校
青柳小学校 本庄小学校 高島小学校 新旭南小学校
新旭北小学校

市内中学校
今津中学校 朽木中学校 安曇川中学校 高島中学校

市内有志の皆様

【少年男子】

応援のぼり旗作成
志津小学校 志津南小学校 草津小学校 草津第二小学校
渋川小学校 矢倉小学校 老上小学校 老上西小学校
玉川小学校 南笠東小学校 山田小学校 笠縫小学校
笠縫東小学校 常盤小学校 高穂中学校 草津中学校
老上中学校 玉川中学校 新堂中学校 松原中学校
草津高等学校 草津東高等学校 湖南農業高等学校 玉川高等学校
綾羽高等学校 光泉カトリック高等学校 老上子ども記者クラブ

大 会 実 施 要 項
総　　則

開 催 の 趣 旨

国民スポーツ大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとする国内最大のスポーツの祭典である。

滋賀県で開催する第79回国民スポーツ大会「わたSHIGA輝く国スポ」は「湖国の感動　未来へつなぐ」をスローガンに掲げ、年齢、性別、障害のあるなしを問わず、すべての人が様々な場面で主役として光り輝くとともに、大会を通じて湖国滋賀で生まれた夢や感動、連帯感が、大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれる大会を目指して開催する。

実　施　方　針

1　実施競技

⑴　正式競技（37競技）

陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ローイング、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン

⑵　公開競技（７競技）

綱引、ゲートボール、武術太極拳、パワーリフティング、グラウンド・ゴルフ、バウンドテニス、エアロビック

⑶　デモンストレーションスポーツ（26競技）

インディアカ、ウォーキング、ウォーキングフットボール、小倉百人一首競技かるた、カローリング、還暦軟式野球、キンボールスポーツ・レクリエーション、里湖で地域を結ぶウォーキング、スポーツウエルネス吹矢、スポーツ鬼ごっこ、スポーツ拳法、スポーツチャンバラ、スリースマイルゴルフ、スローイングビンゴ、ソフトバレーボール、ネットでポンポイ、ノルディック・ウォーク、ひこねスーパーカロム、ビリヤード、フットサル、マリンスポーツフェスティバル、ミックスバレーボール、モルック、ユニカール、ユニホック、ラジオ体操第３（初代・二代目）

⑷　特別競技（１競技）

高等学校野球

2　会期および会場地

⑴　正式競技・特別競技（15市、４町：計19市町）

会　　期	会　場　地
2025年９月28日（日） ～10月８日（水） 〔11日間〕	大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、日野町、竜王町、愛荘町、大阪府豊能郡能勢町、兵庫県三木市
2025年９月６日（土） ～９月15日（月） 〔10日間〕	大津市、長浜市、草津市 ※　水泳、体操、バレーボール（ビーチバレーボール）競技会は上記会場地で実施
2025年９月21日（日） ～９月25日（木） 〔５日間〕	東近江市、京都府向日市 ※　自転車（トラック・レース、ロード・レース）競技会は上記会場地で実施

⑵　公開競技（７市：計７市町）

会　　期	会　場　地
2025年８月23日（土） ～９月21日（日）	長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市

⑶　デモンストレーションスポーツ（13市、１町：計14市町）

会　　期	会　場　地
2025年４月12日（土） ～９月14日（日）	大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、多賀町

⑷　文化プログラム

文化プログラムの実施については、「文化プログラム実施基準」に基づき、2025 年１月１日から2025年12月31日までの期間で、原則として、県内市町で開催する。

3　競技方法

各競技別実施要項に示す方法とし、正式競技は都道府県対抗で実施する。

4　ドーピング検査の実施

大会におけるアンチ・ドーピング活動（ドーピング検査およびアンチ・ドーピング教育活動）は、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構が定める「日本アンチ・ドーピング規程」および別に定める「国民スポーツ大会アンチ・ドーピング活動に関するガイドライン」に基づき実施する。

なお、治療の目的で禁止物質・禁止方法を用いる必要がある場合は、事前に「治療使用特例」（TUE）の手続きを行うこと。

各都道府県の代表選手は、大会期間中は常に「国民スポーツ大会ドーピング検査同意書」を所持しなければならない。選手が18歳未満の場合、本人の署名および親権者の署名がある同意書を所持すること。

5　参加資格、所属都道府県および選手の年齢基準

選手および監督の参加資格、所属都道府県および選手の年齢基準は、次のとおりとする。

なお、参加資格については、「第 79 回国民スポーツ大会参加資格、所属都道府県および年齢基準等の解釈・説明」を併せて確認すること。

【　公益財団法人日本スポーツ協会ホームページ　http://www.japan-sports.or.jp/　】

⑴　参加資格

ア　日本国籍を有する者であることとするが、選手および監督のうち、次の者については、日本国籍を有しない者であっても、大会に参加することができる。

(ｱ)　「出入国管理および難民認定法」に定める在留資格のうち「永住者」(「日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法」に定める「特別永住者」を含む。)

(ｲ)　少年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a　「学校教育法」第１条に規定する学校に在籍する学生または生徒で、「８　参加申込方法」で定めた参加申込締切時に１年以上在籍していること。

b　「出入国管理および難民認定法」に定める在留資格のうち、「留学」、「家族滞在」または「定住者」に該当していること。

(ｳ)　成年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a　少年種別年齢域にあった時点において前号(ｲ)に該当していた者であること。

b　「出入国管理および難民認定法」に定める在留資格のうち、大会参加時から終了時まで「留学」に該当しないこと。

［注］　上記(ｳ)b について、大学および専修学校等に在籍する成年種別の年齢域に該当する者は、「出入国管理および難民認定法」に定める「留学」以外の在留資格を有する場合も「留学」と同等に扱う。

イ　選手および監督は、所属都道府県の当該競技団体会長（代表者）とスポーツ協会会長（代表者）が代表として認め、選抜した者であること。

ウ　2023 年開催の特別大会または第 78 回大会（都道府県大会およびブロック大会を含む）において選手または監督として参加した者は、次の場合を除き、2023 年開催の特別大会または第 78 回大会と異なる都道府県から参加することはできない。

(ｱ)　成年種別

a　「学校教育法」第１条に規定する学校を卒業した者

b　結婚または離婚に係る者

［注］　a および b は当該要件発生後、初めて参加するものに限る。

c　ふるさと選手制度を活用する者（別記１「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」による。）

［注］　別記３「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

d　東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記５「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

e　能登半島地震に係る参加資格特別措置を活用する者（別記６「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

(ｲ) 少年種別

a 「学校教育法」第１条に規定する学校を卒業した者

b 結婚または離婚に係る者

c 一家転住に係る者（別記２「『一家転住等』に伴う特例措置」による。）

［注］ aからcは当該要件発生後、初めて参加するものに限る。

d JOCエリートアカデミーに在籍する者（別記３「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」による。）

e 東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記５「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

f 能登半島地震に係る参加資格特別措置を活用する者（別記６「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

エ 選手と監督の兼任は、同一種別内に限る。

オ 選手および監督は、回数を同じくする大会において、冬季大会および本大会にそれぞれ１競技に限り参加できる。

カ 選手および監督は、回数を同じくする大会において、異なる都道府県から参加することはできない。

キ 選手、監督ならびに本部役員帯同のスポーツドクターおよびアスレティックトレーナーは、大会参加前の１年以内に公益財団法人日本スポーツ協会（以下「日本スポーツ協会」という。）が指定するアンチ・ドーピング教育を受講し、「国スポ本戦出場前のアンチ・ドーピング教育履歴」に記載した者であること。

ク 上記のほか、選手については次のとおりとする。

(ｱ) 都道府県大会およびブロック大会に参加し、これを通過した者であること。

(ｲ) 健康診断を受け、競技会への参加に支障がない者であること。

(ｳ) ドーピング検査対象に選定された場合は、検査を受けなければならない。

ケ 上記のほか、監督については日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく競技別指導者資格を有する者とし、監督が不在の場合選手は参加することができない。各競技における対象資格については当該競技実施要項によるものとする。

⑵ 所属都道府県

所属都道府県は、当該競技団体が限定する場合を除き、次のいずれかが属する都道府県から選択することができる。

ア 成年種別

(ｱ) 居住地を示す現住所

(ｲ) 勤務地

(ｳ) ふるさと（別記１「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」による。）

［注］ 別記３「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

イ 少年種別

(ｱ) 居住地を示す現住所

(ｲ) 「学校教育法」第１条に規定する学校の所在地（以下「学校所在地」という。）

(ｳ) 勤務地

(ｴ) 別記３「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」に定める小学校

の所在地

※　「居住地を示す現住所」、「勤務地」、「学校所在地」のいずれかから参加する場合は、2025年４月30日以前から本大会終了時（2025年10月８日）まで、引き続き当該地に、それぞれ居住、勤務、または通学していなければならない。ただし、次の者はこの限りではない。

［成年種別］

a　別記４「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

b　別記５「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

c　別記６「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

［少年種別］

a　別記２「『一家転住等』に伴う特例措置」の適用を受ける者

b　別記４「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

c　別記５「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

d　別記６「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

⑶　選手の年齢基準

ア　選手の年齢基準については、下記を原則とする。

(ｱ)　成年種別に参加する者は、2007年４月１日以前に生まれた者とする。

(ｲ)　少年種別に参加する者は、2007年４月２日から2010年４月１日までに生まれた者とする。

(ｳ)　年齢を区分している種別へ参加する者の年齢計算は、2025年４月１日を基準とする。

イ　日本スポーツ協会が特に認める場合は、上記アにかかわらず、競技ごとに年齢区分を設定することができる。ただし、年齢の下限は中学３年生（2010年４月２日から2011年４月１日までに生まれた者）とする。

⑷　前記の各事項に疑義のあるときは、日本スポーツ協会および当該競技団体が調査・審議のうえ、日本スポーツ協会がその可否を決定する

６　各正式競技の総合成績決定方法

各正式競技の総合成績決定方法は次のとおりとする。

⑴　次のア、イの得点を合計したものを男女総合成績（天皇杯得点）および女子総合成績（皇后杯得点）とする。

ア　競技得点

競技得点は、各種別、種目などの第１位から第８位までの都道府県に与え、次のとおりとする。ただし、同順位の場合は、次の順位のものを加え、当該都道府県で等分し、割り切れない場合は、小数第３位以下を切り捨てる。

		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
種別	4人以下	24点	21点	18点	15点	12点	9点	6点	3点
	5人以上7人以下	40点	35点	30点	25点	20点	15点	10点	5点
	8人以上	64点	56点	48点	40点	32点	24点	16点	8点
種目	―	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点

［注］ 「種別」：種別などに与える競技得点 「種目」：種目などに与える競技得点

イ 参加得点

参加得点は10点とし、大会（ブロック大会を含む。）に参加した都道府県に与える。

ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

⑵ 各競技の総合成績は、当該競技団体が決定する。

ただし、天候その他の事情により一部競技が中止になった場合は、当該競技団体と大会総務委員会が協議する。

⑶ 参加資格違反等に関わる得点等の取り扱いについては、「国民スポーツ大会における違反に対する処分に関する規程」によるものとする。

7 表彰

⑴ 冬季大会および本大会で実施した全正式競技の男女総合成績第1位の都道府県に天皇杯を、同じく女子総合成績第1位の都道府県に皇后杯をそれぞれ授与する。

⑵ 冬季大会および本大会で実施した全正式競技の男女総合成績および女子総合成績の第1位から第8位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。

⑶ 各正式競技の男女総合成績第1位の都道府県に、国民スポーツ大会会長トロフィーを授与する。

⑷ 各正式競技の男女総合成績および女子総合成績の第1位から第8位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。

⑸ 各競技の各種別および各種目などの第1位から第8位までに賞状を授与する。団体競技の場合は、その都道府県名とチーム全員（監督を含む）の氏名を記載したものを都道府県用に1枚、さらにその都道府県名と個人名を記載したもの、または都道府県名とチーム全員（監督を含む）の氏名を記載したものをチーム全員に授与する。

8 参加申込方法

⑴ 参加申込

都道府県スポーツ協会会長（代表者）および競技団体会長（代表者）は、連署の上、都道府県大会またはブロック大会において選抜された者および公益財団法人日本高等学校野球連盟が選出したチームを、大会会長宛に申込むものとする。

⑵ 参加申込締切

参加申込は、定められた締切日までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。なお各競技別実施要項の「参加申込方法」を併せて確認すること。

⑶ 参加申込締切日

締　切　日	競　　技
2025年 ８月20日(水) 【12競技】	水泳、ローイング、バレーボール（ビーチバレーボール)、体操、レスリング、セーリング、自転車、相撲、カヌー、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン
2025年 ９月４日（木） 【27競技】	陸上競技、サッカー、テニス、ホッケー、ボクシング、バレーボール（６人制)、バスケットボール、ウエイトリフティング、ハンドボール、ソフトテニス、卓球、軟式野球、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、アーチェリー、空手道、銃剣道、なぎなた、高等学校野球

⑷　参加申込様式

参加申込様式は、日本スポーツ協会が実施競技団体と協議の上、作成する。

⑸　公開競技の参加申込

公開競技については、別途当該中央競技団体が定める所定の手続きにより行う。

⑹　選手の交代

参加申込締切後の選手の交代は、特別な事情がない限り認めない。特別な事情で選手を交代する場合は、所定の様式、方法により次のア～ウ宛に届け出なければならない。

ア　全国を統轄する各中央競技団体事務局

イ　わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会事務局

ウ　わたSHIGA輝く国スポ・障スポ各競技会場地市町実行委員会事務局

なお、日本スポーツ協会に対しては、大会終了後、所定の手続きにより参加申込情報を修正すること。

９　棄権手続

参加申込締切後から競技初戦までの間において、特別な事情で選手が競技会を棄権する場合には、所定の棄権手続きをとらなければならない。

なお、棄権手続きに係る届出については選手交代届と同じ様式を用いること。

10　大会参加負担金

⑴　大会に参加選手団（視察員を除く）を派遣する都道府県スポーツ協会は、大会参加負担金を納入する。一人当たりの大会参加負担金の額は下記のとおりとする。

区　　分	負　担　金
少年の種別に参加する選手	３，０００円
上記以外の者（本部役員、監督、成年の種別に参加する選手等)	６，０００円

［注］　地震、風水害、感染症およびその他主催者の責によらない事由により大会を中止した場合、大会参加負担金の返金は行わない。

⑵　大会参加負担金は、都道府県スポーツ協会で取りまとめ、次のとおり納入する。

ア　納入期限　2025年９月５日（金）

イ　納 入 先　みずほ銀行　渋谷支店　普通預金口座　513729

公益財団法人日本スポーツ協会

11　宿泊申込

大会参加者は、わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会が指定した所定の様式により、定められた締切日までに申込む。

12　都道府県選手団本部役員編成

⑴　都道府県選手団本部役員は、次のとおりとする。

ア　参加選手500名以上の場合は、団長、総監督および総務ほか、計20名以内とする。

イ　参加選手300名以上500名未満の場合は、団長、総監督および総務ほか、計15名以内とする。

ウ　参加選手300名未満の場合は、団長、総監督および総務ほか、計10名以内とする。

⑵　上記役員のほか、５名以内の顧問を設けることができる。

⑶　上記⑴および⑵による本部役員総数の範囲内で、スポーツドクターを帯同するものとする。なお、帯同するスポーツドクターは日本スポーツ協会公認スポーツドクター資格を有する者とする。

⑷　上記⑴および⑵による本部役員総数の範囲内で、原則としてアスレティックトレーナーを帯同するものとする。

なお、帯同するアスレティックトレーナーは日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格を有する者とする。

⑸　都道府県選手団本部役員の１日あたりの編成人数については、上記⑴および⑵による人数を上限とする。

⑹　都道府県選手団本部役員の参加申込は、2025年９月４日（木）までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。

13　視察員

⑴　視察員は、１都道府県３名以内とする。ただし、2026年以降の国民スポーツ大会の開催が決定または内定している県については、青森県100名以内、宮崎県および長野県60名以内、群馬県および島根県40名以内とする。

⑵　都道府県の視察員の参加申込は、2025年９月４日（木）までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。

14　ADカードの交付

都道府県選手団、公開競技に参加する選手・監督および役員、大会役員・競技会役員および競技団体が指定した競技役員、大会主催者および競技会主催者が認めた者にはADカード（Accreditation Card）を交付する。

15　参加上の注意

⑴　大会期間中は、交付されたADカードを携帯しなければならない。

⑵　各都道府県の代表選手は、競技に際し、「国民スポーツ大会ユニフォーム規程」に基づき、ユニフォームを着用しなければならない。

16　個人情報および肖像権に関わる取り扱い

日本スポーツ協会、わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会、わたSHIGA輝く国スポ・障スポ各競技会場地市町実行委員会および国民スポーツ大会実施競技中央競技団体（以下「国スポ関係機関・団体」という。）は、参加申込等を通じて取得する個人情報および肖像権の取り扱いに関して以下のとおり対応するものとする。

⑴　個人情報の取り扱い

ア　利用目的

大会参加申込として国民スポーツ大会参加申込システムへ登録された個人情報は、国スポ関係機関・団体において、参加資格の確認や競技組合せなどをはじめとする大会運営業務のために利用し、目的以外に利用しない。

イ　公表の範囲と方法

個人情報のうち、所属都道府県、氏名、性別、年齢、学校名、チーム名等、所属と個人を識別するために必要な情報については、以下の方法等により公表することがある。

(ｱ)　総合プログラムおよび競技別プログラムへの掲載

(ｲ)　競技会場内におけるアナウンス等による紹介

(ｳ)　競技会場内外の掲示板等への掲載

(ｴ)　大会関連ホームページへの掲載

(ｵ)　報道機関への提供

ウ　競技結果（記録）等

競技結果（記録）については、上記イで定めた個人情報とともに、以下の方法等により公表することがある。

(ｱ)　わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会が設置する記録本部を通じた公開

(ｲ)　国スポ関係機関・団体および報道機関等による新聞・雑誌および関連ホームページ等への掲載

(ｳ)　国スポ関係機関・団体が作成する大会報告書等への掲載

(ｴ)　次回以降の大会プログラムへの掲載【新記録、優勝および上位入賞結果（記録）等】

⑵　肖像権に関する取り扱い

ア　写真

国スポ関係機関･団体またはこれらに認められた報道機関等によって撮影された写真が、新聞・雑誌・報告書および関連ホームページ等で公開されることがある。

イ　写真（写真撮影企業等）

国スポ関係機関・団体に認められた写真撮影企業等によって撮影された写真等が販売されることがある。

なお、各競技・会場における販売の有無等の詳細は、当該中央競技団体を中心に対応する。

ウ　映像

国スポ関係機関･団体またはこれらに認められた報道機関等によって撮影された映像が、中継・録画放映およびインターネットによって配信されることがある。また、DVD 等に編集され、販売・配付されることがある。

⑶　対応

ア　承諾の確認

大会参加申込として国民スポーツ大会参加申込システムへ登録された時点で、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

なお、各競技会における取り扱いに伴い、別途、当該中央競技団体等によって個別に承諾を確認することがある。

イ　役員等

大会役員、競技役員、運営役員、その他各種委員や補助員、国スポ関係機関・団体と大会に関する契約をしている者および大会運営関係者については、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

17　都道府県大会およびブロック大会

正式競技については、本大会の予選として次のとおり都道府県大会（ブロック大会）を開催しなければならない。

⑴　都道府県の主催団体は、必要に応じて日本スポーツ協会および中央競技団体等関係団体と協議の上、本要項に基づき実施要項を作成する。

なお、日本スポーツ協会および中央競技団体は、その内容に不備がある場合、適宜指導を行うものとする。

⑵　都道府県大会の実施にあたり、当該都道府県主催団体は、適正な手続きに則り決定した代表選手の選抜方法・選考基準について、予め関係者に周知徹底を図るものとする。

⑶　参加者は、実施要項に基づき当該主催団体に申込む。

なお、参加は１人１競技に限る。

⑷　ブロック大会の申込みは、原則として国民スポーツ大会参加申込システムにより行い、様式は日本スポーツ協会および当該主催団体が協議の上、作成する。

なお、参加申込システムを使用しない場合の様式については、当該主催団体において別途作成する。

⑸　都道府県大会の参加申込様式は、当該主催団体において作成する。

⑹　参加料を徴収する場合の金額は、当該主催団体が中央競技団体と協議の上、定める。

⑺　競技運営に差し支えない限り、滋賀県選手は当該競技ブロック大会を経ることなく本大会に参加することができる。

18　国民スポーツ大会参加者傷害補償制度

日本スポーツ協会および都道府県スポーツ協会は、国民スポーツ大会参加者に対する社会的責任体制を整えるとともに、大会参加者の相互扶助の精神に基づいた補償制度として大会参加者による国民スポーツ大会参加者傷害補償制度を運営する。

⑴　本制度の対象となる参加者は、ブロック大会および本大会に参加する本制度給付規定に定められた選手、監督、選手団本部役員（顧問を含む）、視察員ならびにその他選手団役員とする。

⑵　大会参加の都道府県スポーツ協会は、国民スポーツ大会参加者傷害補償制度の対象となる参加者数に応じた制度負担金（一人あたり 1,000 円）を、日本スポーツ協会に納入する。

⑶　納入締切日および納入先については、別途日本スポーツ協会から都道府県スポーツ協会へ

通知する。

19　わたSHIGA輝く国スポの取組

⑴　環境に配慮した大会の実施

スポーツの楽しさや感動を分かち合うとともに、滋賀県に受け継がれている身の回りの生活から自然環境を考える取組を県民や企業､大会に関わるすべての参加者が実践することで、「人と人、人と地域、人と自然」の繋がりを深めることができるよう取り組む。

⑵　おもてなしと滋賀の魅力発信

豊かな自然や歴史、文化、芸術、祭り、伝統芸能、特産品などの地域資源、湖上スポーツをはじめとした滋賀ならではのスポーツ環境など、滋賀の魅力を発信し、来県者が滋賀での滞在を楽しむことができるよう取り組む。

⑶　誰もが主役として輝ける取組の推進

年齢や性別、障害の有無などを問わず、誰もが一層身近にスポーツを楽しむことができる環境をつくり、誰もがボランティアや大会関連行事等に積極的に参加できる環境をつくるなど、それぞれのスタイルで「する」「みる」「支える」の体験ができる大会となるよう取り組む。

20　その他

⑴　参加申込および宿泊申込が、定められた締切日までに行われない場合、または、参加負担金が定められた納入期限までに納入されない場合は、本大会への参加を認めない。

⑵　大会運営にあたり、選手・観客・大会関係者への安全を最優先に配慮し、気象状況・感染状況・交通状況・テロ行為等の各種災害に伴い、安全確保が見込めないと主催者が判断した場合は、主催者の指示に従うものとする。また、安全確保のために、参加申込システムに登録された以外の個人情報を取得する場合がある。取得した情報については、目的以外に利用しない。

⑶　その他の事項については、国民スポーツ大会開催基準要項および同細則による。

別記１　「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」

１　成年種別年齢域の選手は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項〔国民スポーツ大会開催基準要項第８項第１号および第 10 項第４号（参加資格および年齢基準等)〕に基づき、下記のいずれかを拠点とした都道府県から参加することができる。

⑴　居住地を示す現住所

⑵　勤務地

⑶　ふるさと

２　「ふるさと」とは、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県とする。

ただし、JOC エリートアカデミーに係る選手については、別に定める「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」第３項により取り扱うものとする。

３　我が国の競技力向上を支援する観点より、日本国籍を有する者および「永住者」については、日本における滞在期間に関わらず、本制度を活用できるものとする。ただし、「日本国籍を有する者および『永住者』」に該当しない者であっても、当該大会年の４月 30 日（冬季大会は前年の４月 30 日）以前から本大会終了時（冬季大会は各競技会終了時）まで継続的に日本に滞在している場合は、本制度を活用できるものとする。なお、やむを得ない事情により、一時的に日本を離れる場合は、総日数の半数を超えて日本で滞在していること。

４　「ふるさと選手制度」を活用し参加を希望する選手は、予め所定の方法により「ふるさと」を登録しなければならない。なお、一度登録した「ふるさと」は変更できないものとする。

５　「ふるさと」から参加する選手は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項－⑴－1）－③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。

６　ふるさと選手制度の活用については、原則として、１回につき２年以上連続とし、利用できる回数は２回までとする。

７　参加都道府県は「ふるさと選手」を所定の様式、方法により、当該大会実施要項で定めた参加申込締切期日までに、日本スポーツ協会宛に提出する。

別記２　「『一家転住等』に伴う特例措置」

転校への特例

１　次の内容をすべて満たすことにより、国内移動選手の制限（国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項－⑴－1）－③）に抵触しないものとする。

⑴　この特例の対象は、「少年種別」への参加者に限る。

⑵　本特例を受けることができるのは、一家転住等やむを得ない理由に限ることとする。
なお「一家転住等」とは概ね次のことを言う。

ア　親の転勤による一家の転居

イ　親の結婚、離婚による一家の転居

ウ　上記以外に、やむを得ない理由による一家の転居

⑶　転居した時点に応じて、以下の手続きを終了していること。

ア　本特例を受けようとする参加者は、下記２⑴の場合は転居元、下記２⑵の場合は転居先が属する都道府県スポーツ協会および都道府県競技団体に対し、その旨報告すること。

イ　報告を受けた都道府県スポーツ協会および都道府県競技団体は、下記２⑴の場合は転居先、下記２⑵の場合は転居元が属する都道府県スポーツ協会および都道府県競技団体に対し、その旨報告し了承を得ること。

２　本特例を受ける当該大会において、参加することができる都道府県は以下のとおりとする。

⑴　転居した時点において、以下に該当する場合は転居元が属する都道府県から参加することができる。

ア　転居先が属する都道府県の代表が既に決定している場合

イ　当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表として既に決定している場合

ウ　当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表選考過程にある場合

⑵　転居した時点において、以下に該当する場合は転居先が属する都道府県から参加することができる。

ア　転居元が属する都道府県において、当該大会における都道府県代表の選考が開始されていない場合

別記３　「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」

公益財団法人日本オリンピック委員会が実施する「JOC エリートアカデミー」に係る選手のうち、下記１に該当する者については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項〔国民スポーツ大会開催基準要項第８項第１号および第 10 項第４号（参加資格および年齢基準等）〕および別記１「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」に関し、次の２～４の特例を適用する。

１　対象者

⑴　少年種別年齢域の選手で JOC エリートアカデミーに在籍する者

⑵　成年種別年齢域の選手で JOC エリートアカデミーを修了した者、または同アカデミーに在籍する者

２　少年種別年齢域の選手の所属都道府県

本特例第１項－⑴に定める少年種別年齢域の選手は、その所属都道府県について、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項－⑴－2）‐②に定める「居住地を示す現住所」、「学校教育法第１条に規定する学校の所在地」、「勤務地」のほか、卒業小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

なお、同アカデミーへの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

３　成年種別年齢域の選手の「ふるさと」

本特例第１項－⑵に定める成年種別年齢域の選手は、別記１「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」第２項に定める卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県のほか、同アカデミーでの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を「ふるさと」とすることができる。

４　国内移動選手の制限に係る例外適用

本特例第１項－⑴に定める少年種別年齢域の選手が前回の大会（都道府県大会を含む）と異なる都道府県から参加する場合、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項－⑴－1）－③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。

［注］　本特例第１項－⑵に定める成年種別年齢域の選手については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項－⑴－1）－③(国内移動選手の制限)の規定に従い取り扱うものとする。

５　その他

中央競技団体が国際競技力向上施策として独自に実施するアカデミー事業については、当該中央競技団体からの申請を踏まえ、当該事業の内容が JOC エリートアカデミーに準拠し実施されていることが、公益財団法人日本オリンピック委員会により確認された場合に限り、当該事業を本特例の対象に加えることができる。

別記４　「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

我が国の競技力向上を支援する観点より、一定の競技力を有する選手に対して、「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置（以下「本特例」という。）」を下記のとおり定める。

１　特例の対象となる選手

本特例の対象となる選手は、下記の条件のいずれかを満たす者とする。

⑴　第 33 回オリンピック競技大会（2024 年・パリ）に参加した者。

⑵　2025 年４月 30 日時点で、下記のいずれかに該当し、各中央競技団体が本特例の対象として認めた者

ア　JOC オリンピック強化指定選手

イ　各競技（種目）における国内ランキング上位 10 位以内の者

ウ　中央競技団体が定めた強化指定選手

※　強化指定ランクについては、各競技における全日本選手権大会入賞レベル以上のカテゴリーを対象とする。

２　特例の内容

⑴　予選会の免除

本特例の対象となる選手については、都道府県予選会およびブロック大会を経ずに国民スポーツ大会本大会に参加することができるものとする。ただし、ブロック大会実施競技種目・種別においては、当該都道府県代表選手またはチームがブロック大会に参加し、本大会参加枠を獲得している場合とする。

⑵　資格要件（日数要件の緩和）

本特例の対象となる選手が所属都道府県として「居住地を示す現住所」または「勤務地」を選択する場合は、日数に関する要件を定めないこととし、以下のとおりとする。

ア　居住地を示す現住所

次の要件をいずれも満たすものとする。

(ｱ)　2025 年４月 30 日以前から大会終了時（2025 年 10 月８日）まで引き続き、住民票記載の住所に存する都道府県において生活している実態があり、当該都道府県以外（海外を含む）において生活している実態がないこと。

なお、生活の実態については、下記要件により判断する。

a　自ら所有する住居、または自らの名義で住居を賃借していること

b　当該住居に生計を一にする家族と共に住んでいること

c　当該住居の水道光熱費など費用を自ら負担していること

d　当該住居に主要な家財道具が存すること

(ｲ)　合宿、試合等により当該都道府県外で活動を行う場合、当該都道府県を移動の起点としていること。

イ　勤務地

次の要件をいずれも満たすものとする。

(ｱ)　2025 年４月 30 日以前から大会終了時（2025 年 10 月８日）まで引き続き、雇用主と雇用契約を締結した上で、当該都道府県内に存する雇用主の会社や事業所等に現実に通勤し、勤務していること。

(ｲ)　当該都道府県内で、競技普及活動等の事業に参加すること。

３　国内移動選手の制限

本特例の対象となる選手の国内移動選手の制限については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項－⑴－1）－③のとおりとする。

別記５　「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

１　特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況および影響等を総合的に勘案し、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県の６県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

２　特例の内容

⑴　特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

以下の選手および監督については、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たしていなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

ア　2011 年３月 11 日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第１条に規定する学校に在籍していた者であること。

イ　災害が発生しなかったと仮定した場合、2025 年４月 30 日以前から大会終了時（2025 年 10 月８日）まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

⑵　避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア　被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手および監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、2023 年開催の特別大会または第 78 回大会に当該特例対象県から参加していても、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項－⑴－1）－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

(ｱ)　2011 年３月 11 日時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第１条に規定する学校に在籍していた者であること。

(ｲ)　移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が 2025 年４月 30 日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

［注］　「居住地を示す現住所」および「学校所在地」として参加を希望する者について

は、当該自治体への住所に関する届出または学籍に係る要件を満たしていなくとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学している実態を有していると日本スポーツ協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場することができる。

イ　本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から第78回大会または第79回大会に参加した者が、第80回大会において、以下のような震災にかかる理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項－⑴－1）－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

＜例＞　○　避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合

○　避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする場合

○　他の都道府県に避難先を移す場合

⑶　避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

ア　卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地

イ　災害の発生した時点で在籍していた小学校、中学校または高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記イの学校所在地を「ふるさと」として登録した場合についても、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

【特例の対象者】

2011年度から2012年度（小学校は2015年度）までに、避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者。

別記６　「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

１　特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況および影響等を総合的に勘案し、新潟県、富山県、石川県、福井県の４県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

２　特例の内容

⑴　特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

以下の選手および監督については、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たしていなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

ア　2024年１月１日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第１条に規定する学校に在籍していた者であること。

イ　災害が発生しなかったと仮定した場合、2025年４月30日以前から当該大会終了時（2025年10月８日）まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

⑵　避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア　被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手および監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、2023年開催の特別大会または第78回大会に、当該特例対象県から参加していても、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項－⑴－1）－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

（ｱ）　2024年１月１日時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第１条に規定する学校に在籍していた者であること。

（ｲ）　移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が2025年４月30日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

［注］　「居住地を示す現住所」および「学校所在地」として参加を希望する者については、当該自治体への住所に関する届出または学籍に係る要件を満たしていなくとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学して

いる実態を有していると日本スポーツ協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場することができる。

イ　本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から第 78 回大会または第 79 回大会に参加した者が、第 80 回大会において、以下のような震災に係る理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項－⑴－1）－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

＜例＞　○　避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合

○　避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする場合

○　他の都道府県に避難先を移す場合

⑶　避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

ア　卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地

イ　災害の発生した時点で在籍していた小学校、中学校または高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記イの学校所在地を「ふるさと」として登録した場合についても、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

【特例の対象者】

2024年度から2025年度（小学校は2028年度）までに、避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者。

ソフトボール競技　実施要項

1　期　　日　　2025年9月29日（月）から10月1日（水）まで（3日間）

種　　別	9月29日（月）	9月30日（火）	10月1日（水）
成年男子	1　回　戦	準々決勝・準決勝	決　　勝
成年女子	1　回　戦	準々決勝・準決勝	決　　勝
少年男子	1　回　戦	準々決勝・準決勝	決　　勝
少年女子	1　回　戦	準々決勝・準決勝	決　　勝

2　会　　場

東近江市　（成年男子）　東近江市総合運動公園布引多目的グラウンド（A）
　　東近江市総合運動公園布引多目的グラウンド（B）
高島市　（成年女子）　高島市今津総合運動公園第1グラウンド（C）
　　高島市今津総合運動公園第2グラウンド（D）
草津市　（少年男子）　草津市立野村運動公園グラウンド（E）
　　草津市立野村運動公園グラウンド（F）
守山市　（少年女子）　守山市民球場（G）
　　守山市民運動公園ソフトボール場（H）

3　種別及び参加人員

種　　別	監　　督	選　　手	チーム数	小　　計	合　計（人）
成年男子	1	12	13	169	715
成年女子	1	13	13	182	
少年男子	1	13	13	182	
少年女子	1	13	13	182	

4　競技上の規程及び方法

(1)　競技規則は、「2025年度公益財団法人日本ソフトボール協会オフィシャルソフトボールルール」を適用する。ただし、特別事項は、監督会議で決める。
(2)　試合方法は、トーナメント方式による。ただし、3位決定戦は行わない。
(3)　5回以降7点以上の差がついた場合は、コールドゲームとする。

5　予選方法

(1)　都道府県大会は、各都道府県において細目を決めて実施し、ブロック大会代表チームを決定する。
(2)　ブロック大会は、各ブロックにおいて実施し、本大会代表チームを決定する。実施要項は、そのブロック内で協議のうえ作成する。
(3)　各ブロック代表の理事は、ブロック大会終了後、直ちにブロック大会参加チーム名及び成績を公益財団法人日本ソフトボール協会宛に報告すること。

(4)　ブロック大会区分及び各種別の代表チーム数は、次の表のとおりとする。

ブロック名	都 道 府 県 名	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子
北海道	北海道	1	1	1	1
東　北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	2	2	1	1
関　東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨	2	2	2	2
北信越	新潟、長野、富山、石川、福井	2	1	1	1
東　海	静岡、愛知、三重、岐阜	1	1	1	1
近　畿	京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	1	1	2	2
中　国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	1	1	1	1
四　国	香川、徳島、愛媛、高知	1	1	1	1
九　州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	1	2	2	2
開催県	滋賀	1	1	1	1
計		13	13	13	13

6　参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

総則５に定めるもののほか、次による。

(1)　監督が選手を兼ねるときは、選手登録をしなければならない。

(2)　本大会に参加する監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認ソフトボールコーチ１、公認ソフトボールコーチ２、公認ソフトボールコーチ３、公認ソフトボールコーチ４のいずれかの有資格者でなければならない。

7　総合成績決定方法

男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い都道府県に順位を決定する。ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

(1)　競技得点

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競　技　得　点
成　年　男　子 成　年　女　子 少　年　男　子 少　年　女　子	成　年　女　子 少　年　女　子	各種別とも１位 64 点、２位 56 点、３位（２チーム）各 44 点、５位（４チーム）各 20 点の競技得点を与える。

(2)　参加得点

大会（ブロック大会を含む）に参加した都道府県に 10 点を与える。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

８　表　　彰

(1)　男女総合成績及び女子総合成績第１位から第８位までの都道府県に表彰状を授与する。
(2)　男女総合成績第１位の都道府県に大会会長トロフィーを授与する。
(3)　各種別の第１位から第５位（４チーム）までに賞状を授与する。

９　参加申込み方法

総則８に定めるもののほか、次による。

(1)　所定の Web ページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスし、必要項目を入力の上、所属都道府県スポーツ協会を通じて、2025 年９月４日（木）までに申込手続きを完了すること。
(2)　締切期限以降は所定の Web ページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスできなくなるので、締切期限を厳守すること。
(3)　参加申込み締切後の選手・監督の変更は、疾病、傷害、転勤等の特別な場合のみ認めるものとし、その取扱いについては次のとおりとする。
ア　提出期日　　監督会議前日まで
イ　提出先
(ｱ)　〒160-0013　東京都新宿区霞ヶ丘町４番２号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 10F
公益財団法人日本ソフトボール協会
TEL 03-5843-0480　FAX 03-5843-0485
メールアドレス jsaoffice@softball.or.jp
(ｲ)　〒520-0807　滋賀県大津市松本一丁目２番１号
わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会事務局
（滋賀県国スポ・障スポ大会局　競技運営室　競技第一係）
TEL 077-528-3324　FAX 077-528-4836
メールアドレス kokusupo-sanka@pref.shiga.lg.jp
(ｳ)　（成年男子）
〒527-8527　滋賀県東近江市八日市緑町 10 番 5 号
わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ東近江市実行委員会事務局
（東近江市文化スポーツ部国スポ・障スポ競技課）
TEL 0748-24-5675　FAX 0748-24-5667
メールアドレス softball@city.higashiomi.lg.jp
(ｴ)　（成年女子）
〒520-1592　滋賀県高島市新旭町北畑 565 番地
わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ高島市実行委員会事務局
（高島市教育委員会事務局国スポ・障スポ大会推進課）
TEL 0740-25-8567　FAX 0740-25-8539
メールアドレス sb-kokusupo2025@city.takashima.lg.jp
(ｵ)　（少年男子）
〒525-8588　滋賀県草津市草津三丁目 13 番 30 号
わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ草津市実行委員会事務局
（草津市教育委員会事務局国スポ・障スポ推進室）

TEL 077-561-6896　FAX 077-561-0181
メールアドレス softball2025@city.kusatsu.lg.jp

(ｶ)　(少年女子)
〒524-0021　滋賀県守山市吉身二丁目５番 22 号
わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ守山市実行委員会事務局
（守山市総合政策部スポーツ振興課）
TEL 077-582-1169　FAX 077-582-0539
メールアドレス kokusupo-softball@city.moriyama.lg.jp

ウ　提出方法　交代届を記載、押印後、PDF データをメール送信

エ　特記事項　診断書は不要とする。選手変更の場合、交代者記載内容「その他の必要事項」欄にユニフォームナンバーを記載すること。

なお、公益財団法人日本スポーツ協会に対しては、大会終了後、別途、所定の手続きにより参加申込み情報を修正すること。

10　参加上の注意

(1)　ユニフォームナンバーは１～99 番までとする。ただし、主将は 10 番、監督は 30 番とし、背番号の大きさは、15cm 以上で統一されたものであること。また、ユニフォーム上衣の胸下に背番号と同番号を付けること。大きさは、６cm 以上 12cm 以内とする。

(2)　競技に際しては、都道府県名のみを明記したユニフォームを着用しなければならない。

(3)　チーム名は、単独、補強、選抜を問わず都道府県名を明示すること。

(4)　監督会議の出席に際しては、競技用ユニフォームを着用すること。

(5)　会場地において配宿する人員は、エントリー数以外は認めない。

11　その他

(1)　組合せ抽選会
日　時　2025 年９月７日（日）　午後１時
場　所　JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 内会議室
〒160-0013　東京都新宿区霞ヶ丘町４番２号
TEL 03-5843-0480　FAX 03-5843-0485

(2)　監督会議
（成年男子）
日　時　2025 年９月 28 日（日）　午後２時
場　所　東近江市役所　東庁舎東 D 会議室
〒527-8527　滋賀県東近江市八日市緑町 10 番５号
TEL 0748-24-5675　FAX 0748-24-5667
（成年女子）
日　時　2025 年９月 28 日（日）　午後２時
場　所　高島市役所　新館３階会議室 10・11・12
〒520-1592　滋賀県高島市新旭町北畑 565 番地
TEL 0740-25-8567　FAX 0740-25-8539

（少年男子）
日　時　　2025年９月28日（日）　午後２時
場　所　　草津市役所　８階大会議室
〒525-8588　滋賀県草津市草津三丁目13番30号
TEL 077-561-6896　FAX 077-561-0181
（少年女子）
日　時　　2025年９月28日（日）　午後２時
場　所　　守山市民ホール　学習室１
〒524-0051　滋賀県守山市三宅町125番地
TEL 077-582-1169　FAX 077-582-0539

(3)　審判・記録員会議
（成年男子）
日　時　　2025年９月28日（日）　午後３時
場　所　　東近江市役所　東庁舎東D会議室・東E会議室
〒527-8527　滋賀県東近江市八日市緑町10番５号
TEL 0748-24-5675　FAX 0748-24-5667
（成年女子）
日　時　　2025年９月28日（日）　午後３時
場　所　　高島市役所　新館３階会議室９・10
〒520-1592　滋賀県高島市新旭町北畑565番地
TEL 0740-25-8567　FAX 0740-25-8539
（少年男子）
日　時　　2025年９月28日（日）　午後３時
場　所　　草津市役所　８階大会議室・２階特大会議室
〒525-8588　滋賀県草津市草津三丁目13番30号
TEL 077-561-6896　FAX 077-561-0181
（少年女子）
日　時　　2025年９月28日（日）　午後３時
場　所　　守山市民ホール　会議室・学習室３
〒524-0051　滋賀県守山市三宅町125番地
TEL 077-582-1169　FAX 077-582-0539

(4)　表彰式
決勝、準決勝、準々決勝終了後、直ちに当該グラウンドで行う。

式　典　次　第

【第５位表彰式】

日　時　2025 年９月 30 日（火）
　　準々決勝終了後
会　場　各球場

順　　序	内　　容
1	選手整列
2	開式通告
3	賞状
4	閉式通告
5	選手退場

【第３位表彰式】

日　時　2025 年９月 30 日（火）
　　準決勝終了後
会　場　各球場

順　　序	内　　容
1	選手整列
2	開式通告
3	賞状・メダル・副賞授与
4	閉式通告
5	選手退場

【種別表彰式】

日　時　2025 年 10 月１日（水）
　　決勝戦終了後
会　場　各球場

順　　序	内　　容
1	選手整列
2	開式通告
3	成績発表
4	賞状・メダル・副賞授与
5	競技会会長あいさつ
6	歓送のことば
7	競技会終了宣言
8	閉式通告
9	選手退場

【総合表彰式】

日　時　2025 年 10 月１日（水）
　　種別表彰式終了後
会　場　高島市今津総合運動公園第１グラウンド（C 球場）

順　　序	内　　容
1	選手整列
2	開式通告
3	成績発表
4	賞状授与
5	大会会長トロフィー授与
6	競技会終了宣言
7	開式通告
8	選手退場

ソフトボール競技

東近江市・高島市
草津市・守山市

競技日程

監督会議	9月28日（日） 14時00分	（成年男子）	東近江市役所東庁舎東D会議室
		（成年女子）	高島市役所新館３階会議室10・11・12
		（少年男子）	草津市役所８階大会議室
		（少年女子）	守山市民ホール学習室１
審判・記録員会議	9月28日（日） 15時00分	（成年男子）	東近江市役所東庁舎東D会議室・東E会議室
		（成年女子）	高島市役所新館３階会議室９・10
		（少年男子）	草津市役所８階大会議室・２階特大会議室
		（少年女子）	守山市民ホール会議室・学習室３

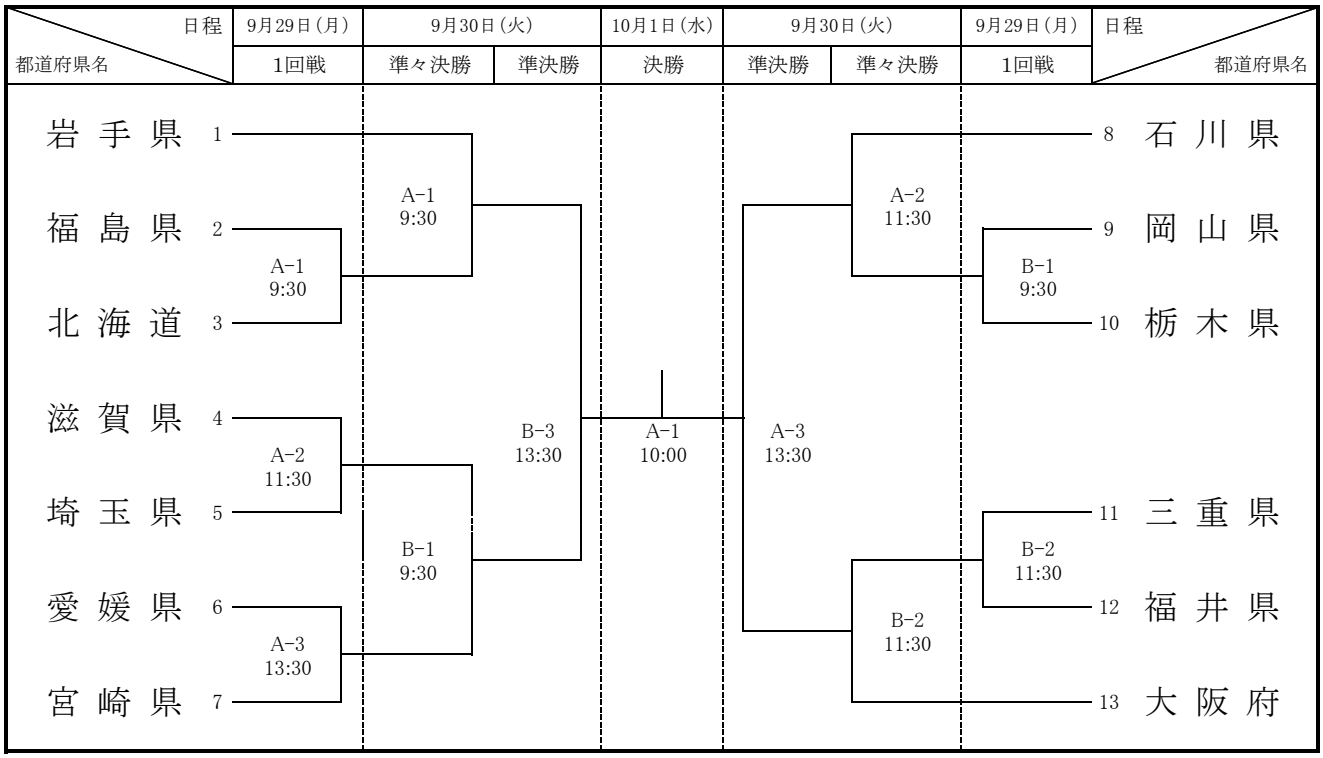
			9月29日（月）	9月30日（火）	10月１日（水）
東近江市	成年男子	A	東近江市総合運動公園布引多目的グラウンド		
			１回戦 第１試合 9：30～ 第２試合 11：30～ 第３試合 13：30～	準々決勝 第１試合 9：30～ 第２試合 11：30～ 準決勝 13：30～	決勝 10：00～
		B	東近江市総合運動公園布引多目的グラウンド		
			１回戦 第１試合 9：30～ 第２試合 11：30～	準々決勝 第１試合 9：30～ 第２試合 11：30～ 準決勝 13：30～	
高島市	成年女子	C	高島市今津総合運動公園第１グラウンド		
			１回戦 第１試合 9：30～ 第２試合 11：30～ 第３試合 13：30～	準々決勝 第１試合 9：30～ 第２試合 11：30～ 準決勝 13：30～	決勝 10：00～
		D	高島市今津総合運動公園第２グラウンド		
			１回戦 第１試合 9：30～ 第２試合 11：30～	準々決勝 第１試合 9：30～ 第２試合 11：30～ 準決勝 13：30～	
草津市	少年男子	E	草津市立野村運動公園グラウンド		
			１回戦 第１試合 9：30～ 第２試合 11：30～ 第３試合 13：30～	準々決勝 第１試合 9：30～ 第２試合 11：30～ 準決勝 13：30～	決勝 10：00～
		F	草津市立野村運動公園グラウンド		
			１回戦 第１試合 9：30～ 第２試合 11：30～	準々決勝 第１試合 9：30～ 第２試合 11：30～ 準決勝 13：30～	
守山市	少年女子	G	守山市民球場		
			１回戦 第１試合 9：30～ 第２試合 11：30～ 第３試合 13：30～	準々決勝 第１試合 9：30～ 第２試合 11：30～ 準決勝 13：30～	決勝 10：00～
		H	守山市民運動公園ソフトボール場		
			１回戦 第１試合 9：30～ 第２試合 11：30～	準々決勝 第１試合 9：30～ 第２試合 11：30～ 準決勝 13：30～	

５　位　表　彰　式	９月30日（火） 準々決勝終了後	成年男子	Ａ：東近江市総合運動公園布引多目的グラウンド
			Ｂ：東近江市総合運動公園布引多目的グラウンド
		成年女子	Ｃ：高島市今津総合運動公園第１グラウンド
			Ｄ：高島市今津総合運動公園第２グラウンド
		少年男子	Ｅ：草津市立野村運動公園グラウンド
			Ｆ：草津市立野村運動公園グラウンド
		少年女子	Ｇ：守山市民球場
			Ｈ：守山市民運動公園ソフトボール場
３　位　表　彰　式	９月30日（火） 準決勝終了後	成年男子	Ａ：東近江市総合運動公園布引多目的グラウンド
			Ｂ：東近江市総合運動公園布引多目的グラウンド
		成年女子	Ｃ：高島市今津総合運動公園第１グラウンド
			Ｄ：高島市今津総合運動公園第２グラウンド
		少年男子	Ｅ：草津市立野村運動公園グラウンド
			Ｆ：草津市立野村運動公園グラウンド
		少年女子	Ｇ：守山市民球場
			Ｈ：守山市民運動公園ソフトボール場
種　別　表　彰　式	10月１日（水） 決勝終了後	成年男子	Ａ：東近江市総合運動公園布引多目的グラウンド
		成年女子	Ｃ：高島市今津総合運動公園第１グラウンド
		少年男子	Ｅ：草津市立野村運動公園グラウンド
		少年女子	Ｇ：守山市民球場
総　合　表　彰　式	10月１日（水） 種別表彰式終了後		Ｃ：高島市今津総合運動公園第１グラウンド

ソフトボール競技　組合せ表

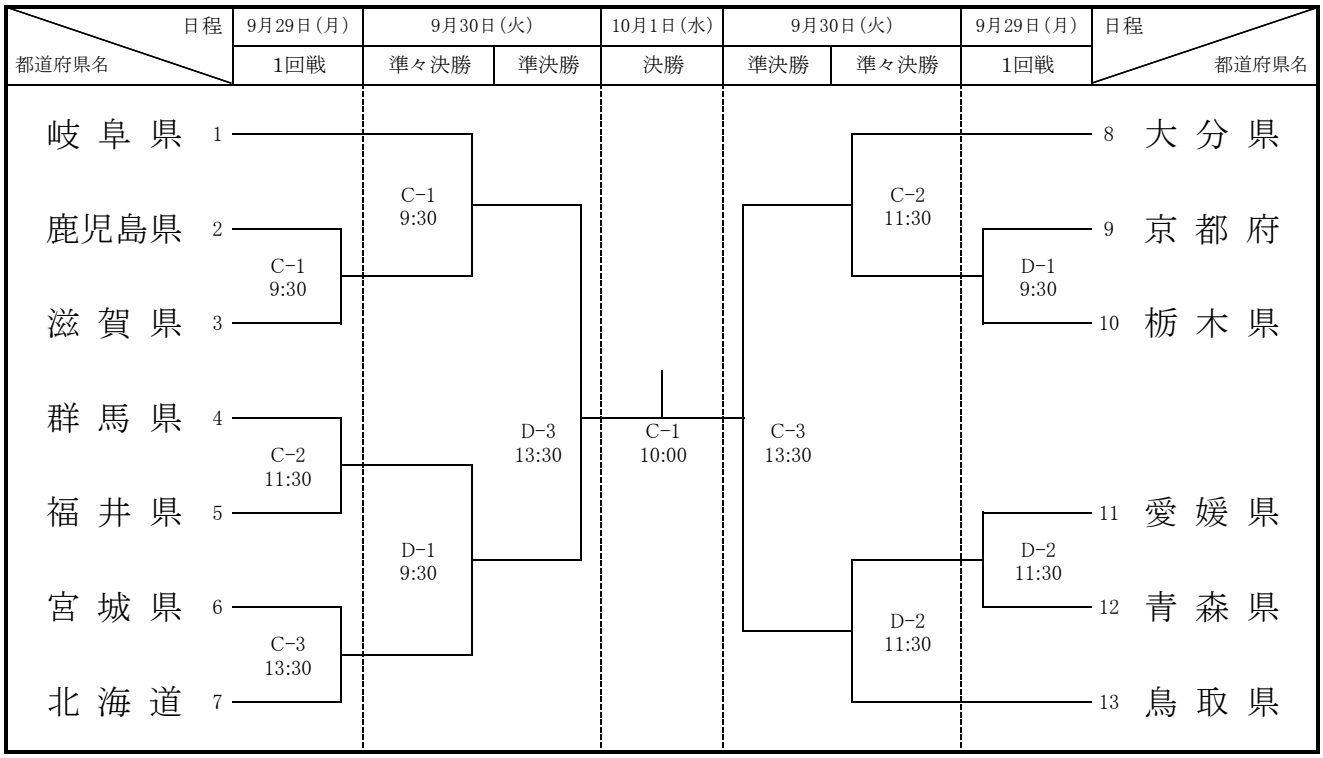
【成年男子】

A： 東近江市総合運動公園布引多目的グラウンド
B： 東近江市総合運動公園布引多目的グラウンド



【成年女子】

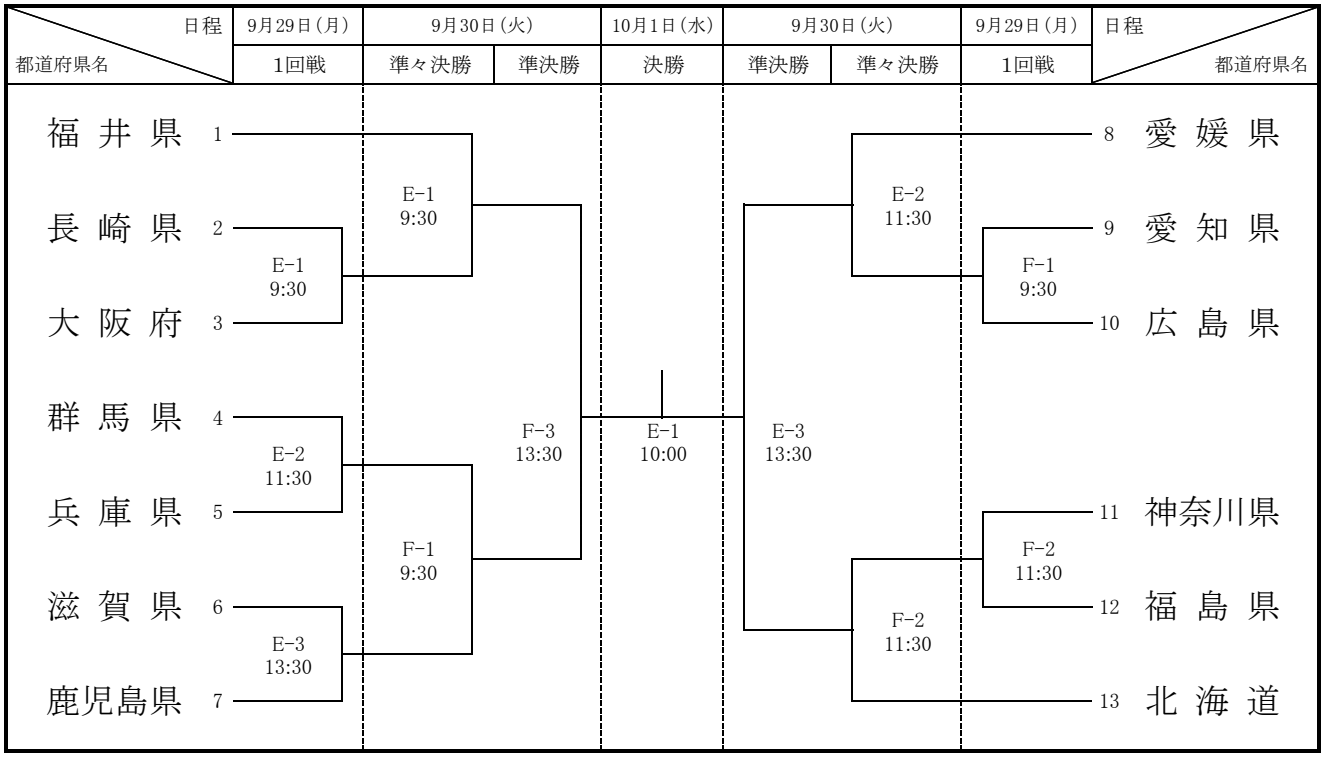
C： 高島市今津総合運動公園第1グラウンド
D： 高島市今津総合運動公園第2グラウンド



ソフトボール競技　組合せ表

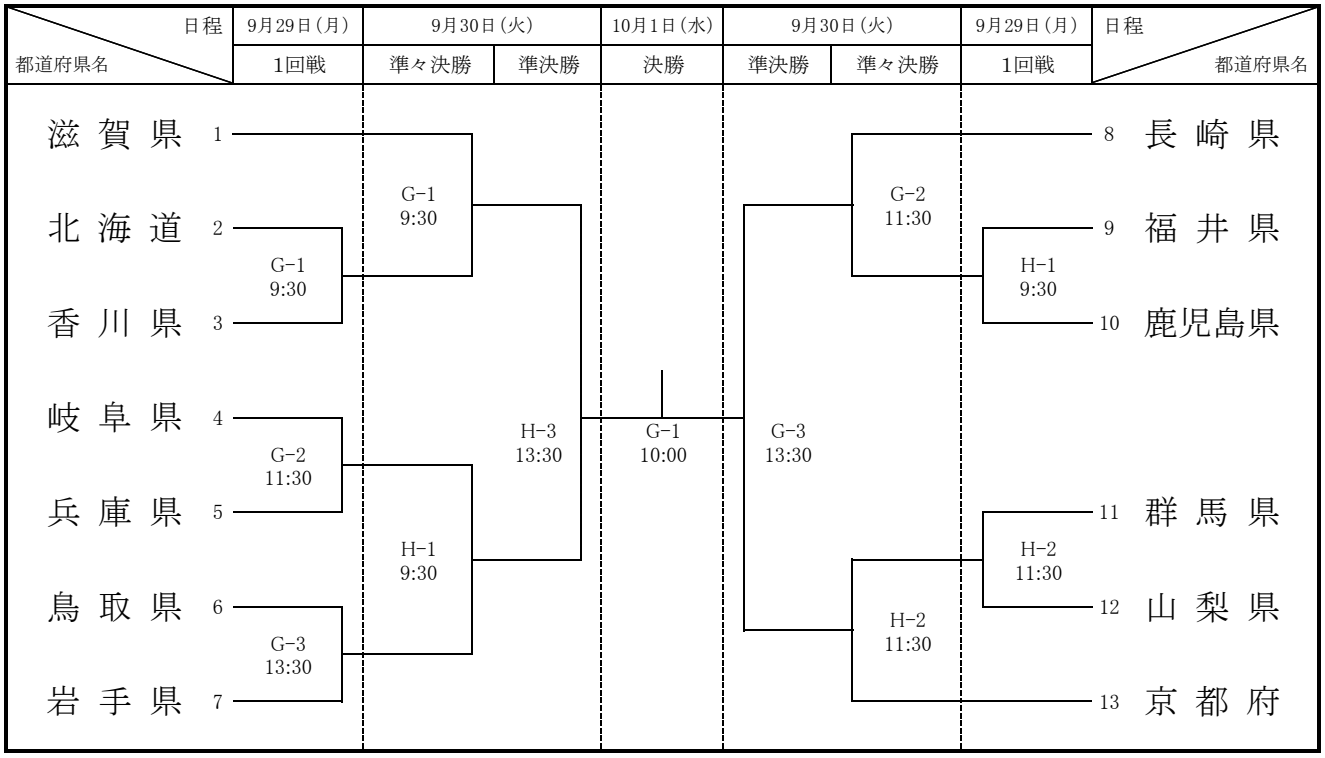
【少年男子】

E： 草津市立野村運動公園グラウンド
F： 草津市立野村運動公園グラウンド



【少年女子】

G： 守山市民球場
H： 守山市民運動公園ソフトボール場



ソフトボール競技の見方

１．ソフトボール競技の歴史

ソフトボールは、１９００年頃アメリカで「インドア・ベースボール」として始められたとされています。日本では１９２１年東京高等師範学校教授『大谷武一』氏によって紹介されたことに始まるとされており、当時は「インドア・ベースボール」「プレイグラウンドボール」と呼ばれていました。

その後、アメリカ駐留軍がソフトボールを全国各所で展開したことから、１９４５年に日本軟式野球連盟にソフトボール部が併置されました（普及は進みませんでした)。当時、武道を禁じられていた日本は、青少年の健康と明朗な精神を取り戻すため、文部省で協議した内容に、岩野次郎（当時文部省体育官。後の日本協会副会長)、栗本義彦（当時文部省体育官。後の日本協会副会長及び日本体育大学学長）の提案が加わり、ソフトボールの普及が強調されるようになりました。

１９４６年には日本で初めてのソフトボールの大会が開催され、その翌年の第２回石川国体では高校硬式野球の準決勝、決勝の間に女子ソフトボールの試合が非公式のオープンゲームとして行われました。

１９４９年には、日本軟式野球連盟から分離独立する形で日本ソフトボール協会が創立されました。また、同年に日本体育協会に加盟したことを契機に、第１回全日本高等学校女子選手権大会と第１回一般女子選手権大会が開催されました。この年に公式ソフトボール規則が発行されています。

１９５０年の第５回愛知国体から高校女子、一般女子が正式競技となり、翌年の１９５１年に国際ソフトボール連盟（ＩＳＦ）が設立し、日本も加盟しました。そして、１９５５年に第１回全日本一般男子選手権が開催され、１９５７年の第１２回静岡国体から一般男子も正式競技になりました。更に１９６６年には、第１回高等学校男子選手権、第１回大学男女選手権大会が開催され、１９７５年の第３０回三重国体から、少年男子も正式競技に追加されました。

国際大会としては、１９６５年に第１回世界女子選手権大会（オーストラリア）が開催され、日本は第３位に。１９６６年には、第１回世界男子選手権大会（メキシコ）が開催され、日本は６位になりました。１９７０年の第２回世界女子選手権大会は日本で開催され、日本チームは見事優勝、その後しばらくはアメリカの後塵を拝していたが、２０１２年の第１３回世界女子選手権大会（カナダ)、２０１４年の第１４回世界女子選手権大会（オランダ）で王座奪還、その後もアメリカとは紙一重の戦いを行い、昨年２０２４年の第１７回 WBSC 女子ワールドカップ（改称）で再び王座を奪還しました。男子も、２０００年に南アフリカで開催された第１０回世界男子選手権大会において、準優勝、また２０１９年の第１６回男子ワールドカップでも準優勝を果たしており、ジュニア世代でも数度世界一の座を獲得し、世界の強豪国として認識されています。

１９９６年アトランタオリンピックから女子ソフトボールが正式競技となり、２００８年北京オリンピックでは宿敵のアメリカを倒し悲願の金メダルに輝きました。２０１２年ロンドンオリンピック以降は正式競技から除外されましたが、オリンピック正式競技への復帰に向け、ＷＢＳＣ（世界野球ソフトボール連盟）を設立しました。その後、「野球・ソフトボール２０２０年復帰を！」をスローガンに取り組んだ結果、２０２０年東京オリンピックでは（開催都市が追加できる）正式競技として復活を果たしました。コロナ禍により２０２１年に延期し、無観客で開催された東京大会

での決勝では、再度アメリカと対戦し、手に汗握る激闘を制した日本が金メダルを獲得してオリンピック二連覇を達成しています。２０２４年パリオリンピックでは再び実施種目から外れましたが、２０２８年ロサンゼルスオリンピックでは再び実施競技に選ばれており、オリンピック三連覇を目指しています。

２．オフィシャルソフトボールルール

（１） 競技場

① 本塁から外野フェンスまでの距離

成年女子が６７．０６m以上、成年男子が７６．２０m以上。少年女子が６０．９６m以上、少年男子が６８．５８m以上で実施しています。

② 投・捕間の距離（投手板から本塁までの距離）

男子が１４．０２m、女子が１３．１１m。

投手板には半径２．４４mのピッチャーズサークルがあり、平坦でマウンドはありません。

③ 塁間の距離

１８．２９m。一塁には危険防止のためダブルベースが使用されています。

（２） 用具

① バット

長さは８６．３６cm以内で、重さは１０８０g以内、太い部分の直径は５．７２cm。グリップには安全のため、グリップエンドから２５．４cmから３８．１cmの範囲で滑り止めのテープを巻くことがルールで定められています。

材質は、木材・金属・プラスチック・グラファイト・カーボン・ガラス繊維・セラミック・チタン合金あるいは複合材料でつくられたもので、１号から３号のバットがありボールの規格と同じものを使用しなければなりません。

② ボール

ボールの大きさ（円周）は、３号球で３０．４８cm。誤差範囲は±０．３２cmとされています。

ボールの重さは、３号球の革ボールで１８７．８２g。誤差範囲は±１０．６３gとされています。日本では、高校生以下は白色のゴムボールを使用しており、３号球のゴムボールの重さは１９０g±５gです。ゴムボールには１号球から３号球までがあります。

③ グラブ・ミット

グラブは全ての選手が使用可能ですが、ミットは捕手と一塁手に限定されています。色は紐を含めて多色でもかまいませんが、投手のグラブのみボールとの同色は禁止されています。

④ 靴（シューズ）

靴はすべてのプレーヤーが使用しなければなりません。

⑤ マスク・プロテクター・レガース・ヘルメット

捕手は、安全のためスロートガード付きマスク及び捕手用ヘルメット、ボディプロテクター、レガースを着用しなければなりません。

打者、打者走者、走者、次打者は、安全のため両耳当てのあるヘルメットを着用しなけれ

ばなりません。また、プレー進行中意図的にヘルメットを脱ぐとアウトになります。

⑥ ダブルベース

ソフトボールは塁間が短いため（１８．２９m)、一塁でのクロスプレーが多く、守備者と打者走者の衝突により大ケガをすることなどもありました。そのため、１９８７年のＩＳＦ（国際ソフトボール連盟）ルール委員会において、接触プレーによる事故防止を目的として、一塁に「セーフティーベース」の名称で、ダブルベースを置くルールがカナダから提案され、可決されました。

１９９４年の第８回世界女子ソフトボール選手権大会から使用され、１９９７年からＪＳＡ（公益財団法人日本ソフトボール協会）ルールにも採用され、現在に至っています。

このダブルベースは、３８．１ｃｍ×７６．２ｃｍの大きさで、白色の部分（白色ベース）をフェア地域に、オレンジ色の部分（オレンジベース）をファウル地域に固定します。

打者が内野ゴロを打ったり、一塁でプレーが行われるときは、打者走者は原則としてオレンジベースを走り抜け、守備者は白色ベースを使用することによって、一塁での打者走者と守備者の接触する危険を回避することができます（ヒットを打って一塁をオーバーランしたり、長打を狙って一塁を回るときや一旦走者となって一塁ベースに帰塁するときは、白色ベースのみを使用します)。

（３） 投手の投球方法

打者に対して下手投げで、手と手首が体側線を通過しながら球を離さなければなりません。代表的な投球方法として次のようなものがあります。

● ウインドミルモーション

ウインドミルはもっともポピュラーな投げ方で、風車のように腕を大きく１回転させ、その遠心力を利用して投げるため、大きなスピードを得ることができます。腕の回転は１回に制限されています。

国際的なトップレベルの投手は、女子が１０５～１１０ｋm/h、男子が１１０～１３０ｋm/hを超えるスピードボールを投げ、野球に置き換えると１５０ｋm/hを超えるスピードを体感するといわれています。

● スリングショットモーション

スリングショットはソフトボールの原点とも言える投げ方であり、時計の振り子のように腕を後方に振り上げた後、前方に振り戻して投げる投法です。現在ではほとんど見られなくなりました。

（４） 走者の離塁制限

各走者は、ボールが投手の手を離れるまで塁を離れることはできません。もし塁を離れるとその走者にはアウトが宣告されます。

このため、投手の投球モーションを盗んで盗塁をすることはできず、投手が投げた後に盗塁することは、バッテリーにミスがない限りなかなか成功しません。ただし、野球と比べ、バントが多用されるため、一塁手と三塁手がベースより前に位置するような前進守備をすることが多く、三塁への盗塁を狙うケースが多く見受けられます。

（５） プレーヤーの交代等

① 選手交代

プレーヤーは１チーム９名か、指名選手（ＤＰ）制を採用した場合は１０名の編成となります。プレーヤーの人数がそのチームの編成人員を欠いた場合は没収試合となります。

② 打ち合わせ

監督またはコーチが、投手や打者、走者と打ち合わせを行うときは、「タイム」を要求してから行わなければなりません。この打ち合わせは、攻撃のときは１イニングに１回しか行うことができません。再度行うと監督は退場となります（ただし高校生以下の試合には適用されません)。守備のときには、１回から７回までの間に３回行うことができます。８回以降は１イニングに１回行うことができます。これに違反した場合は、投手が交代しなければなりません。また、交代した投手はこの試合で投げることはできません。

③ 再出場（リエントリー）

ソフトボールでは、１９７９年のＩＳＦ（国際ソフトボール連盟）ルール改正で、「リエントリー(再出場)」が採用され、スターティングプレーヤーはいったん試合から退いても、一度に限り再出場することが認められました。

再出場する場合には、自己の元の打順を引き継いだプレーヤーと交代しなければならず、それに違反し、相手チームからアピールがあると、「再出場違反」となり、違反した選手と監督が退場となります。

ＪＳＡ（公益財団法人日本ソフトボール協会）ルールには、１９８０年に採用され、現在に至っています。

④ ＤＰ（指名選手・ＤＥＳＩＧＮＡＴＥＤ　ＰＬＡＹＥＲ）

１９７９年ＩＳＦ（国際ソフトボール連盟）ルールに、DH（ＤＥＳＩＧＮＡＴＥＤ　ＨＩＴＴＥＲ／指名打者。打撃専門で守備につかないプレーヤーのこと。DHにより、守備専門のプレーヤーとなったものは打撃を行うことはできず、また、DHはスターティングプレーヤーであってもリエントリー(再出場)は認められていませんでした)が採用され、ＪＳＡ(公益財団法人日本ソフトボール協会)ルールにも１９８０年から採用されました。

その後、２００２年のＩＳＦルール改正で、DHは、ＤＰ（ＤＥＳＩＧＮＡＴＥＤ　ＰＬＡＹＥＲ／指名選手）に改められ、打撃専門だけではなく、守備につくこともできるようになりました。

ＤＰを採用する場合には、その人数は常時１名に限られ、試合開始から終了まで継続しなければなりません。また、ＤＰはどの守備者（ＤＰによる守備専門のプレーヤーは、ＦＰ（ＦＬＥＸ　ＰＬＡＹＥＲ）という）につけてもかまいませんが、その試合中は同じ打順を継続し、ＤＰを採用した場合には１０人で試合を行うことになります。

ＤＰもＦＰも、いつでも他の控え選手と交代できる点では他のプレーヤーと何ら変わるところはなく、出血を伴う負傷の場合に代替プレーヤーを使うことができる点も何ら変わりはありません。また、ＤＰもＦＰもスターティングプレーヤーであれば、一度に限りリエントリーすることができ、「攻撃だけ」「守備だけ」に限定されることもありません。

ＤＰは、基本的には攻撃を重視して起用されるプレーヤーですが、ＦＰの守備を兼ねることも可能です。この場合には、ＤＰが打撃・守備ともに行うことになり、試合に出場しているプレーヤーは１０人から９人になります（ＤＰがＦＰの守備を兼ね、攻撃・守備共に行う場合には、ＦＰは一旦試合から退いたことになります)。

逆に、ＦＰがＤＰの打順に入って打撃を行うことも可能で（ＤＰが塁上にいる場合にＦＰがＤＰに代わって走者となることも可能)、この場合にはＦＰが打撃・守備ともに行うことになり、ＤＰがリエントリーしない限り、試合に出場しているプレーヤーは１０人から９人になります（ＦＰがＤＰの打撃を兼ね、攻撃・守備ともに行う場合には、ＤＰは一旦試合から退いたことになります)。

ただし、ＤＰとＦＰが完全に入れ替わり、ＤＰが守備のみ、ＦＰが攻撃のみを行うことは認められないため、これに違反するとＤＰ違反（不正交代）となります。

さらにＤＰがＦＰ以外のプレーヤーの守備を兼ねた場合には、その守備者はＯＰＯ（ＯＦＦＥＮＳＩＶＥ　ＰＬＡＹＥＲ　ＯＮＬＹ／打撃専門選手）となり、打撃のみを行うことになります。

ＤＰルールを正しく理解し、活用することができれば、戦術的な選択肢が増えるだけでなく、少人数編成のチームでもその限られた人員をフルに活用することができるというメリットがあります。

（６） ゲーム全般

攻守の決定は、コイントスにより行われます。ソフトボールの正式な試合は７イニングで行われ、日没、降雨その他で中止となった場合は、５イニング以上の均等回が完了していれば試合が成立となります。また、７回終了時同点の場合は、８回からタイブレークにより試合を継続します。

「タイブレーク」は、ノーアウト走者２塁を設定して、攻撃を継続します。打者は前の回から引き継ぐものとし、二塁走者は前の回の最後に打撃を完了した者となります。裏の回も同様に行われ勝敗がつくまで行われます。

３．ゲームの見所

- スピードボールと多彩な変化球を織り交ぜたピッチング

変化球は、カーブやシュート、ドロップ、打者付近で浮き上がるライズボール、そして緩急を活かしたチェンジアップなどがあります。男子はダイナミックなフォームから繰り出されるスピードボール、女子は磨き抜かれたコントロールと緩急自在のピッチングが見ものです。

- 観察力と判断力がカギとなる“駆け引き”

短い投球距離でのスピードボールと鋭い変化球を打ち返すのには高度な技術を要します。打つ以外にもグラウンドの狭さを活かした「セーフティバント」や、走りながら打って内野安打を狙う「スラップ」などを駆使して、守備者との駆け引きをしていきます。守備者もバッターの動きを常に観察し、守備位置を調整することが必要です。バッターとバッテリーの駆け引きだけではなく、バッターと守備者との駆け引きにも注目すると違った面白みが出てくると思います。

- 勝敗を左右する采配

ＤＰやＦＰ、リエントリーといったソフトボール独自のルールにより、戦術の幅はかなり広がります。どのタイミングで交代カードをきるのか、監督の采配にも注目です。

このように、使う用具や大まかなルールは野球に似ていますが、似て非なるソフトボールのスピード感と緻密さが面白さとなっています。

国民スポーツ大会ソフトボール競技会には、全国各ブロックを勝ち抜いた１３チームが出場します。日本のトップレベルの選手達が繰り広げる、スピード感と迫力のあるゲームをお楽しみください。

都道府県別参加数一覧表

		成年男子	成年女子	少年男子	少年女子	総計			成年男子	成年女子	少年男子	少年女子	総計
1	北海道	13	14	10	14	51	25	滋賀県	13	14	14	14	55
2	青森県		13			13	26	京都府		14		14	28
3	岩手県	13			14	27	27	大阪府	13		14		27
4	宮城県		14			14	28	兵庫県			14	14	28
5	秋田県					0	29	奈良県					0
6	山形県					0	30	和歌山県					0
7	福島県	13		14		27	31	鳥取県		14		14	28
8	茨城県					0	32	島根県					0
9	栃木県	13	14			27	33	岡山県	13				13
10	群馬県		14	14	14	42	34	広島県			14		14
11	埼玉県	13				13	35	山口県					0
12	千葉県					0	36	香川県				14	14
13	東京都					0	37	徳島県					0
14	神奈川県			14		14	38	愛媛県	13	14	14		41
15	山梨県				14	14	39	高知県					0
16	新潟県					0	40	福岡県					0
17	長野県					0	41	佐賀県					0
18	富山県					0	42	長崎県			14	14	28
19	石川県	13				13	43	熊本県					0
20	福井県	13	14	14	14	55	44	大分県		14			14
21	静岡県					0	45	宮崎県	13				13
22	愛知県			14		14	46	鹿児島県		14	14	14	42
23	三重県	12				12	47	沖縄県					0
24	岐阜県		14		14	28	合計		168	181	178	182	709

選 手 名 簿

成 年 男 子

東近江市

【成年男子】 チーム名 北海道

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏名	フリガナ	所属
	監督	30	高橋 篤	タカハシ アツシ	（株）酒井組
1	投手	22	高山 徹	タカヤマ トオル	（株）れんせん
2	捕手	12	中尾 善尚	ナカオ ヨシナオ	（株）奥村組
3	一塁手	24	岡田 将弥	オカダ マサヤ	ようてい農業協同組合
4	二塁手	2	山本 博丈	ヤマモト ヒロタケ	北海道大学
5	三塁手	21	青柳 美勝	アオヤギ ヨシカツ	北海道大学大学院
6	遊撃手	7	舟山 主浩	フナヤマ カズヒロ	八雲町消防本部
7	左翼手	18	吉川 大智	ヨシカワ タイチ	北海道大学大学院
8	中堅手	6	高橋 海渡	タカハシ カイト	三井住友海上エイジェンシー・サービス（株）
9	右翼手	10	大保 拓真	ダイボ タクマ	北海道旅客鉄道（株）苗穂工場
10	投手	1	髙橋 仁志	タカハシ ヒトシ	北海道大学
11	右翼手	3	藤島 優祐	フジシマ ユウスケ	（有）チハラ住建
12	三塁手	13	井原 晃	イハラ コウ	北海道大学

【成年男子】 チーム名 岩手県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏名	フリガナ	所属
	監督	30	西尾 光明	ニシオ ミツアキ	学校法人大釜学園大釜幼稚園保育園（職）
1	投手	17	大日向 巧	オオヒナタ タクミ	花巻市立東和中学校（教）
2	捕手	5	大坂 優介	オオサカ ユウスケ	日本郵便株式会社水沢郵便局
3	一塁手	6	泉澤 直樹	イズミサワ ナオキ	東日本旅客鉄道株式会社
4	二塁手	1	道源 康太	ドウゲン コウタ	北上市役所
5	三塁手	9	櫻田 亮介	サクラダ リョウスケ	一関市役所
6	遊撃手	14	岩木 宏弥	イワキ ヒロヤ	奥州市立姉体小学校（教）
7	左翼手	10	吉田 匠	ヨシダ タクミ	公益財団法人岩手県予防医学協会
8	中堅手	4	服部 唯人	ハットリ ユイト	北上市立南小学校（教）
9	右翼手	7	鈴木 比呂	スズキ ヒロ	全農東北エネルギー株式会社岩手支店
10	投手	20	木村 優希	キムラ ユウキ	ＮＯＫ株式会社
11	捕手	11	向井 健太朗	ムカイ ケンタロウ	一関市役所
12	三塁手	16	田上 渉塁	タガミ ワタル	中京学院大学

【成年男子】 チーム名 福島県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏名	フリガナ	所属
	監督	30	二瓶 美恵子	ニヘイ ミエコ	須賀川信用金庫本部
1	一塁手	10	塩沼 泰成	シオヌマ タイセイ	いわき市立三和小学校（教）
2	中堅手	15	本田 拡史	ホンダ ヒロシ	株式会社 協和地質
3	二塁手	8	大野 光貴	オオノ コウキ	大野工業
4	捕手	2	佐藤 輝	サトウ ヒカル	本田技研工業株式会社
5	左翼手	25	松本 智貴	マツモト トモキ	福島県立会津支援学校（教）
6	左翼手	23	後藤 真誓	ゴトウ シンセイ	株式会社 不動テトラ
7	投手	29	安部 竜空	アベ リュウク	中京学院大学
8	右翼手	7	松本 舜輔	マツモト シュンスケ	七福整骨医院
9	三塁手	36	渡邉 智範	ワタナベ トモノリ	株式会社 平成
10	三塁手	9	川崎 裕斗	カワサキ ユウト	株式会社 ニノテック
11	遊撃手	1	佐久間 亮太	サクマ リョウタ	株式会社 レウナ興業
12	一塁手	6	齋藤 裕人	サイトウ ヒロト	丸磯建設株式会社

【成年男子】 チーム名 栃木県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏名	フリガナ	所属
	監督	30	浦本 大嗣	ウラモト ダイシ	Honda
1	二塁手	2	葛野 奏	クズノ カナタ	Honda
2	遊撃手	7	桑村 純平	クワムラ ジュンペイ	Honda
3	右翼手	8	福田 空脩	フクダ アシュウ	Honda
4	中堅手	9	川島 大空	カワシマ ソラ	Honda
5	左翼手	10	坂田 大士	サカタ ヒロシ	Honda
6	投手	11	池田 空生	イケダ ヒロキ	Honda
7	捕手	12	野澤 空汰	ノザワ ソラタ	Honda
8	一塁手	15	遠畑 光希	トウハタ コウキ	Honda
9	投手	16	大坪 優也	オオツボ ユウヤ	Honda
10	投手	24	長井 風雅	ナガイ フウガ	Honda
11	右翼手	27	藤原 綜俊	フジワラ ソウシュン	Honda
12	三塁手	3	高浪 雄大	タカナミ ユウダイ	Honda

【成年男子】 チーム名 埼玉県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏名	フリガナ	所属
	監督	30	吉形 太佑	ヨシカタ ダイスケ	埼玉県庁クラブ
1	投手	18	中島 悠貴	ナカジマ ユウキ	埼玉県庁クラブ
2	捕手	1	岡野 孝祐	オカノ コウスケ	埼玉県庁クラブ
3	一塁手	15	大島 烈士	オオシマ レオ	日本体育大学
4	二塁手	13	西田 勘汰	ニシダ カンタ	埼玉県庁クラブ
5	三塁手	22	工藤 慎平	クドウ シンペイ	埼玉県庁クラブ
6	遊撃手	10	祝 弘樹	イワイ ヒロキ	埼玉県庁クラブ
7	左翼手	11	矢野 崇史	ヤノ タカシ	埼玉県庁クラブ
8	中堅手	7	小林 泰士	コバヤシ タイシ	原巽ジャガーズ
9	右翼手	20	松本 勇亮	マツモト ユウスケ	埼玉県庁クラブ
10	投手	17	島田 将季	シマダ マサキ	原巽ジャガーズ
11	捕手	14	森 颯真	モリ ソウマ	埼玉県庁クラブ
12	投手	24	和田 朋也	ワダ トモヤ	埼玉県庁クラブ

【成年男子】 チーム名 石川県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏名	フリガナ	所属
	監督	30	海道 正人	カイドウ マサト	コマニー株式会社
1	捕手	10	裏 拓光	ウラ タクミ	コマニー株式会社
2	左翼手	15	山下 緋琉	ヤマシタ ヒリュウ	コマニー株式会社
3	二塁手	19	押兼 悠馬	オシカネ ユウマ	コマニー株式会社
4	二塁手	22	松山 和貴	マツヤマ カズキ	佐賀市立春日北小学校（教）
5	投手	23	堀 将治	ホリ マサハル	能美市立辰口中央小学校（教）
6	投手	24	藤原 智徳	フジワラ トモノリ	コマニー株式会社
7	右翼手	34	出嶋 聖治	デジマ セイチ	コマニー株式会社
8	三塁手	43	清水 公貴	シミズ コウキ	コマニー株式会社
9	遊撃手	50	小山 竜加	オヤマ リュウガ	コマニー株式会社
10	一塁手	88	高鍬 建史	タカクワ ケンシ	加賀市立片山津小学校（教）
11	一塁手	56	山田 裕紀	ヤマダ ヒロキ	コマニー株式会社
12	中堅手	71	小滝 海斗	オダキ カイト	コマニー株式会社

【成年男子】

チーム名	福　井　県

※UN＝ユニフォームナンバー

Ｎｏ	位置	ＵＮ	氏　名	フリガナ	所　属
	監　督	30	牛若　祐喜	ウシワカ　ユウキ	㈱アイビス髙島
1	投　手	46	大西　泰河	オオニシ　タイガ	株式会社　ジェイテクト
2	捕　手	1	本塚　勇太	モトヅカ　ユウタ	日本エコシステム株式会社
3	一塁手	2	福田　楓士	フクダ　フウト	福井県済生会病院
4	二塁手	24	大西　楓耶	オオニシ　フウヤ	株式会社　福井銀行
5	三塁手	5	山本　亮馬	ヤマモト　リョウマ	株式会社　ジェイテクト
6	遊撃手	10	本塚　宏太	モトヅカ　コウタ	株式会社　ユティック
7	左翼手	8	津田　龍輝	ツ　ダ　リュウキ	日本体育大学
8	中堅手	11	嶋田　将也	シマダ　マサヤ	ナカヤ化学産業株式会社
9	右翼手	7	轉法輪　侑孝	テンポウリン　ユウタ	日本エコシステム株式会社
10	投　手	20	嶋田　智希	シマダ　トモキ	福井県立武生高等学校（職）
11	投　手	13	梅田　瑠河	ウメダ　リュウガ	岐阜聖徳学園大学
12	左翼手	6	影山　心	カゲヤマ　シ　ン	日本エコシステム株式会社

【成年男子】

チーム名	三　重　県

※UN＝ユニフォームナンバー

Ｎｏ	位置	ＵＮ	氏　名	フリガナ	所　属
	監　督	30	櫻庭　佑輔	サクラバ　ユウスケ	(公財)四日市市スポーツ協会
1	投　手	5	河野　拓郎	カワノ　タクロウ	三重県庁
2	捕　手	11	上田　郁也	ウエダ　フミヤ	津市立朝陽中学校(教)
3	遊撃手	52	芦田　翔	アシダ　ショウ	三重県庁
4	二塁手	6	京谷　優吾	キョウタニ　ユウゴ	三重県庁
5	投　手	15	酒井　匠	サカイ　タクミ	水ingAM株式会社
6	一塁手	3	久田　莉也	ヒサタ　レイヤ	三重県庁
7	左翼手	10	井上　匠	イノウエ　タクミ	松阪興産株式会社
8	右翼手	7	新井　優太	アライ　ユウタ	パナソニックEW電材三重株式会社
9	三塁手	30	櫻庭　佑輔	サクラバ　ユウスケ	(公財)四日市市スポーツ協会
10	左翼手	2	岡　陽基	オ　カ　ハルキ	株式会社トーエネック
11	中堅手	37	松浦　稜太	マツウラ　リョウタ	中京大学
12	右翼手	25	宮本　祐道	ミヤモト　ユウドウ	日本体育大学

【成年男子】 チーム名 大阪府

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏名	フリガナ	所属
	監督	30	長 秀一	オサ シュウイチ	大阪・堺グローバル
1	投手	18	谷本 聖也	タニモト セイヤ	大阪・堺グローバル
2	捕手	22	長谷川 敬広	ハセガワ タカヒロ	大阪・堺グローバル
3	一塁手	32	小川 慧	オガワ アキラ	大阪・堺グローバル
4	二塁手	61	古賀 亮祐	コガ リョウスケ	日本体育大学
5	三塁手	6	筒井 拓友	ツツイ タクト	大阪桃次郎
6	遊撃手	46	大川 竜志	オオカワ リュウジ	ジェイテクト
7	左翼手	10	橋本 慎	ハシモト シン	大阪・堺グローバル
8	中堅手	9	中谷 玖都	ナカヤ キュウト	大阪・堺グローバル
9	右翼手	25	西角 和馬	サイカド カズマ	大阪・堺グローバル
10	投手	31	北添 政樹	キタゾエ マサキ	大阪・堺グローバル
11	三塁手	17	高草 昂大	タカクサ コウダイ	大阪桃次郎
12	右翼手	51	中瀬 将輝	ナカセ マサキ	大阪・堺グローバル

【成年男子】 チーム名 岡山県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏名	フリガナ	所属
	監督	30	平本 拓朗	ヒラモト タクロウ	平林金属株式会社
1	二塁手	10	八角 光太郎	ヤスミ コウタロウ	平林金属株式会社
2	遊撃手	4	井上 裕太郎	イノウエ ユウタロウ	平林金属株式会社
3	三塁手	7	黒岩 陽斗	クロイワ ハルト	平林金属株式会社
4	右翼手	8	小島 聖矢	コジマ セイヤ	平林金属株式会社
5	捕手	12	藤井 雅広	フジイ マサヒロ	平林金属株式会社
6	投手	14	景山 蓮	カゲヤマ レン	平林金属株式会社
7	投手	15	阿曽 慣太	アソ カンタ	平林金属株式会社
8	投手	17	小山 玲央	コヤマ レオ	平林金属株式会社
9	右翼手	18	大久保 潤人	オオクボ ヒロト	平林金属株式会社
10	左翼手	34	和田 彩斗	ワダ アヤト	平林金属株式会社
11	一塁手	35	鳥山 和也	トリヤマ カズヤ	平林金属株式会社
12	中堅手	42	浜本 悌	ハマモト テイ	平林金属株式会社

【成年男子】 チーム名 愛　媛　県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監　督	30	客　野　卓　也	キャクノ　タクヤ	(株)南洋建設
1	右翼手	20	小　島　銀　河	コジマ　ギンガ	（株）ウエストコンサルタント
2	中堅手	15	佐々本　集　斗	ササモト　シュウト	（株）南洋建設
3	三塁手	23	池　本　卓　郎	イケモト　タクロウ	（株）ウエストコンサルタント
4	遊撃手	10	濱　田　　慎	ハマダ　シ　ン	愛媛県競技力向上対策本部
5	左翼手	19	眞　鍋　治　人	マナベ　ハルト	（株）ウエストコンサルタント
6	一塁手	1	藤　田　魁　皇	フジタ　カイオウ	（株）ウエストコンサルタント
7	二塁手	7	磯　金　ヒロト	イソカネ　ヒロト	（株）ウエストコンサルタント
8	捕　手	14	藤　原　琢　磨	フジワラ　タクマ	愛媛県競技力向上対策本部
9	投　手	25	西　村　太　洋	ニシムラ　タイヨウ	㈱ウエストコンサルタント
10	三塁手	24	渡　部　晶　斗	ワタナベ　アキト	愛媛大学大学院
11	中堅手	12	菊　川　智　己	キクカワ　トモキ	豊田自動織機
12	投　手	22	渡　部　颯　真	ワタナベ　ソウマ	中京大学

【成年男子】 チーム名 宮　崎　県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監　督	30	松　岡　真　央	マツオカ　マサテル	旭化成株式会社
1	三塁手	8	上　杉　大　輝	ウエスギ　タイキ	旭化成株式会社
2	左翼手	3	椎　葉　巨　将	シイバ　ナオマサ	旭化成株式会社
3	一塁手	24	川　田　直　諒	カワダ　ナオアキ	旭化成株式会社
4	投　手	11	寺　原　瑞　希	テラバル　ミズキ	旭化成株式会社
5	捕　手	2	赤　木　優　太	アカギ　ユウタ	旭化成株式会社
6	右翼手	1	黒　木　功　弥	クロギ　コウヤ	旭化成株式会社
7	二塁手	10	永　吉　飛　斗	ナガヨシ　ヒット	旭化成株式会社
8	遊撃手	6	黒　木　勝　明	クロギ　カツアキ	旭化成株式会社
9	投　手	17	池　田　　響	イケダ　ヒビキ	旭化成株式会社
10	中堅手	25	坂　本　滉　生	サカモト　コウタ	旭化成株式会社
11	捕　手	5	米　野　智　陽	コメノ　トモアキ	旭化成株式会社
12	右翼手	7	島　田　尚　翔	シマダ　ナオト	旭化成株式会社

【成年男子】

チーム名	滋賀県

※UN＝ユニフォームナンバー

Ｎｏ	位置	ＵＮ	氏　名	フリガナ	所　属
	監　督	30	石　井　賀一郎	イシイ　カイチロウ	近江八幡市運動公園
1	投　手	24	相　島　宏　郁	アイシマ　ヒロフミ	株式会社　山久
2	捕　手	7	宮　城　太　亮	ミヤギ　タイスケ	株式会社　山久
3	二塁手	8	宮　平　大　空	ミヤヒラ　ヒロタカ	栗東市立金勝小学校（教）
4	三塁手	10	中　村　祥　悟	ナカムラ　ショウゴ	日本精工株式会社石部工場
5	一塁手	31	柴　原　惇　志	シバハラ　アツシ	株式会社　新洲
6	一塁手	25	佐々木　数　馬	ササキ　カズマ	米原市立米原小学校（教）
7	二塁手	4	辻　天　薫	ツ　ジ　タカマサ	滋賀県立彦根東高等学校（教）
8	遊撃手	16	杉　田　拓	スギタ　タ　ク	東近江市立能登川南小学校（教）
9	一塁手	22	中　島　悠　愛	ナカジマ　ユウマ	滋賀県立草津養護学校（教）
10	左翼手	13	平　井　至	ヒライ　イタル	近江八幡市立安土小学校（教）
11	中堅手	6	大　城　周　人	オオシロ　シュウト	大津市立田上小学校（教）
12	右翼手	28	中　島　凌　愛	ナカジマ　リョウマ	株式会社流通サービス　南草津センター

選 手 名 簿

成 年 女 子

高島市

【成年女子】 チーム名 北海道

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏名	フリガナ	所属
	監督	30	迎 あすか	ムカエ アスカ	佐川急便（株）
1	投手	1	竹ヶ原 凛	タケガハラ リン	佐川急便（株）
2	投手	3	佐竹 彩樺	サタケ アヤカ	佐川急便（株）
3	投手	19	小泉 幸代	コイズミ サチヨ	（福）恩賜財団済生会支部北海道済生会小樽病院
4	捕手	87	佐藤 誉	サトウ ホマレ	（株）リューツー
5	捕手	11	渋谷 奈津美	シブヤ ナツミ	石狩市立紅南小学校（教）
6	一塁手	6	五十嵐 遥永	イガラシ ハルカ	佐川急便（株）
7	二塁手	10	南 香子	ミナミ カオルコ	佐川急便（株）
8	三塁手	12	中村 小雪	ナカムラ コユキ	石狩市立石狩中学校（教）
9	遊撃手	2	千田 杏実	チダ アミ	札幌市立北小学校（教）
10	左翼手	5	平川 美里	ヒラカワ ミサト	千歳市立祝梅小学校（教）
11	中堅手	8	畠山 真緒	ハタケヤマ マオ	佐川急便（株）
12	右翼手	18	中村 七海	ナカムラ ナナミ	石狩市役所
13	中堅手	4	佐々木 輝	ササキ ヒカリ	佐川急便（株）

【成年女子】 チーム名 青森県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏名	フリガナ	所属
	監督	30	溝江 香澄	ミゾエ カスミ	NECプラットフォームズ
1	二塁手	10	須藤 志歩	ストウ シホ	豊田自動織機
2	投手	1	金子 歩	カネコ アユム	なし
3	捕手	2	村岡 蘭	ムラオカ ラン	富士大学
4	投手	3	佐々木 梨奈	ササキ リナ	富士大学
5	遊撃手	4	後藤 実来	ゴトウ ミク	トヨタレッドテリアーズ
6	一塁手	5	奈良岡 里穂	ナラオカ リホ	豊田自動織機
7	中堅手	6	渡辺 翠	ワタナベ スイ	年中夢球
8	左翼手	7	今井 愛	イマイ マナミ	環太平洋大学
9	三塁手	8	佐々木 来流	ササキ ライル	サンフラワーズ
10	捕手	9	須藤 愛心	ストウ エミ	東北福祉大学
11	左翼手	11	福士 陽菜	フクシ ヒナ	富士大学
12	右翼手	12	白取 しゅう	シラトリ シュウ	富士大学
13	二塁手	30	溝江 香澄	ミゾエ カスミ	NECプラットフォームズ

【成年女子】

チーム名	宮　　城　　県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監　督	30	舟　山　健　一	フナヤマ　ケンイチ	東北福祉大学（教）
1	投　手	10	早　坂　青　空	ハヤサカ　ソ　ラ	東北福祉大学
2	投　手	1	金　野　夏　凛	コンノ　カリン	東北福祉大学
3	捕　手	2	小　林　明　音	コバヤシ　アカネ	東北福祉大学
4	一塁手	3	上遠野　真　緒	カトオノ　マ　オ	東北福祉大学
5	二塁手	4	小坂井　心　海	コザカイ　ココミ	東北福祉大学
6	三塁手	5	松　澤　和　香	マツザワ　ワ　カ	東北福祉大学
7	遊撃手	6	加　茂　衣帆莉	カ　モ　イオリ	東北福祉大学
8	左翼手	7	雪　野　望　乃	ユキノ　ノ　ノ	東北福祉大学
9	中堅手	8	北　村　萌　恵	キタムラ　モ　エ	東北福祉大学
10	右翼手	9	立　木　穂乃果	ツイキ　ホノカ	東北福祉大学
11	一塁手	11	佐　藤　柚　依	サトウ　ユ　イ	東北福祉大学
12	投　手	12	北　村　優　有	キタムラ　ユ　ウ	東北福祉大学
13	中堅手	13	石　川　亜　恋	イシカワ　ア　コ	東北福祉大学

【成年女子】

チーム名	栃　　木　　県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監　督	30	濱　中　武　直	ハマナカ　タケナオ	本田技研工業㈱
1	投　手	3	松　下　華　菜	マツシタ　カ　ナ	本田技研工業㈱
2	捕　手	11	棚　町　佳　奈	タナマチ　カ　ナ	本田技研工業㈱
3	捕　手	12	安　山　涼　香	ヤスヤマ　スズカ	本田技研工業㈱
4	捕　手	6	山　口　未　葵	ヤマグチ　イマキ	本田技研工業㈱
5	一塁手	9	大　川　茉　由	オオカワ　マ　ユ	本田技研工業㈱
6	一塁手	2	山　根　葉　月	ヤマネ　ハヅキ	本田技研工業㈱
7	二塁手	13	川　畑　　瞳	カワバタ　ヒトミ	本田技研工業㈱
8	三塁手	10	菱　谷　香　実	ヒシタニ　コウミ	本田技研工業㈱
9	遊撃手	5	渡　邉　瑞　貴	ワタナベ　ミズキ	本田技研工業㈱
10	左翼手	7	林　　茉　央	ハヤシ　マ　オ	本田技研工業㈱
11	中堅手	16	堀　内　香　瑚	ホリウチ　カ　コ	本田技研工業㈱
12	右翼手	14	秋　豆　朱　音	アキズ　アカネ	本田技研工業㈱
13	投　手	4	新　宮　怜　美	シングウ　レ　ミ	本田技研工業㈱

【成年女子】 チーム名 群馬県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏名	フリガナ	所属
	監督	30	岩渕 有美	イワブチ ユミ	(株)ビックカメラ
1	投手	10	勝股 美咲	カツマタ ミサキ	(株)ビックカメラ
2	投手	28	伊東 杏珠	イトウ アンジュ	(株)ビックカメラ
3	投手	13	曽根 はん奈	ソネ ハンナ	太陽誘電（株）
4	捕手	2	井出 久美	イデ クミ	(株)ビックカメラ
5	一塁手	3	須田 真琴	スダ マコト	太陽誘電(株)
6	二塁手	6	小松 優月	コマツ ユヅキ	太陽誘電(株)
7	遊撃手	11	伊波 蘭	イハ ラン	(株)ビックカメラ
8	三塁手	18	炭谷 遥香	スミタニ ハルカ	(株)ビックカメラ
9	左翼手	9	花浦 ひかり	ハナウラ ヒカリ	(株)ビックカメラ
10	中堅手	26	橋本 芽衣	ハシモト メイ	太陽誘電（株）
11	右翼手	7	渡辺 華奈	ワタナベ カナ	（株）ビックカメラ
12	一塁手	15	上林 藍子	カミバヤシ アイコ	太陽誘電(株)
13	左翼手	1	原田 実優	ハラダ ミヒロ	(株)ビックカメラ

【成年女子】 チーム名 福井県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏名	フリガナ	所属
	監督	30	林 聖恵	ハヤシ キヨエ	個人事業主
1	投手	13	寺川 亜美	テラカワ アミ	福井南高等学校（教）
2	一塁手	10	黒田 菜那	クロダ ナナ	株式会社　デンソー
3	投手	15	鈴木 春菜	スズキ ハルナ	医療法人　健康会
4	一塁手	25	佐藤 杏美	サトウ アミ	戸田中央総合病院
5	三塁手	16	山本 佳世	ヤマモト カヨ	静甲株式会社
6	捕手	17	角平 優	カクヒラ ユウ	株式会社　東海理化
7	投手	22	髙橋 音森	タカハシ ネモ	信武磁工株式会社
8	遊撃手	24	小林 楓	コバヤシ カエデ	トヨタ自動車株式会社
9	二塁手	23	佐藤 くるみ	サトウ クルミ	啓新高等学校（教）
10	中堅手	14	宇野 このみ	ウノ コノミ	日本精工株式会社
11	左翼手	20	矢野 桃子	ヤノ モモコ	東海学園大学
12	右翼手	18	木戸口 紗英	キドグチ サエ	福井厚生病院
13	右翼手	19	髙田 有実香	タカダ ユミカ	日本生命保険相互会社

【成年女子】

チーム名	岐　　阜　　県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監　督	30	須　藤　麻里子	スドウ　マリコ	大垣ミナモソフトボールクラブ
1	中堅手	10	瀬戸口　梨　乃	セトグチ　リ　ノ	西濃運輸株式会社
2	投　手	17	田　中　真　矢	タナカ　マ　ヤ	神鋼造機株式会社
3	投　手	18	中　村　美　瑠	ナカムラ　ミリュウ	西美濃農業協同組合
4	投　手	19	三　堀　茉莉愛	ミホリ　マリア	イビデン株式会社
5	捕　手	5	岩　月　優　衣	イワツキ　ユ　イ	サンメッセ株式会社
6	一塁手	1	小　林　綾　実	コバヤシ　アヤミ	西美濃農業協同組合
7	一塁手	2	戸　田　陽　菜	ト　ダ　ハルナ	太平洋工業株式会社
8	一塁手	3	谷　　ひなた	タ　ニ　ヒナタ	大垣西濃信用金庫
9	二塁手	9	中　野　凜　良	ナカノ　リ　ラ	株式会社大光
10	二塁手	15	小　西　陽　菜	コニシ　ヒ　ナ	イビデン株式会社
11	三塁手	16	鈴　村　二千花	スズムラ　ニチカ	矢橋ホールディングス株式会社
12	左翼手	4	成　田　音々香	ナリタ　ネネカ	大垣西濃信用金庫
13	左翼手	8	川　地　　葵	カワチ　アオイ	西濃運輸株式会社

【成年女子】

チーム名	京　　都　　府

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監　督	30	加　藤　　愛	カトウ　ア　イ	SGホールディングスギャラクシースターズ
1	二塁手	10	山　本　　星	ヤマモト　アカリ	SGホールディングスギャラクシースターズ
2	遊撃手	1	川　原　千　賢	カワハラ　チサト	SGホールディングスギャラクシースターズ
3	投　手	3	新　井　真　奈	アライ　マ　ナ	SGホールディングスギャラクシースターズ
4	三塁手	5	二　見　亜　希	フタミ　ア　キ	SGホールディングスギャラクシースターズ
5	左翼手	6	小　暮　沙　希	コグレ　サ　キ	SGホールディングスギャラクシースターズ
6	三塁手	7	森　田　あさひ	モリタ　アサヒ	SGホールディングスギャラクシースターズ
7	捕　手	8	藤　原　麻　由	フジハラ　マ　ユ	SGホールディングスギャラクシースターズ
8	中堅手	9	中　村　優　花	ナカムラ　ユ　カ	SGホールディングスギャラクシースターズ
9	右翼手	11	木　下　華　恋	キノシタ　カレン	SGホールディングスギャラクシースターズ
10	投　手	12	小　川　美沙希	オガワ　ミサキ	SGホールディングスギャラクシースターズ
11	投　手	13	永　井　柚　衣	ナガイ　ユ　イ	SGホールディングスギャラクシースターズ
12	二塁手	14	宮　本　愛　里	ミヤモト　アイリ	SGホールディングスギャラクシースターズ
13	捕　手	15	吉　田　真　央	ヨシダ　マ　オ	SGホールディングスギャラクシースターズ

【成年女子】

チーム名	鳥　　取　　県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監　督	30	吉　田　　央	ヨシダ　　ヒサシ	琴浦町立東伯中学校（教）
1	捕　手	5	女鹿田　千　紘	メカダ　　チヒロ	日立製作所横浜事業所
2	投　手	16	櫻　田　采　音	サクラダ　コトネ	同志社大学
3	二塁手	1	北　野　菜奈美	キタノ　　ナナミ	武庫川女子大学
4	左翼手	8	田　井　樹梨愛	タ　イ　ジュリア	大阪保険福祉専門学校
5	投　手	10	川　村　まつり	カワムラ　マツリ	医療法人仁康会　小泉病院
6	中堅手	7	矢　追　姫　愛	ヤオイ　　ヒナリ	鳥取県立倉吉総合産業高等学校（教）
7	一塁手	13	大　迫　心　華	オオサコ　コノカ	同志社大学
8	右翼手	12	寺　西　真　梨	テラニシ　マリン	星城大学
9	三塁手	4	藤　本　結　衣	フジモト　ユ　イ	日本体育大学
10	一塁手	14	森　村　那　海	モリムラ　ナ　ミ	大阪保険福祉専門学校
11	遊撃手	3	福　井　杏　奈	フクイ　　アンナ	立命館大学
12	投　手	11	奥　野　　心	オクノ　　ココロ	日立製作所横浜事業所
13	中堅手	17	松　田　優　奈	マツダ　　ユウナ	松江総合医療専門学校

【成年女子】

チーム名	愛　　媛　　県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監　督	30	石　村　　寛	イシムラ　ヒロシ	（株）伊予銀行
1	投　手	9	庄　司　奈　々	ショウジ　ナ　ナ	（株）伊予銀行
2	投　手	18	黒　木　美　紀	クロキ　　ミノリ	（株）伊予銀行
3	捕　手	10	安　川　裕　美	ヤスカワ　ヒロミ	（株）伊予銀行
4	遊撃手	14	辻　井　美　波	ツジイ　　ミナミ	（株）伊予銀行
5	右翼手	7	本　間　紀　帆	ホンマ　　キ　ホ	（株）伊予銀行
6	一塁手	22	井　上　瑞　希	イノウエ　ミズキ	（株）伊予銀行
7	二塁手	3	芦　田　歩　実	アシダ　　アユミ	（株）伊予銀行
8	中堅手	1	齋　藤　明日加	サイトウ　アスカ	（株）伊予銀行
9	二塁手	13	瀧　川　愛　海	タキカワ　ア　ミ	（株）伊予銀行
10	投　手	25	小　泉　夢　乃	コイズミ　ユメノ	（株）伊予銀行
11	左翼手	15	庄　村　瑠　衣	ショウムラ　ル　イ	（株）伊予銀行
12	三塁手	28	竹　光　久莉寿	タケミツ　クリス	（株）伊予銀行
13	左翼手	8	岩　永　優衣里	イワナガ　ユイリ	（株）伊予銀行

【成年女子】

チーム名	大　分　県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監　督	30	長　澤　佳　子	ナガサワ　ヨシコ	日本文理大学（職）
1	遊撃手	10	漆　原　　花	ウルシハラ　ハ　ナ	日本文理大学
2	投　手	1	鶴　田　美　優	ツルタ　ミ　ユ	日本文理大学
3	投　手	15	狩　口　彩　瑛	カグチ　サ　エ	日本文理大学
4	捕　手	2	岡　部　七　海	オカベ　ナナミ	日本文理大学
5	一塁手	8	山　田　乃　愛	ヤマダ　ノ　ア	日本文理大学
6	二塁手	13	有　元　　杏	アリモト　キョウ	日本文理大学
7	遊撃手	7	新　森　ひかる	シンモリ　ヒカル	日本文理大学
8	三塁手	5	榎　　春　菜	エノキ　ハルナ	日本文理大学
9	左翼手	11	柄　澤　杏　樹	カラサワ　アンジュ	日本文理大学
10	中堅手	6	早　田　真　愛	ハヤタ　マナサ	日本文理大学
11	右翼手	14	黒　瀬　　笑	クロセ　エ　ミ	日本文理大学
12	右翼手	17	雨　宮　芙由子	アメミヤ　フユコ	日本文理大学
13	右翼手	9	藤　野　加　奈	フジノ　カ　ナ	日本文理大学

【成年女子】

チーム名	鹿　児　島　県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏　名	フリガナ	所　属
	監　督	30	前　　裕　也	ススメ　ユウヤ	MORIALLWAVEKANOYA
1	投　手	18	竹　原　由　菜	タケハラ　ユウナ	MORIALLWAVEKANOYA
2	右翼手	7	福　元　彩　未	フクモト　アヤミ	MORIALLWAVEKANOYA
3	中堅手	9	濱　本　叶　美	ハマモト　カナミ	MORIALLWAVEKANOYA
4	一塁手	3	藤　野　亜　美	フジノ　ア　ミ	MORIALLWAVEKANOYA
5	二塁手	8	鈴　木　真由子	スズキ　マユコ	MORIALLWAVEKANOYA
6	三塁手	10	新　谷　　静	アラヤ　シズカ	MORIALLWAVEKANOYA
7	遊撃手	5	藤　本　音　羽	フジモト　オトハ	MORIALLWAVEKANOYA
8	左翼手	2	藤　田　　直	フジタ　ナ　オ	MORIALLWAVEKANOYA
9	投　手	11	猩　々　紫　月	ショウジョウ　シヅキ	MORIALLWAVEKANOYA
10	遊撃手	17	佐々木　桃　花	ササキ　モモカ	MORIALLWAVEKANOYA
11	捕　手	24	鈴　木　真　央	スズキ　マ　オ	MORIALLWAVEKANOYA
12	捕　手	1	黒　木　ひらり	クロキ　ヒラリ	MORIALLWAVEKANOYA
13	左翼手	4	山　根　楓　加	ヤマネ　フウカ	MORIALLWAVEKANOYA

【成年女子】

チーム名	滋賀県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏名	フリガナ	所属
	監督	30	田中 江理奈	タナカ エリナ	日本精工ブレイブベアリーズ
1	捕手	10	小泉 向日葵	コイズミ ヒマリ	日本精工ブレイブベアリーズ
2	投手	3	小栗 巳織乃	オグリ シオノ	日本精工ブレイブベアリーズ
3	投手	17	和田 凛	ワダ リン	日本精工ブレイブベアリーズ
4	投手	18	鈴木 りりか	スズキ リリカ	日本精工ブレイブベアリーズ
5	中堅手	7	橋本 花音	ハシモト カノン	日本精工ブレイブベアリーズ
6	捕手	20	菜原 伊代	クワハラ イヨ	日本精工ブレイブベアリーズ
7	遊撃手	5	矢藤 輝羅菜	ヤトウ キラナ	日本精工ブレイブベアリーズ
8	三塁手	12	岡崎 仁美	オカザキ ヒトミ	日本精工ブレイブベアリーズ
9	二塁手	1	岡本 采子	オカモト アヤコ	日本精工ブレイブベアリーズ
10	右翼手	6	弓納持 あみ	ユミナモチ アミ	日本精工ブレイブベアリーズ
11	左翼手	4	幸内 保乃香	コウナイ ホノカ	日本精工ブレイブベアリーズ
12	一塁手	11	伊藤 美紅	イトウ ミク	日本精工ブレイブベアリーズ
13	遊撃手	14	谷口 愛理	タニグチ アイリ	立命館大学

選手名簿

少年男子

草津市

【少年男子】

チーム名	北　海　道

※UN＝ユニフォームナンバー

Ｎｏ	位置	ＵＮ	氏　名	フリガナ	所　属
	監　督	30	阿　部　匡　仁	ア　ベ　マサヒト	北海道石狩南高等学校（教）
1	投　手	1	千　葉　颯	チ　バ　ハヤテ	北海道札幌東陵高等学校
2	捕　手	78	阿　部　輝　星	ア　ベ　キ　ラ	北海道札幌東陵高等学校
3	一塁手	10	吉　田　淳之輔	ヨシダ　ジュンノスケ	札幌北斗高等学校
4	二塁手	43	田　中　里駆也	タナカ　リクヤ	北海道札幌東陵高等学校
5	三塁手	3	能　澤　蒼　斗	ノザワ　アオト	市立札幌みなみの杜高等支援学校
6	遊撃手	56	新　林　優　斗	シンバヤシ　ユウト	北海道札幌東陵高等学校
7	左翼手	5	八木澤　夏　希	ヤギサワ　ナツキ	札幌北斗高等学校
8	中堅手	15	表　音　歩	オモテ　ト　ア	北海道札幌東陵高等学校
9	右翼手	7	和　田　海　人	ワ　ダ　カイト	札幌北斗高等学校
10					
11					
12					
13					

【少年男子】

チーム名	福　島　県

※UN＝ユニフォームナンバー

Ｎｏ	位置	ＵＮ	氏　名	フリガナ	所　属
	監　督	30	大　森　史　仁	オオモリ　フミヒト	福島県立郡山北工業高等学校（教）
1	中堅手	10	大　森　隼　斗	オオモリ　ハヤト	福島県立郡山北工業高等学校
2	遊撃手	6	佐　藤　晟	サトウ　ジョウ	福島県立郡山北工業高等学校
3	捕　手	8	吉　田　湊二朗	ヨシダ　ソウジロウ	福島県立郡山北工業高等学校
4	三塁手	5	関　根　治　時	セキネ　ハルト	福島県立郡山北工業高等学校
5	投　手	1	川　崎　直　哉	カワサキ　ナオヤ	福島県立郡山北工業高等学校
6	一塁手	12	阿　部　義　智	ア　ベ　ヨシトモ	福島県立郡山北工業高等学校
7	二塁手	4	古　谷　創之介	フルヤ　ソウノスケ	福島県立郡山北工業高等学校
8	投　手	18	鈴　木　大	スズキ　ダ　イ	福島県立郡山北工業高等学校
9	捕　手	11	三　浦　虎　徹	ミウラ　コテツ	福島県立郡山北工業高等学校
10	右翼手	9	近　藤　瑞　稀	コンドウ　ミズキ	福島県立郡山北工業高等学校
11	二塁手	7	本　田　瀬　人	ホンダ　ライト	福島県立郡山北工業高等学校
12	二塁手	99	髙　橋　翼　太	タカハシ　エイタ	福島県立郡山北工業高等学校
13	左翼手	3	塩　澤　來　輝	シオザワ　ライキ	福島県立須賀川創英館高等学校

【少年男子】

チーム名	群　　馬　　県

※UN＝ユニフォームナンバー

Ｎｏ	位置	ＵＮ	氏　　名	フリガナ	所　　属
	監　督	30	田　中　　徹　浩	タナカ　　ユキヒロ	新島学園高等学校(教)
1	投　手	18	高　橋　　悠　斗	タカハシ　　ユウト	新島学園高等学校
2	捕　手	5	神　保　　蒼　司	ジンボ　　ソウシ	新島学園高等学校
3	一塁手	2	杉　原　　亘	スギハラ　　ワタル	新島学園高等学校
4	二塁手	16	間　野　　登　羽	マ　ノ　　ト　ワ	新島学園高等学校
5	三塁手	10	古　島　　立　逸	フルシマ　　リイチ	新島学園高等学校
6	遊撃手	6	高　橋　　尚　希	タカハシ　　ナオキ	新島学園高等学校
7	左翼手	19	中　山　　武　信	ナカヤマ　　タケノブ	新島学園高等学校
8	中堅手	8	吉　濱　　良　紋	ヨシハマ　　ラモン	新島学園高等学校
9	右翼手	1	原　　長　雅	ハ　ラ　　ナガマサ	新島学園高等学校
10	投　手	11	近　藤　　諒　太	コンドウ　　リョウタ	新島学園高等学校
11	投　手	20	橋　爪　　柊　磨	ハシヅメ　　シュウマ	新島学園高等学校
12	捕　手	4	岡　田　　光	オカダ　　ヒカル	新島学園高等学校
13	中堅手	9	原　　長　慶	ハ　ラ　　ヒサヨシ	新島学園高等学校

【少年男子】

チーム名	神　　奈　　川　　県

※UN＝ユニフォームナンバー

Ｎｏ	位置	ＵＮ	氏　　名	フリガナ	所　　属
	監　督	30	中　嶋　　正	ナカジマ　　タダシ	光明学園相模原高等学校（教）
1	投　手	1	久保寺　　鮎　仁	クボテラ　　アユヒト	光明学園相模原高等学校
2	捕　手	2	鈴　木　　俊　輔	スズキ　　シュンスケ	光明学園相模原高等学校
3	一塁手	5	山　下　　冬　家	ヤマシタ　　トウヤ	光明学園相模原高等学校
4	二塁手	9	稲　葉　　春　行	イナバ　　ハルユキ	光明学園相模原高等学校
5	三塁手	10	八　木　　柑　太	ヤ　ギ　　カンタ	光明学園相模原高等学校
6	遊撃手	15	芳　垣　　映　虹	ヨシガキ　　エイコウ	横須賀学院高等学校
7	左翼手	12	原　　徹　平	ハ　ラ　　テッペイ	光明学園相模原高等学校
8	中堅手	3	八重樫　　聡　太	ヤエガシ　　ソウタ	光明学園相模原高等学校
9	右翼手	8	金　定　　健太郎	キンサダ　　ケンタロウ	光明学園相模原高等学校
10	投　手	6	譲　原　　慧	ユズリハラ　　ケ　イ	光明学園相模原高等学校
11	捕　手	7	井　上　　櫂	イノウエ　　カ　イ	横須賀学院高等学校
12	二塁手	11	鈴　木　　塁　斗	スズキ　　ルイト	向上高等学校
13	投　手	17	板　倉　　凜	イタクラ　　リ　ン	横須賀学院高等学校

【少年男子】

チーム名	福井県

※UN＝ユニフォームナンバー

Ｎｏ	位置	ＵＮ	氏　名	フリガナ	所　属
	監　督	30	山　崎　　均	ヤマザキ　ヒトシ	啓新高等学校（教）
1	投　手	19	倉　光　夏惟人	クラミツ　カイト	啓新高等学校
2	捕　手	5	田　中　智　基	タナカ　トモキ	啓新高等学校
3	一塁手	10	上　田　凌　久	ウエダ　リ　ク	啓新高等学校
4	二塁手	16	尾　崎　鳴　斗	オザキ　ナルト	啓新高等学校
5	三塁手	17	坂　井　亮　祐	サカイ　リョウスケ	啓新高等学校
6	遊撃手	1	小　藤　滋　臣	コフジ　シゲオミ	啓新高等学校
7	左翼手	9	町　谷　凌　平	マチヤ　リョウヘイ	啓新高等学校
8	中堅手	8	西　岡　蒼　琉	ニシオカ　ソウル	啓新高等学校
9	右翼手	3	佐々木　優　斗	ササキ　ユウト	啓新高等学校
10	投　手	20	有　坂　由　空	アリサカ　ユ　ラ	啓新高等学校
11	捕　手	14	阿比留　陽　斗	アビル　アキト	啓新高等学校
12	遊撃手	4	吉　村　嵐　汰	ヨシムラ　アラタ	啓新高等学校
13	投　手	18	露　木　徳太郎	ツユキ　トクタロウ	啓新高等学校

【少年男子】

チーム名	愛知県

※UN＝ユニフォームナンバー

Ｎｏ	位置	ＵＮ	氏　名	フリガナ	所　属
	監　督	30	太　田　亘　哉	オオタ　ノブヤ	豊川高等学校(教)
1	三塁手	10	北　澤　諒　祐	キタザワ　リョウスケ	豊川高等学校
2	投　手	1	安　井　陽　太	ヤスイ　ヨウタ	豊川高等学校
3	捕　手	2	持　留　真　心	モチドメ　マサト	豊川高等学校
4	一塁手	3	田　中　瑛　音	タナカ　エイト	豊川高等学校
5	二塁手	4	山　本　翔空哉	ヤマモト　カグヤ	豊川高等学校
6	遊撃手	6	横　内　隆　輝	ヨコウチ　リ　ク	豊川高等学校
7	左翼手	7	眞　河　優之介	マガワ　ユウノスケ	豊川高等学校
8	中堅手	8	金　田　琉　惺	カナダ　リュウセイ	豊川高等学校
9	右翼手	9	中　村　真　央	ナカムラ　マ　オ	豊川高等学校
10	投　手	11	板　倉　伶　和	イタクラ　レ　オ	豊川高等学校
11	三塁手	13	小　野　友　翔	オ　ノ　ユウト	豊川高等学校
12	右翼手	14	岡　崎　燈　眞	オカザキ　トウマ	豊川高等学校
13	一塁手	15	岩　井　祐　輝	イワイ　ユウキ	豊川高等学校

【少年男子】

チーム名	大　阪　府

※UN＝ユニフォームナンバー

Ｎｏ	位置	ＵＮ	氏　名	フリガナ	所　属
	監　督	30	重　松　佑　輔	シゲマツ　ユウスケ	関西大倉高等学校（教）
1	左翼手	13	米　澤　将　栄	ヨネザワ　ショウエイ	上宮高等学校
2	中堅手	1	山　本　将　大	ヤマモト　ショウタ	大阪府立北千里高等学校
3	三塁手	2	石　井　世以波	イシイ　セイハ	利晶学園大阪立命館高等学校
4	捕　手	3	古　田　知　大	フルタ　ハルト	利晶学園大阪立命館高等学校
5	遊撃手	15	朝　田　翔　揮	アサダ　ショウキ	利晶学園大阪立命館高等学校
6	中堅手	10	久　米　翔	ク　メ　ショウ	興國高等学校
7	遊撃手	5	佐　藤　市之信	サトウ　イチノシン	興國高等学校
8	二塁手	6	守　屋　慧　人	モリヤ　ケイト	興國高等学校
9	投　手	7	池　辺　蒼　空	イケベ　ソ　ラ	興國高等学校
10	右翼手	8	藤　原　愁	フジワラ　シュウ	興國高等学校
11	捕　手	9	山　田　優　一	ヤマダ　ユウイチ	興國高等学校
12	一塁手	12	鈴　木　應　介	スズキ　オウスケ	興國高等学校
13	投　手	16	牛　尾　龍　生	ウシオ　リュウキ	興國高等学校

【少年男子】

チーム名	兵　庫　県

※UN＝ユニフォームナンバー

Ｎｏ	位置	ＵＮ	氏　名	フリガナ	所　属
	監　督	30	池　口　健一郎	イケグチ　ケンイチロウ	神戸野田高等学校（教）
1	投　手	10	江　藤　響　輝	エトウ　ヒビキ	神戸野田高等学校
2	捕　手	1	遠　藤　英　泰	エンドウ　ヒデヤス	神戸野田高等学校
3	遊撃手	6	髙　瀬　賢　聖	タカセ　ケンセイ	兵庫県立龍野高等学校
4	右翼手	16	横　山　朔大朗	ヨコヤマ　サクタロウ	兵庫県立明石高等学校
5	一塁手	3	北　尾　英太	キタオ　エイタ	神戸野田高等学校
6	三塁手	7	西　海　颯　馬	ニシウミ　ソウマ	神戸野田高等学校
7	遊撃手	9	長　野　秀　祐	ナガノ　シュウスケ	神戸野田高等学校
8	中堅手	12	毛　利　心　平	モウリ　シンペイ	神戸野田高等学校
9	捕　手	17	中　川　颯　太	ナカガワ　ソウタ	神戸野田高等学校
10	二塁手	5	菅　爽　雲	カン　サワモ	兵庫県立龍野高等学校
11	投　手	18	花　畑　悠　真	ハナバタ　ユウマ	兵庫県立龍野高等学校
12	右翼手	2	天　野　怜	アマノ　レイ	滝川高等学校
13	遊撃手	8	岸　本　陵　汰	キシモト　リョウタ	兵庫県立山崎高等学校

【少年男子】

チーム名	広島県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏名	フリガナ	所属
	監督	30	日野 隼一	ヒノ シュンイチ	広島県立御調高等学校（教）
1	投手	12	中辻 文武	ナカツジ フミタケ	広島県立御調高等学校
2	捕手	17	佐伯 泰知	サエキ タイチ	広島県立御調高等学校
3	一塁手	20	小田 凌輔	オダ リョウスケ	広島県立御調高等学校
4	二塁手	15	阪田 准平	サカタ ジュンペイ	広島県立御調高等学校
5	三塁手	19	仁井 祐斗	ニイ ユウト	広島県立御調高等学校
6	遊撃手	16	藤本 優希	フジモト ユウキ	広島県立御調高等学校
7	左翼手	10	迫 大介	サコ ダイスケ	広島県立御調高等学校
8	中堅手	13	高橋 星凪	タカハシ セナ	広島県立御調高等学校
9	右翼手	22	岡川 政也	オカガワ セイヤ	広島県立御調高等学校
10	投手	18	前友 春輝	マエトモ ハルキ	広島県立御調高等学校
11	遊撃手	21	赤木 琥多	アカギ コウタ	広島県立御調高等学校
12	中堅手	23	山縣 柊介	ヤマガタ シュウスケ	広島県立御調高等学校
13	捕手	25	横見瀬 隼人	ヨコミセ ハヤト	広島県立呉宮原高等学校

【少年男子】

チーム名	愛媛県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏名	フリガナ	所属
	監督	30	遠藤 大輔	エンドウ ダイスケ	愛媛県立東温高等学校（教）
1	投手	10	髙木 鳳史	タカギ コウシ	愛媛県立東温高等学校
2	捕手	3	池内 輝	イケウチ ヒカル	愛媛県立東温高等学校
3	遊撃手	2	川口 龍伸	カワグチ リュウシン	愛媛県立東温高等学校
4	左翼手	5	滝口 裕大	タキグチ ヒロト	愛媛県立東温高等学校
5	中堅手	14	白石 一颯	シライシ イブキ	愛媛県立東温高等学校
6	二塁手	11	宮内 應介	ミヤウチ オウスケ	愛媛県立松山工業高等学校
7	中堅手	9	井門 賢之介	イド ケンノスケ	愛媛県立東温高等学校
8	三塁手	8	本田 琉晟	ホンダ リュウセイ	愛媛県立松山工業高等学校
9	二塁手	7	原田 桂汰	ハラダ ケイタ	愛媛県立松山工業高等学校
10	捕手	1	石川 敦士	イシカワ アツト	愛媛県立松山工業高等学校
11	投手	18	矢野 結也	ヤノ ユウヤ	愛媛県立松山工業高等学校
12	右翼手	17	髙木 凱司	タカギ カイシ	愛媛県立東温高等学校
13	中堅手	4	相原 悠飛	アイバラ ユウト	愛媛県立大洲高等学校

【少年男子】

チーム名	長　　崎　　県

※UN＝ユニフォームナンバー

Ｎｏ	位置	ＵＮ	氏　　名	フリガナ	所　　属
	監　督	30	山　口　　義　男	ヤマグチ　　ヨシオ	長崎県立大村工業高等学校（教）
1	投　手	11	北　川　　氷　悟	キタガワ　　ヒョウゴ	長崎県立大村工業高等学校
2	投　手	17	濱　野　　恵　成	ハマノ　　ケイセイ	長崎県立大村工業高等学校
3	左翼手	3	西　村　　優　人	ニシムラ　　ヒロト	長崎県立佐世保西高等学校
4	捕　手	27	平　山　　未　来	ヒラヤマ　　ミライ	長崎県立大村工業高等学校
5	遊撃手	10	遠　藤　　隆　正	エンドウ　　タカマサ	長崎県立大村工業高等学校
6	一塁手	6	北　村　　隆太郎	キタムラ　リュウタロウ	長崎県立佐世保西高等学校
7	三塁手	5	山　田　　陽　輝	ヤマダ　　ハルキ	長崎県立島原工業高等学校
8	右翼手	8	黒　田　　拓　海	クロダ　　タクミ	長崎県立島原工業高等学校
9	二塁手	4	持　原　　力	モチハラ　　リ　キ	長崎県立大村工業高等学校
10	一塁手	21	村　上　　有　翔	ムラカミ　　アリト	長崎県立大村工業高等学校
11	中堅手	1	大　島　　拓　人	オオシマ　　ヒロト	長崎県立大村工業高等学校
12	右翼手	9	松　尾　　透　真	マツオ　　トウマ	長崎県立大村工業高等学校
13	右翼手	7	東　　遼　汰	ヒガシ　　リョウタ	長崎県立島原工業高等学校

【少年男子】

チーム名	鹿　　児　　島　　県

※UN＝ユニフォームナンバー

Ｎｏ	位置	ＵＮ	氏　　名	フリガナ	所　　属
	監　督	30	釘　田　　大　史	クギタ　　トモヒト	鹿児島県立鹿児島工業高等学校（教）
1	投　手	10	松　元　　琉　心	マツモト　リュウシン	鹿児島県立鹿児島工業高等学校
2	三塁手	5	牧　原　　楓　真	マキハラ　　フウマ	鹿児島県立鹿屋農業高等学校
3	中堅手	4	請　園　　大　斗	ウケゾノ　　ハルト	鹿児島県立鹿児島工業高等学校
4	遊撃手	1	上　拂　　壮　太	カミハライ　　ソウタ	鹿児島県立鹿児島工業高等学校
5	一塁手	15	中　間　　将　二	ナカマ　　ショウジ	鹿児島県立鹿児島工業高等学校
6	捕　手	9	林　山　　豪　起	ハヤシヤマ　　カツキ	鹿児島県立鹿児島工業高等学校
7	二塁手	6	小　谷　　良　太	コタニ　　リョウタ	鹿児島県立鹿児島工業高等学校
8	左翼手	8	西　田　　敏　希	ニシダ　　トシキ	鹿児島県立薩南工業高等学校
9	右翼手	7	剥　岩　　岳　澄	ハギイワ　　ガクト	鹿児島県立加治木工業高等学校
10	三塁手	3	永　吉　　来　寿	ナガヨシ　　ライズ	鹿児島県立鹿児島工業高等学校
11	投　手	11	小　濱　　諒	オバマ　　リョウ	鹿児島県立鹿屋農業高等学校
12	捕　手	2	末　重　　大　希	スエシゲ　　ダイキ	鹿児島県立加治木工業高等学校
13	右翼手	13	福　村　　悠　人	フクムラ　　ハルト	鹿児島県立鹿屋農業高等学校

【少年男子】

チーム名	滋賀県

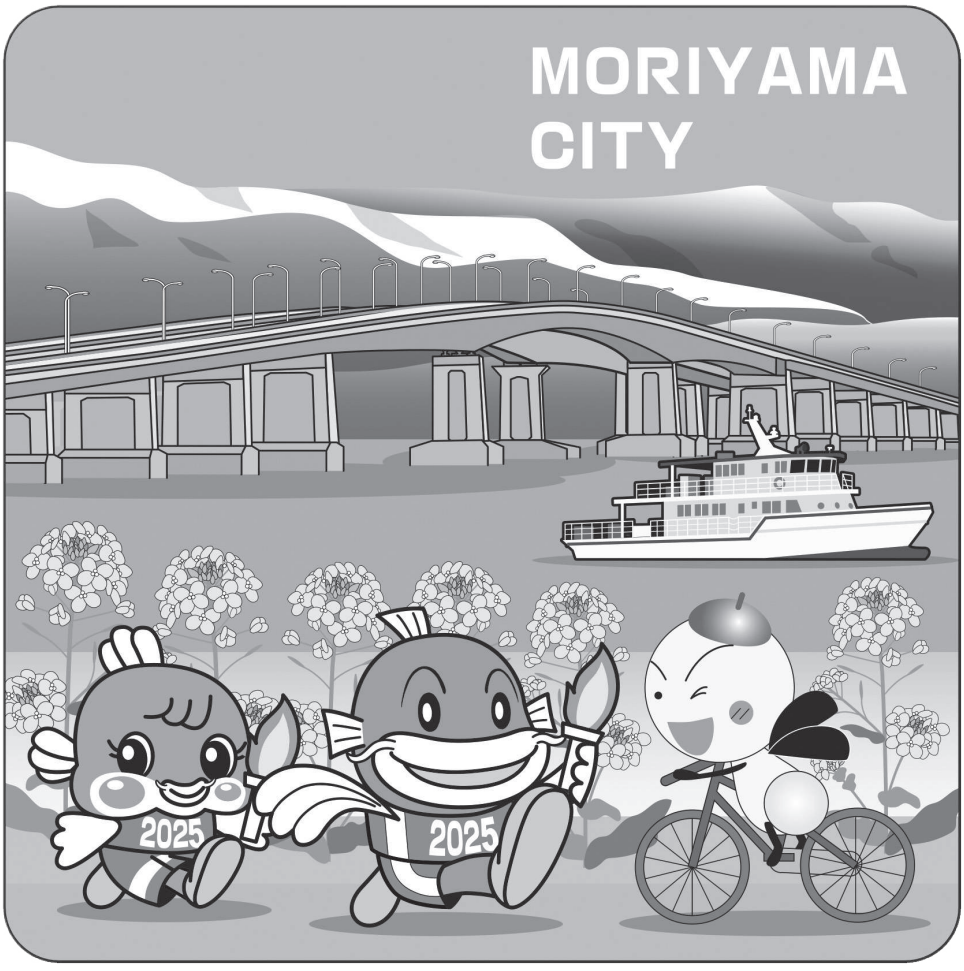
※UN＝ユニフォームナンバー

Ｎｏ	位置	ＵＮ	氏　名	フリガナ	所　属
	監　督	30	松　村　　圭	マツムラ　ケ　イ	滋賀県立栗東高等学校（教）
1	左翼手	14	秋　満　大　知	アキミツ　タイチ	滋賀学園高等学校
2	右翼手	5	太　田　陽　人	オオタ　ハルト	滋賀学園高等学校
3	一塁手	6	川　畑　鯉太郎	カワバタ　コイタロウ	滋賀学園高等学校
4	遊撃手	11	中　西　朔太郎	ナカニシ　サクタロウ	滋賀学園高等学校
5	二塁手	8	西　　銀　次	ニ　シ　ギンジ	滋賀学園高等学校
6	二塁手	7	中　松　昇　汰	ナカマツ　ショウタ	滋賀学園高等学校
7	遊撃手	15	東　田　秀　士	ヒガシダ　シュウジ	滋賀学園高等学校
8	三塁手	2	藤　本　聖　人	フジモト　キヨト	滋賀学園高等学校
9	中堅手	12	森　田　悠　人	モリタ　ハルト	滋賀学園高等学校
10	一塁手	16	松　宮　凛　空	マツミヤ　リ　ク	滋賀県立彦根工業高等学校
11	捕　手	10	小　林　健　介	コバヤシ　ケンスケ	滋賀県立彦根工業高等学校
12	三塁手	13	池　田　　伸	イケダ　シ　ン	滋賀県立栗東高等学校
13	投　手	1	久　村　南　斗	ヒサムラ　ミナト	滋賀県立栗東高等学校

選 手 名 簿

少 年 女 子

守山市



【少年女子】

チーム名	北　海　道

※UN＝ユニフォームナンバー

Ｎｏ	位置	ＵＮ	氏　名	フリガナ	所　属
	監　督	30	永　木　絵美理	ナガキ　エミリ	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校（教）
1	遊撃手	10	小　塚　沙　綾	コヅカ　サアヤ	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校
2	投　手	1	佐　竹　紗　香	サタケ　サヤカ	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校
3	捕　手	2	広　沢　日　花	ヒロサワ　ニチカ	帯広大谷高等学校
4	投　手	4	手　塚　仁　菜	テヅカ　ニイナ	帯広大谷高等学校
5	二塁手	7	久保木　愛　渚	クボキ　アイナ	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校
6	中堅手	8	南　口　姫菜乃	ミナミグチ　ヒナノ	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校
7	左翼手	15	丹　治　奈々美	タンジ　ナナミ	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校
8	右翼手	9	畠　山　結　衣	ハタケヤマ　ユ　イ	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校
9	一塁手	18	角　谷　観　理	カドヤ　ミノリ	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校
10	捕　手	21	松　田　那　月	マツダ　ナツキ	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校
11	三塁手	5	中　田　彩　椰	ナカタ　ア　ヤ	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校
12	投　手	11	中　川　佑月妃	ナカガワ　ユヅキ	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校
13	遊撃手	6	遠　藤　愛　里	エンドウ　アイリ	酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校

【少年女子】

チーム名	岩　手　県

※UN＝ユニフォームナンバー

Ｎｏ	位置	ＵＮ	氏　名	フリガナ	所　属
	監　督	30	千　葉　律　子	チ　バ　リツコ	岩手県立一関第二高等学校（教）
1	投　手	8	菊　地　美　聡	キクチ　ミ　サ	花巻東高等学校
2	捕　手	10	小野寺　彩　芽	オノデラ　アヤメ	岩手県立花巻南高等学校
3	一塁手	7	赤　石　理　緒	アカイシ　リ　オ	花巻東高等学校
4	二塁手	4	髙　橋　天　花	タカハシ　テンカ	岩手県立花巻南高等学校
5	三塁手	12	冨　手　陽　向	トミテ　ヒナタ	岩手県立花巻南高等学校
6	遊撃手	2	千　葉　愛　実	チ　バ　マナミ	岩手県立花巻南高等学校
7	左翼手	13	山　本　倖　奈	ヤマモト　ユキナ	岩手県立宮古商工高等学校
8	中堅手	6	畠　山　桃　嘉	ハタケヤマ　モモカ	岩手県立高田高等学校
9	右翼手	11	朝　倉　奈　祐	アサクラ　ナ　ユ	岩手県立一関第二高等学校
10	中堅手	9	吉　田　絢　香	ヨシダ　アヤカ	岩手県立花巻南高等学校
11	投　手	3	及　川　仁　鼓	オイカワ　ニ　コ	岩手県立花巻南高等学校
12	三塁手	5	細　川　里央奈	ホソカワ　リオナ	岩手県立花巻南高等学校
13	右翼手	1	川　上　莉緒菜	カワカミ　リオナ	岩手県立花巻南高等学校

【少年女子】

チーム名	群　　馬　　県

※UN＝ユニフォームナンバー

Ｎｏ	位置	ＵＮ	氏　　名	フリガナ	所　　属
	監　督	30	熊　井　　道　也	クマイ　　ミチナリ	高崎健康福祉大学(職)
1	投　手	1	大　溝　　夏　音	オオミゾ　　カノン	高崎健康福祉大学高崎高等学校
2	捕　手	6	後　閑　　陽　向	ゴカン　　ヒナタ	高崎健康福祉大学高崎高等学校
3	一塁手	16	田　中　　綾　乃	タナカ　　アヤノ	前橋育英高等学校
4	二塁手	17	池　田　　心　愛	イケダ　　コ　ア	高崎健康福祉大学高崎高等学校
5	三塁手	11	島　田　　莉　亜	シマダ　　リ　ア	群馬県立高崎商業高等学校
6	遊撃手	10	相　須　　絵　恋	アイス　　エレン	高崎健康福祉大学高崎高等学校
7	左翼手	15	西　山　　祐　月	ニシヤマ　　ユヅキ	群馬県立高崎商業高等学校
8	中堅手	12	渡　辺　　天　海	ワタナベ　　テンカ	太田市立太田高等学校
9	右翼手	13	星　野　　佳乃子	ホシノ　　カノコ	群馬県立高崎商業高等学校
10	投　手	18	鈴　木　　彩日音	スズキ　　アカネ	前橋育英高等学校
11	三塁手	14	大　内　　里　香	オオウチ　　リ　カ	高崎健康福祉大学高崎高等学校
12	中堅手	19	吉　村　　唯	ヨシムラ　　ユ　イ	高崎健康福祉大学高崎高等学校
13	投　手	20	鶴　見　　紗　菜	ツルミ　　サ　ナ	高崎健康福祉大学高崎高等学校

【少年女子】

チーム名	山　　梨　　県

※UN＝ユニフォームナンバー

Ｎｏ	位置	ＵＮ	氏　　名	フリガナ	所　　属
	監　督	30	渡　辺　　努	ワタナベ　　ツトム	山梨学院高等学校（教）
1	投　手	11	田　波　　媛　子	タナミ　　ヒメコ	山梨学院高等学校
2	捕　手	2	森　田　　結　菜	モリタ　　ユ　ナ	山梨学院高等学校
3	遊撃手	10	二　橋　　美　緒	ニハシ　　ミ　オ	山梨学院高等学校
4	右翼手	8	武　石　　萌　愛	タケイシ　　メ　イ	山梨学院高等学校
5	左翼手	1	加々美　　沙　良	カガミ　　サ　ラ	山梨学院高等学校
6	二塁手	4	船　津　　琴　音	フナツ　　コトネ	山梨学院高等学校
7	左翼手	7	関　　百　花	セ　キ　　モモカ	山梨学院高等学校
8	一塁手	9	小　堀　　愛　実	コボリ　　ア　ミ	山梨学院高等学校
9	投　手	13	栗　原　　しおり	クリハラ　　シオリ	山梨学院高等学校
10	遊撃手	15	飯　田　　莉　央	イイダ　　リ　オ	山梨学院高等学校
11	三塁手	5	加　藤　　瑠　唯	カトウ　　ル　イ	山梨学院高等学校
12	中堅手	12	大　石　　真　桜	オオイシ　　マ　オ	山梨学院高等学校
13	捕　手	3	郷　古　　あいみ	ゴウコ　　アイミ	山梨学院高等学校

【少年女子】

チーム名	福井県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏名	フリガナ	所属
	監督	30	水田 博貴	ミズタ ヒロキ	啓新高等学校（教）
1	二塁手	10	松田 優那	マツダ ユウナ	啓新高等学校
2	投手	18	小池 七笑	コイケ ナエ	啓新高等学校
3	捕手	14	玉木 楓夏	タマキ フウカ	福井商業高等学校
4	中堅手	19	井手 梨里羽	イデ リリハ	福井商業高等学校
5	左翼手	15	藤永 優愛	フジナガ ユア	啓新高等学校
6	右翼手	24	纐纈 瑠彩	コウケツ ルア	啓新高等学校
7	投手	1	睦谷 羽蘭	ムツタニ ウラン	啓新高等学校
8	遊撃手	7	丸山 夏葵	マルヤマ ナツキ	啓新高等学校
9	一塁手	12	木村 空愛	キムラ アクア	啓新高等学校
10	捕手	3	八十 美咲	ヤソ ミサキ	啓新高等学校
11	中堅手	8	荒川 芽衣	アラカワ メイ	啓新高等学校
12	投手	22	田賀 優希花	タガ ユノカ	三国高等学校
13	三塁手	16	濱砂 杏花	ハマスナ コハナ	啓新高等学校

【少年女子】

チーム名	岐阜県

※UN＝ユニフォームナンバー

No	位置	UN	氏名	フリガナ	所属
	監督	30	上松 美香子	ウエマツ ミカコ	多治見西高等学校(教)
1	捕手	10	市川 幸奈	イチカワ ユキナ	多治見西高等学校
2	投手	3	馬場 心涼	ババ コスズ	岐阜女子高等学校
3	投手	17	広瀬 理央	ヒロセ リオ	多治見西高等学校
4	捕手	6	傍島 志帆	ソバジマ シホ	岐阜女子高等学校
5	一塁手	12	佐々木 杏愛	ササキ アンナ	多治見西高等学校
6	三塁手	2	増栄 凛	マスエ リン	多治見西高等学校
7	三塁手	4	佐竹 聖良々	サタケ キララ	岐阜女子高等学校
8	遊撃手	7	齋藤 春花	サイトウ ハルカ	多治見西高等学校
9	遊撃手	19	傍島 里帆	ソバジマ リホ	岐阜女子高等学校
10	左翼手	5	楠本 有彩	クスモト ユア	多治見西高等学校
11	中堅手	8	吉田 実緒	ヨシダ ミオ	岐阜女子高等学校
12	中堅手	11	佐藤 涼菜	サトウ スズナ	多治見西高等学校
13	右翼手	9	藤田 有衣芽	フジタ ユイカ	岐阜女子高等学校

【少年女子】

チーム名	京　都　府

※UN＝ユニフォームナンバー

Ｎｏ	位置	ＵＮ	氏　名	フリガナ	所　属
	監　督	30	櫻　井　あず沙	サクライ　アズサ	京都西山高等学校（教）
1	遊撃手	10	吉　岡　涼　花	ヨシオカ　リョウカ	京都西山高等学校
2	三塁手	1	浅　野　華　維	アサノ　カスミ	京都西山高等学校
3	捕　手	2	藤　木　結　生	フジキ　ユ　イ	京都西山高等学校
4	投　手	3	藤　井　あかり	フジイ　アカリ	福知山成美高等学校
5	二塁手	4	有　住　葉　那	アリズミ　ハ　ナ	京都府立西城陽高等学校
6	右翼手	5	上　田　朋　佳	ウエダ　トモカ	京都明徳高等学校
7	左翼手	8	東　　祐　依	ヒガシ　キ　イ	京都西山高等学校
8	捕　手	9	石　原　菜　生	イシハラ　ナ　オ	京都西山高等学校
9	遊撃手	11	武　石　希　咲	タケイシ　キ　サ	京都西山高等学校
10	中堅手	12	森　山　実　咲	モリヤマ　ミサキ	京都西山高等学校
11	一塁手	13	川　田　玲　愛	カワタ　レ　ア	京都西山高等学校
12	一塁手	15	濱　口　那　奈	ハマグチ　ナ　ナ	京都西山高等学校
13	投　手	16	宮　内　　杏	ミヤウチ　ア　ン	京都西山高等学校

【少年女子】

チーム名	兵　庫　県

※UN＝ユニフォームナンバー

Ｎｏ	位置	ＵＮ	氏　名	フリガナ	所　属
	監　督	30	池　田　紀　子	イケダ　ノリコ	兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校（教）
1	二塁手	10	松　本　華　奈	マツモト　ハ　ナ	兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校
2	投　手	3	辻　井　みちる	ツジイ　ミチル	兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校
3	遊撃手	5	山　中　陽　月	ヤマナカ　ヒヅキ	兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校
4	中堅手	9	高　谷　沖　菜	タカタニ　オキナ	兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校
5	中堅手	12	櫻　木　藍　睦	サクラギ　ラチカ	兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校
6	右翼手	13	松　浦　歩　花	マツウラ　アユカ	兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校
7	捕　手	16	日　笠　柑　那	ヒカサ　カンナ	兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校
8	中堅手	17	萩　原　美　桜	ハギハラ　ミ　オ	兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校
9	投　手	11	菅　原　さくら	スガワラ　サクラ	神戸野田高等学校
10	三塁手	7	長　尾　来　瞳	ナガオ　クルミ	神戸野田高等学校
11	遊撃手	8	山　下　璃　莉	ヤマシタ　リ　リ	神戸野田高等学校
12	二塁手	4	神　﨑　琴　心	カンザキ　コトミ	神戸野田高等学校
13	左翼手	6	俵　田　　晏	ヒョウダ　ア　ン	兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校

【少年女子】

チーム名	鳥　　取　　県

※UN＝ユニフォームナンバー

Ｎｏ	位置	ＵＮ	氏　　名	フリガナ	所　　属
	監　督	30	小　川　　浩　司	オガワ　　コウジ	鳥取城北高等学校（教）
1	遊撃手	10	大　迫　　優　空	オオサコ　　ユ　ラ	鳥取城北高等学校
2	二塁手	8	山　根　　和　椛	ヤマネ　　ワカバ	鳥取城北高等学校
3	三塁手	16	信　藤　　陽　菜	ノブトウ　　ハルナ	鳥取城北高等学校
4	左翼手	9	中　村　　夢	ナカムラ　　ユ　ウ	鳥取城北高等学校
5	投　手	1	蛭　田　　桜　花	ヒルタ　　サクラ	鳥取城北高等学校
6	右翼手	15	三　浦　　怜　奈	ミウラ　　レ　ナ	鳥取城北高等学校
7	中堅手	5	佐名木　　玲　菜	サナギ　　レ　ナ	鳥取城北高等学校
8	投　手	11	東　平　　果　歩	ヒガシヒラ　　カ　ホ	鳥取城北高等学校
9	捕　手	2	神　林　　里　沙	カミバヤシ　　リ　サ	鳥取城北高等学校
10	右翼手	18	赤　穂　　れ　い	アコウ　　レ　イ	鳥取城北高等学校
11	二塁手	6	蓬　郷　　結　心	トマゴウ　　ユ　ミ	鳥取城北高等学校
12	一塁手	3	樹　岡　　菜　奈	キオカ　　ナ　ナ	鳥取城北高等学校
13	一塁手	4	錦　織　　美　咲	ニシコリ　　ミサキ	鳥取城北高等学校

【少年女子】

チーム名	香　　川　　県

※UN＝ユニフォームナンバー

Ｎｏ	位置	ＵＮ	氏　　名	フリガナ	所　　属
	監　督	30	石　川　　剛	イシカワ　　ツヨシ	県立高松南高等学校（教）
1	二塁手	24	熊　野　　莉　奈	クマノ　　リ　ナ	県立高松商業高等学校
2	遊撃手	10	寒　川　　柚　奈	サンガワ　　ユズナ	県立高松商業高等学校
3	三塁手	3	谷　川　　琳	タニカワ　　リ　ン	県立高松商業高等学校
4	捕　手	20	岡　本　　彩　音	オカモト　　アヤネ	県立高松商業高等学校
5	投　手	18	豊　島　　和	トシマ　　ナゴミ	県立高松商業高等学校
6	一塁手	16	砂　川　　文　音	スナガワ　　アヤネ	県立高松商業高等学校
7	左翼手	7	中　村　　心　海	ナカムラ　　ココミ	県立高松商業高等学校
8	投　手	11	山　下　　舞　華	ヤマシタ　　マイカ	県立高松商業高等学校
9	投　手	15	亀　井　　雪　乃	カメイ　　ユキノ	県立高松南高等学校
10	遊撃手	6	山　野　　碧　心	ヤマノ　　アオイ	県立高松南高等学校
11	捕　手	21	宮　本　　こはる	ミヤモト　　コハル	県立高松南高等学校
12	中堅手	9	堀　口　　来　愛	ホリグチ　　クレア	県立高松南高等学校
13	右翼手	5	尾　中　　美　咲	オナカ　　ミサキ	県立高松南高等学校

【少年女子】

チーム名	長　　崎　　県

※UN＝ユニフォームナンバー

Ｎｏ	位置	ＵＮ	氏　　名	フリガナ	所　　属
	監　督	30	森　　日香里	モ　リ　　ヒカリ	向陽高等学校（教）
1	投　手	1	川　本　そ　ら	カワモト　ソ　ラ	向陽高等学校
2	捕　手	14	湯　浅　恵莉菜	ユアサ　エリナ	向陽高等学校
3	投　手	7	柏　木　仁　美	カシワギ　ヒトミ	向陽高等学校
4	二塁手	4	山　口　結　叶	ヤマグチ　ユ　カ	向陽高等学校
5	遊撃手	5	山　辺　夏　己	ヤマベ　ナツミ	向陽高等学校
6	中堅手	10	篠　﨑　柚　陽	シノザキ　ユヅヒ	向陽高等学校
7	一塁手	3	泊　　みひろ	トマリ　ミヒロ	向陽高等学校
8	投　手	8	北　浦　柑　奈	キタウラ　カンナ	長崎市立長崎商業高等学校
9	捕　手	12	神　﨑　月　望	カンザキ　ツキノ	長崎市立長崎商業高等学校
10	三塁手	6	小　森　心　深	コモリ　ココミ	長崎市立長崎商業高等学校
11	左翼手	2	山　領　紫　苑	ヤマリョウ　シオン	長崎市立長崎商業高等学校
12	右翼手	13	中　村　ひかり	ナカムラ　ヒカリ	長崎市立長崎商業高等学校
13	投　手	11	隈　部　莉　子	クマベ　リ　コ	長崎市立長崎商業高等学校

【少年女子】

チーム名	鹿　　児　　島　　県

※UN＝ユニフォームナンバー

Ｎｏ	位置	ＵＮ	氏　　名	フリガナ	所　　属
	監　督	30	有　住　　隆	アリズミ　タカシ	鹿児島女子高等学校（教）
1	投　手	1	藤　田　莉　心	フジタ　リ　コ	神村学園高等部
2	捕　手	2	梶　目　莉　空	カジメ　リソラ	神村学園高等部
3	一塁手	3	伊　東　　蘭	イトウ　ラ　ン	神村学園高等部
4	二塁手	4	福　良　祢　音	フクラ　ネ　ネ	神村学園高等部
5	三塁手	5	西　　梨央奈	ニ　シ　リオナ	鹿児島女子高等学校
6	遊撃手	6	下　池　美　姫	シモイケ　ミ　キ	神村学園高等部
7	左翼手	7	若　松　青　海	ワカマツ　ア　ミ	神村学園高等部
8	中堅手	8	窪　田　ひなた	クボタ　ヒナタ	神村学園高等部
9	右翼手	9	藤　原　伊莉愛	フジワラ　イリア	神村学園高等部
10	投　手	10	星　隈　妃　奈	ホシクマ　ヒ　ナ	鹿児島女子高等学校
11	捕　手	12	福　元　志　歩	フクモト　シ　ホ	神村学園高等部
12	投　手	18	岡　田　莉　来	オカダ　リ　コ	神村学園高等部
13	二塁手	14	川　原　希　菜	カワハラ　ノ　ナ	神村学園高等部

【少年女子】

チーム名	滋賀県

※UN＝ユニフォームナンバー

Ｎｏ	位置	ＵＮ	氏　名	フリガナ	所　属
	監　督	30	栗　田　優　子	クリタ　ユウコ	滋賀県立大津商業高等学校（教）
1	投　手	1	細　野　月　菜	ホソノ　ル　ナ	比叡山高等学校
2	右翼手	2	上　田　莉　子	ウエダ　リ　コ	比叡山高等学校
3	一塁手	4	山　本　瑠　希	ヤマモト　ル　キ	滋賀学園高等学校
4	遊撃手	5	籔　内　心　都	ヤブウチ　コ　ト	比叡山高等学校
5	捕　手	6	岡　本　　藍	オカモト　アオイ	比叡山高等学校
6	投　手	7	澤　田　　芽	サワダ　メ　イ	滋賀県立大津商業高等学校
7	中堅手	9	瀧　上　碧　唯	タキガミ　アオイ	比叡山高等学校
8	二塁手	10	平　井　美　緑	ヒライ　ミノリ	滋賀県立大津商業高等学校
9	右翼手	12	高　野　結　菜	タカノ　ユ　ナ	滋賀学園高等学校
10	左翼手	16	土　肥　瑞　季	ド　ヒ　ミズキ	滋賀県立大津商業高等学校
11	捕　手	17	尾　辻　美　涼	オツジ　ミスズ	滋賀県立水口高等学校
12	左翼手	19	山　中　星　衣	ヤマナカ　セ　イ	滋賀県立大津商業高等学校
13	三塁手	20	松　崎　心　月	マツザキ　ミツキ	滋賀県立大津商業高等学校

競技成績採点方法

総合成績決定方法

男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い都道府県順に順位を決定する。ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

(1)　競技得点

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競　技　得　点
成年男子 成年女子 少年男子 少年女子	成年女子 少年女子	各種別とも１位 64 点、２位 56 点、３位(２チーム)各 44 点、５位(４チーム)各 20 点の競技得点を与える。

(2)　参加得点

大会（ブロック大会を含む。）に参加した都道府県に 10 点を与える。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

総合成績（天皇杯・皇后杯）一覧表

都道府県名		成年男子		成年女子		少年男子		少年女子		男女総合成績（天皇杯）				女子総合成績（皇后杯）			
		順位	競技得点	順位	競技得点	順位	競技得点	順位	競技得点	競技得点	参加得点	合計	総合順位	競技得点	参加得点	合計	総合順位
1	北海道																
2	青森県																
3	岩手県																
4	宮城県																
5	秋田県																
6	山形県																
7	福島県																
8	茨城県																
9	栃木県																
10	群馬県																
11	埼玉県																
12	千葉県																
13	東京都																
14	神奈川県																
15	山梨県																
16	新潟県																
17	長野県																
18	富山県																
19	石川県																
20	福井県																
21	静岡県																
22	愛知県																
23	三重県																
24	岐阜県																
25	滋賀県																
26	京都府																
27	大阪府																
28	兵庫県																
29	奈良県																
30	和歌山県																
31	鳥取県																
32	島根県																
33	岡山県																
34	広島県																
35	山口県																
36	香川県																
37	徳島県																
38	愛媛県																
39	高知県																
40	福岡県																
41	佐賀県																
42	長崎県																
43	熊本県																
44	大分県																
45	宮崎県																
46	鹿児島県																
47	沖縄県																

年次別成績一覧表（第１回～第２９回）

回数	開催年	開催地	成年男子	成年女子	少年女子
第1回	昭和21年	滋賀・京都・大阪・奈良・兵庫	ー	ー	ー
第2回	昭和22年	石川県	オープン参加	オープン参加	オープン参加
第3回	昭和23年	福岡県	ー	ー	ー
第4回	昭和24年	東京都	ー	高島屋大阪（大阪）	大田原女子（栃木）
第5回	昭和25年	愛知県	教員の部　名古屋市教員（愛知）	鐘紡西大寺（岡山）	明善高（香川）
第6回	昭和26年	広島県	ー	鐘紡西大寺（岡山）	明善高（香川）
第7回	昭和27年	福島・宮城・山形	ー	三菱神戸造船（兵庫）	安田女子高（広島）
第8回	昭和28年	香川・高知・愛媛・徳島	ー	鐘紡高砂（兵庫）	須賀高（栃木）
第9回	昭和29年	北海道	ー	東洋レーヨン（愛媛）	三島北高（静岡）
第10回	昭和30年	神奈川県	ー	東洋レーヨン（愛媛）	八尾高（大阪）
第11回	昭和31年	兵庫県	ー	東洋レーヨン（愛媛）	安田女子高（広島）
第12回	昭和32年	静岡県	広島市役所（広島）	鐘紡高砂（兵庫）	坂出高（香川）
第13回	昭和33年	富山県	吉田工業（富山）	倉紡安城（愛知）	安城学園高（愛知） 須賀高（栃木）
第14回	昭和34年	東京都	京都地方簡保（京都）	高島屋大阪（大阪）	三島北高（静岡）
第15回	昭和35年	熊本県	広島市役所（広島）	日紡垂井（岐阜）	静岡女子商（静岡）
第16回	昭和36年	秋田県	日新製鋼呉（広島）	倉紡安城（愛知）	今治明徳（愛媛）
第17回	昭和37年	岡山県	広島市役所（広島）	日紡垂井（岐阜）	宇都宮女子商高（栃木）
第18回	昭和38年	山口県	宇部興産（山口）	日紡垂井（岐阜）	宇都宮女子商高（栃木）
第19回	昭和39年	新潟県	広島市役所（広島）	広洋タオル（愛媛）	神田女子学園高（東京）
第20回	昭和40年	岐阜県	日新製鋼呉（広島）	高島屋大阪（大阪）	宇都宮女子商高（栃木）
第21回	昭和41年	大分県	オール武生（福井）	高島屋大阪（大阪）	宇都宮女子商高（栃木）
第22回	昭和42年	埼玉県	全学習院大（東京）	日紡垂井（岐阜）	大分東高（大分）
第23回	昭和43年	福井県	土佐電鉄（高知）	高島屋大阪（大阪）	宇都宮女子商高（栃木）
第24回	昭和44年	長崎県	佐世保重工（長崎）	全日体大（東京）	大分東高（大分）
第25回	昭和45年	岩手県	全日体大（東京）	高島屋大阪（大阪）	笠田高（和歌山）
第26回	昭和46年	和歌山県	三菱重工名古屋（愛知）	大和紡福井（福井）	宇都宮女子商高（栃木）
第27回	昭和47年	鹿児島県	丸善石油松山（愛媛）	高島屋大阪（大阪）	丸亀商業高（香川） 笠田高（和歌山）
第28回	昭和48年	千葉県	レッドスパーローズ（千葉）	倉紡安城（愛知）	熊本女子（熊本）
第29回	昭和49年	茨城県	高崎教員（群馬）	大和紡福井（福井）	川口女子高（埼玉）

年次別成績一覧表（第３０回～第５３回）

回数	開催年	開催地	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子
第30回	昭和50年	三重県	三重県・愛媛県	兵庫県・群馬県	高知県・三重県	京都府・兵庫県
第31回	昭和51年	佐賀県	広島県	佐賀県・福岡県	三重県	京都府
第32回	昭和52年	青森県	群馬県・広島県	群馬県・東京都	熊本県	福島県
第33回	昭和53年	長野県	群馬県	群馬県	群馬県	香川県
第34回	昭和54年	宮崎県	宮崎県・群馬県	宮崎県・兵庫県	新潟県・熊本県	大阪府・広島県
第35回	昭和55年	栃木県	宮崎県	栃木県	栃木県	栃木県
第36回	昭和56年	滋賀県	愛知県	東京都	熊本県	神奈川県
第37回	昭和57年	島根県	静岡県	群馬県	群馬県	千葉県
第38回	昭和58年	群馬県	群馬県	群馬県	群馬県	神奈川県
第39回	昭和59年	奈良県	高知県	滋賀県	高知県	千葉県
第40回	昭和60年	鳥取県	愛知県	愛知県	埼玉県	鳥取県
第41回	昭和61年	山梨県	山梨県	山梨県	山梨県	愛知県
第42回	昭和62年	沖縄県	沖縄県	群馬県	群馬県	兵庫県

回数	開催年	開催地	成年男子1部	成年男子2部	成年女子	少年男子	少年女子
第43回	昭和63年	京都府	高知県	静岡県	愛知県	沖縄県	兵庫県
第44回	平成元年	北海道	高知県	大阪府	北海道	北海道	北海道
第45回	平成2年	福岡県	高知県	高知県	群馬県	千葉県	埼玉県
第46回	平成3年	石川県	高知県	静岡県	群馬県	群馬県	埼玉県
第47回	平成4年	山形県	山梨県	東京都	愛知県	山形県	山形県
第48回	平成5年	香川県・徳島県	高知県	群馬県	香川県	香川県	京都府
第49回	平成6年	愛知県	愛知県	静岡県	石川県	鹿児島県	埼玉県
第50回	平成7年	福島県	高知県	福島県	福島県	埼玉県	埼玉県
第51回	平成8年	広島県	高知県	広島県	神奈川県	宮崎県	栃木県
第52回	平成9年	大阪府	高知県	高知県	群馬県	静岡県	大阪府
第53回	平成10年	神奈川県	神奈川県	神奈川県	神奈川県	石川県	神奈川県

年次別成績一覧表（第５４回～第７８回）

回数	開催年	開催地	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子
第54回	平成11年	熊本県	高知県	大阪府	神奈川県	宮城県
第55回	平成12年	富山県	愛知県	神奈川県	高知県	福岡県
第56回	平成13年	宮城県	千葉県	群馬県	高知県	埼玉県
第57回	平成14年	高知県	埼玉県	群馬県	大阪府	埼玉県
第58回	平成15年	静岡県	埼玉県	群馬県	岡山県	埼玉県
第59回	平成16年	埼玉県	高知県	群馬県	高知県	千葉県
第60回	平成17年	岡山県	愛知県	群馬県	群馬県	福岡県
第61回	平成18年	兵庫県	愛知県	神奈川県	高知県	埼玉県
第62回	平成19年	秋田県	福岡県・栃木県 千葉県・石川県	神奈川県・群馬県 兵庫県・東京都	宮崎県・大阪府 鹿児島県・高知県	佐賀県・滋賀県 兵庫県・神奈川県
第63回	平成20年	大分県	北海道・山形県 千葉県・福井県 愛知県・大阪府 広島県・高知県	群馬県・神奈川県 愛知県・島根県 徳島県・福岡県 大分県・沖縄県	北海道・福島県 千葉県・静岡県 兵庫県・高知県 長崎県・沖縄県	栃木県・神奈川県 愛知県・京都府 兵庫県・徳島県 佐賀県・大分県
第64回	平成21年	新潟県	大阪府	群馬県	高知県	埼玉県
第65回	平成22年	千葉県	北海道・福島県 千葉県・愛知県 大阪府・広島県 宮崎県・鹿児島県	栃木県・群馬県 石川県・兵庫県 島根県・愛媛県 福岡県・熊本県	群馬県・埼玉県 千葉県・新潟県 静岡県・大阪府 兵庫県・高知県	北海道・千葉県 神奈川県・愛知県 兵庫県・広島県 香川県・長崎県
第66回	平成23年	山口県	宮崎県	神奈川県	長崎県	大阪府
第67回	平成24年	岐阜県	群馬県	群馬県	長崎県	兵庫県
第68回	平成25年	東京都	高知県	群馬県	埼玉県	千葉県
第69回	平成26年	長崎県	宮崎県	神奈川県	鹿児島県	愛知県
第70回	平成27年	和歌山県	愛知県	神奈川県	愛媛県	岡山県
第71回	平成28年	岩手県	栃木県	愛知県	広島県	千葉県
第72回	平成29年	愛媛県	愛媛県・栃木県	愛媛県	広島県	長崎県・千葉県
第73回	平成30年	福井県	千葉県・岡山県	静岡県・群馬県	福井県・千葉県	愛知県・兵庫県
第74回	令和元年	茨城県	長崎県	群馬県	高知県	長崎県
第75回	令和2年	鹿児島県	延期			
第76回	令和3年	三重県	中止			
第77回	令和4年	栃木県	岡山県	群馬県	神奈川県	佐賀県
特　別	令和5年	鹿児島県	栃木県・福岡県	愛知県・埼玉県	愛媛県・広島県	千葉県・長崎県
第78回	令和6年	佐賀県	長崎県	群馬県	鹿児島県	鹿児島県
第79回	令和7年	滋賀県				

得点経過記入表

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計

（バッテリー）
[勝：○、負：●]

先攻 ---
後攻 ---

（長打）
先攻 （本塁打） （二塁打） （三塁打）
後攻 （本塁打） （二塁打） （三塁打）

（特出記録）

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計

（バッテリー）
[勝：○、負：●]

先攻 ---
後攻 ---

（長打）
先攻 （本塁打） （二塁打） （三塁打）
後攻 （本塁打） （二塁打） （三塁打）

（特出記録）

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計

（バッテリー）
[勝：○、負：●]

先攻 ---
後攻 ---

（長打）
先攻 （本塁打） （二塁打） （三塁打）
後攻 （本塁打） （二塁打） （三塁打）

（特出記録）

得点経過記入表

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計

（バッテリー）
[勝：○、負：●]　先攻 ---
後攻 ---

（長打）　先攻 （本塁打） （二塁打） （三塁打）
後攻 （本塁打） （二塁打） （三塁打）

（特出記録）

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計

（バッテリー）
[勝：○、負：●]　先攻 ---
後攻 ---

（長打）　先攻 （本塁打） （二塁打） （三塁打）
後攻 （本塁打） （二塁打） （三塁打）

（特出記録）

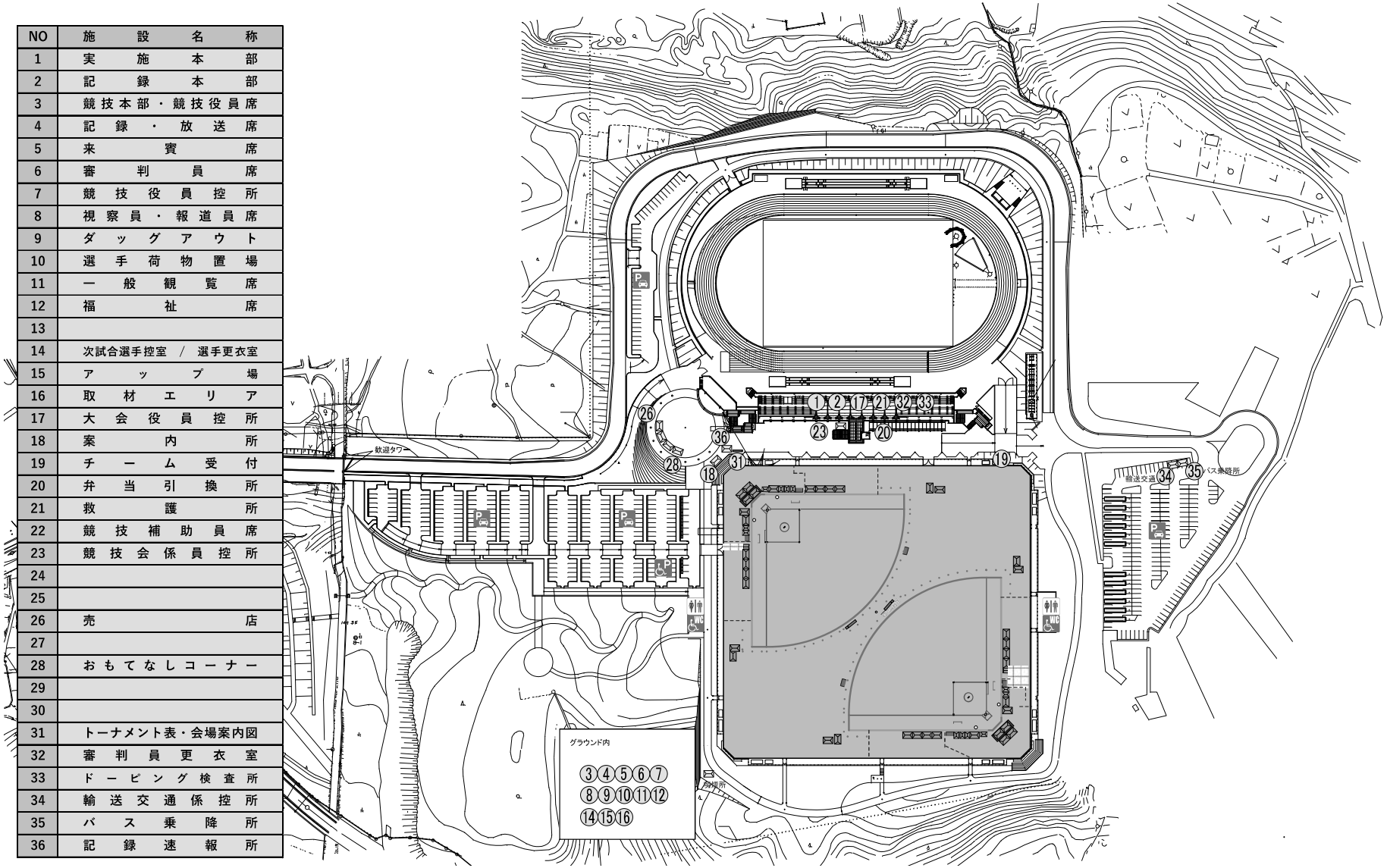
チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計

（バッテリー）
[勝：○、負：●]　先攻 ---
後攻 ---

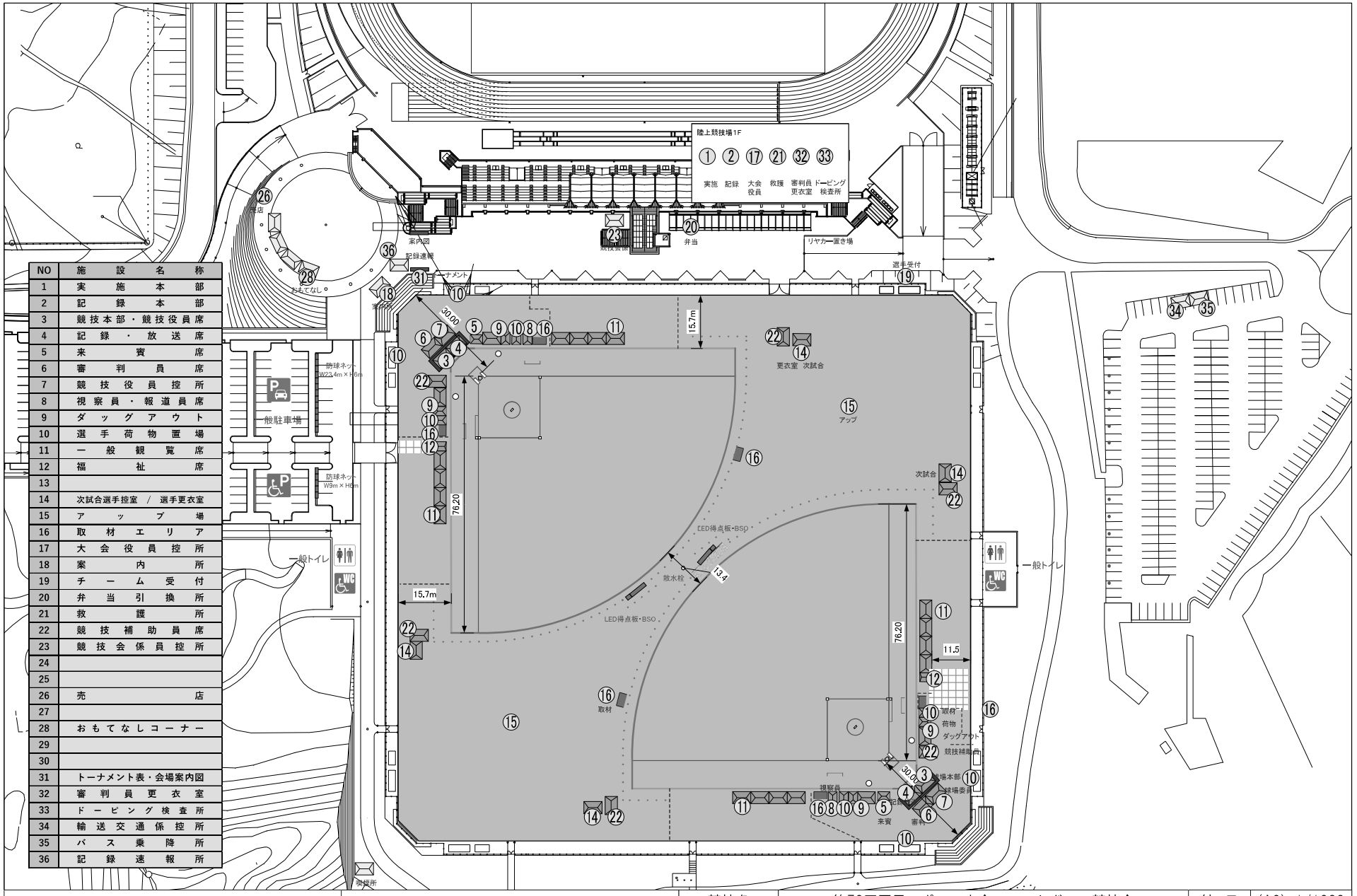
（長打）　先攻 （本塁打） （二塁打） （三塁打）
後攻 （本塁打） （二塁打） （三塁打）

（特出記録）

NO	施設名称
1	実施本部
2	記録本部
3	競技本部・競技役員席
4	記録・放送席
5	来賓席
6	審判員席
7	競技役員控所
8	視察員・報道員席
9	ダッグアウト
10	選手荷物置場
11	一般観覧席
12	福祉席
13	
14	次試合選手控室 / 選手更衣室
15	アップ場
16	取材エリア
17	大会役員控所
18	案内所
19	チーム受付
20	弁当引換所
21	救護所
22	競技補助員席
23	競技会係員控所
24	
25	
26	売店
27	
28	おもてなしコーナー
29	
30	
31	トーナメント表・会場案内図
32	審判員更衣室
33	ドーピング検査所
34	輸送交通係控所
35	バス乗降所
36	記録速報所



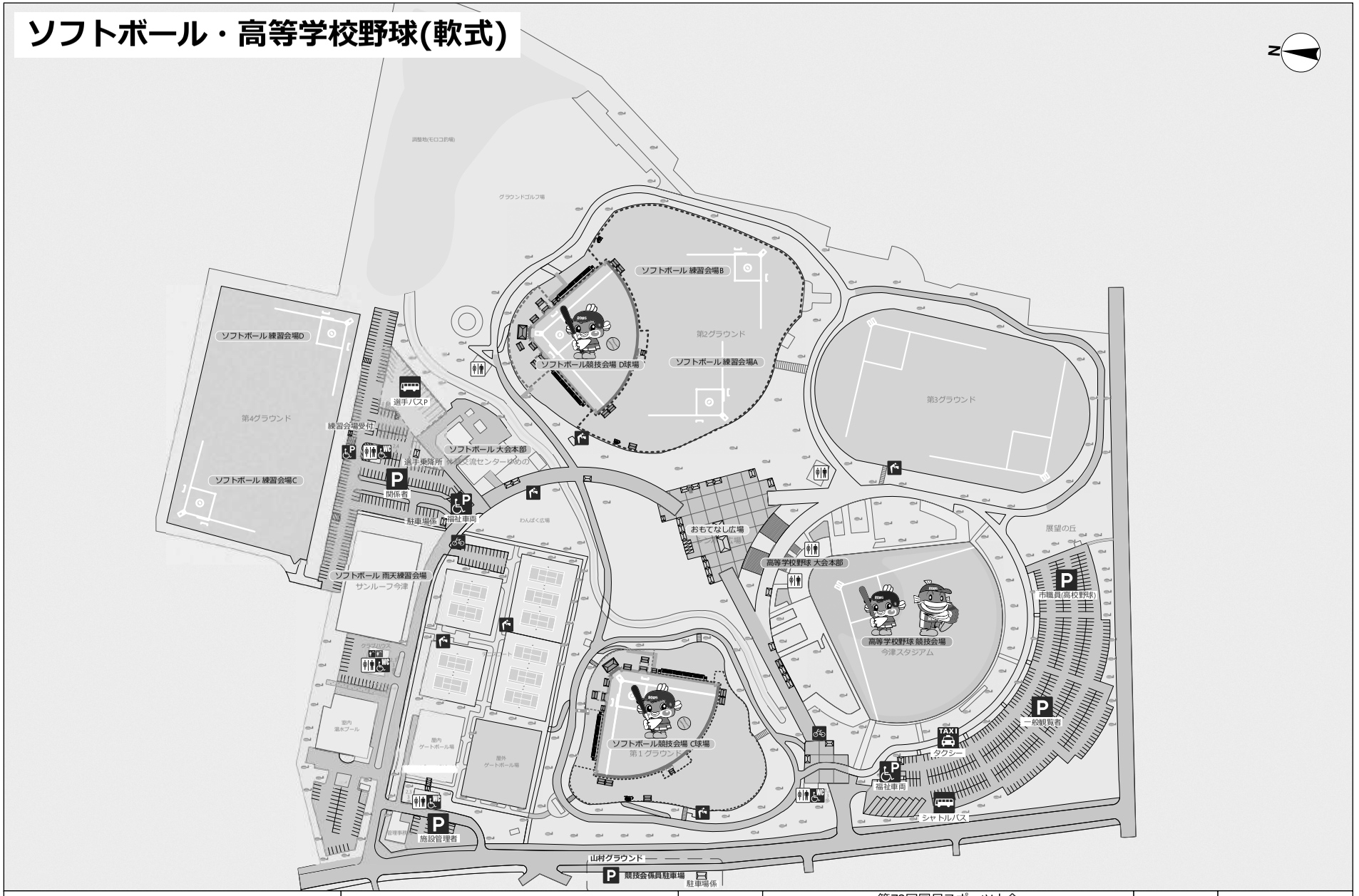
わたSHIGA輝く国スポ・障スポ東近江市実行委員会	わたSHIGA輝く国スポ	競技名	第79回国民スポーツ大会　ソフトボール競技会	縮尺	(A3) 1/2000
		図面名	会場配置計画〈東近江市総合運動公園　周辺〉		



NO	施設名称
1	実施本部
2	記録本部
3	競技本部・競技役員席
4	記録・放送席
5	来賓席
6	審判員席
7	競技役員控所
8	視察員・報道員席
9	ダッグアウト
10	選手荷物置場
11	一般観覧席
12	福祉席
13	
14	次試合選手控室 / 選手更衣室
15	アップ場
16	取材エリア
17	大会役員控所
18	案内所
19	チーム受付
20	弁当引換所
21	救護所
22	競技補助員席
23	競技会係員控所
24	
25	
26	売店
27	
28	おもてなしコーナー
29	
30	
31	トーナメント表・会場案内図
32	審判員更衣室
33	ドーピング検査所
34	輸送交通係控所
35	バス乗降所
36	記録速報所

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ東近江市実行委員会	わたSHIGA輝く国スポ	競技名	第79回国民スポーツ大会　ソフトボール競技会
		図面名	会場配置計画〈東近江市総合運動公園布引多目的グラウンド〉
		縮　尺	（A3）1/1000

ソフトボール・高等学校野球(軟式)



わたSHIGA輝く国スポ・障スポ 高島市実行委員会	湖国の感動 未来へつなぐ わたSHIGA輝く国スポ2025 第79回国民スポーツ大会	競技名	第79回国民スポーツ大会 ソフトボール競技会・高等学校野球(軟式)競技会	縮尺	S=1/2500(A3)
		図面名	会場周辺図 高島市今津総合運動公園	修正日	2025/09/04

ソフトボール	
NO	施設名称
1	競技本部・競技役員控所
2	記録本部
3	審判員控所・更衣室
4	救護所
5	実施本部
6	球場本部・記録・放送席
7	来賓席
8	ボールパーソン席・救護席
9	審判員席
10	ダッグアウト
11	選手荷物置場
12	視察員・報道員席
13	一般観覧席
14	福祉席
15	得点掲示係員控所
16	次試合選手控所
17	選手更衣室
18	アップ場係員控所
19	仮設トイレ
20	競技補助員控所
21	受付
22	記録速報所
23	練習会場受付

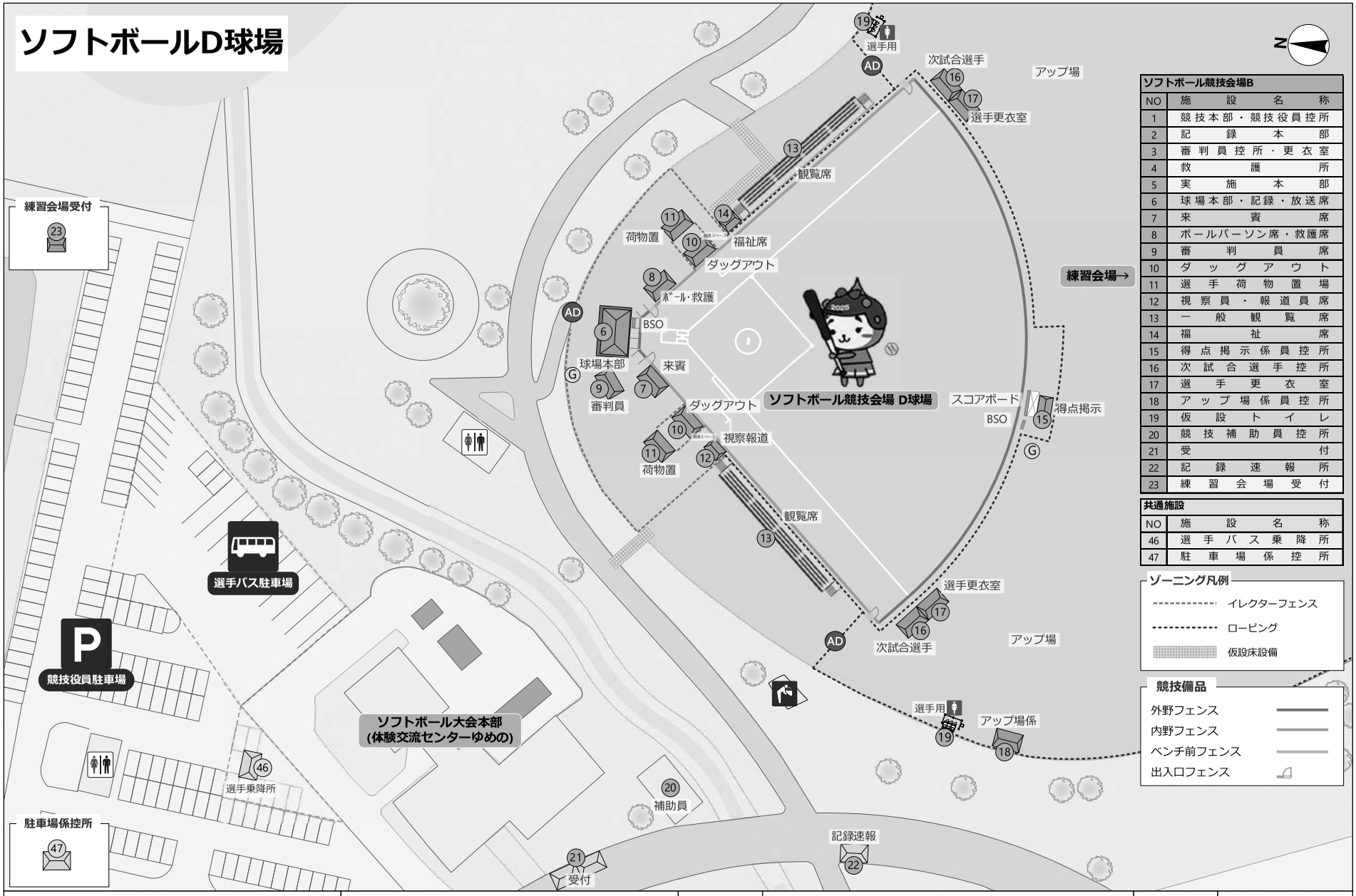
共通施設	
NO	施設名称
31	案内所
32	輸送交通本部
33	シャトルバス乗降所
34	売店
35	無料ドリンクコーナー・保管所
36	ふるまいコーナー
37	一般休憩所
38	ベビールーム
39	競技会係員・ボランティア控所
40	弁当引換所
41	美化係控所
42	消防・会場係控所
43	ゴミ集積所
44	喫煙所
45	カームダウンスペース
46	選手バス乗降所
47	駐車場係控所

高等学校野球(軟式)	
NO	施設名称
1	競技本部
2	記録本部・実施本部
3	放送・記録席
4	競技役員控所
5	救護所
6	審判員席
7	審判員更衣室
8	来賓・大会役員席
9	ダッグアウト
10	理学療法所
11	次試合選手控所
12	競技補助員控所
13	仮設トイレ
14	報道員席
15	カメラマン席
16	視察員席
17	一般観覧席
18	福祉席
19	受付
20	練習会場受付

ソフトボールC球場・高等学校野球

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ 高島市実行委員会	湖国の感動 未来へつなぐ わたSHIGA輝く国スポ 第79回国民スポーツ大会 2025	競技名	第79回国民スポーツ大会 ソフトボール競技会・高等学校野球(軟式)競技会
		縮尺	S=1/1000(A3)
		図面名	会場配置計画 高島市今津総合運動公園 第1グラウンド・今津スタジアム
		修正日	2025/09/01

ソフトボールD球場



ソフトボール競技会場B	
NO	施設名称
1	競技本部・競技役員控所
2	記録本部
3	審判員控所・更衣室
4	救護所
5	実施本部
6	球場本部・記録・放送席
7	来賓席
8	ボールパーソン席・救護席
9	審判員席
10	ダッグアウト
11	選手荷物置場
12	視察員・報道員席
13	一般観覧席
14	福祉席
15	得点掲示係員控所
16	次試合選手控所
17	選手更衣室
18	アップ場係員控所
19	仮設トイレ
20	競技補助員控所
21	受付
22	記録速報所
23	練習会場受付

共通施設	
NO	施設名称
46	選手バス乗降所
47	駐車場係控所

ゾーニング凡例

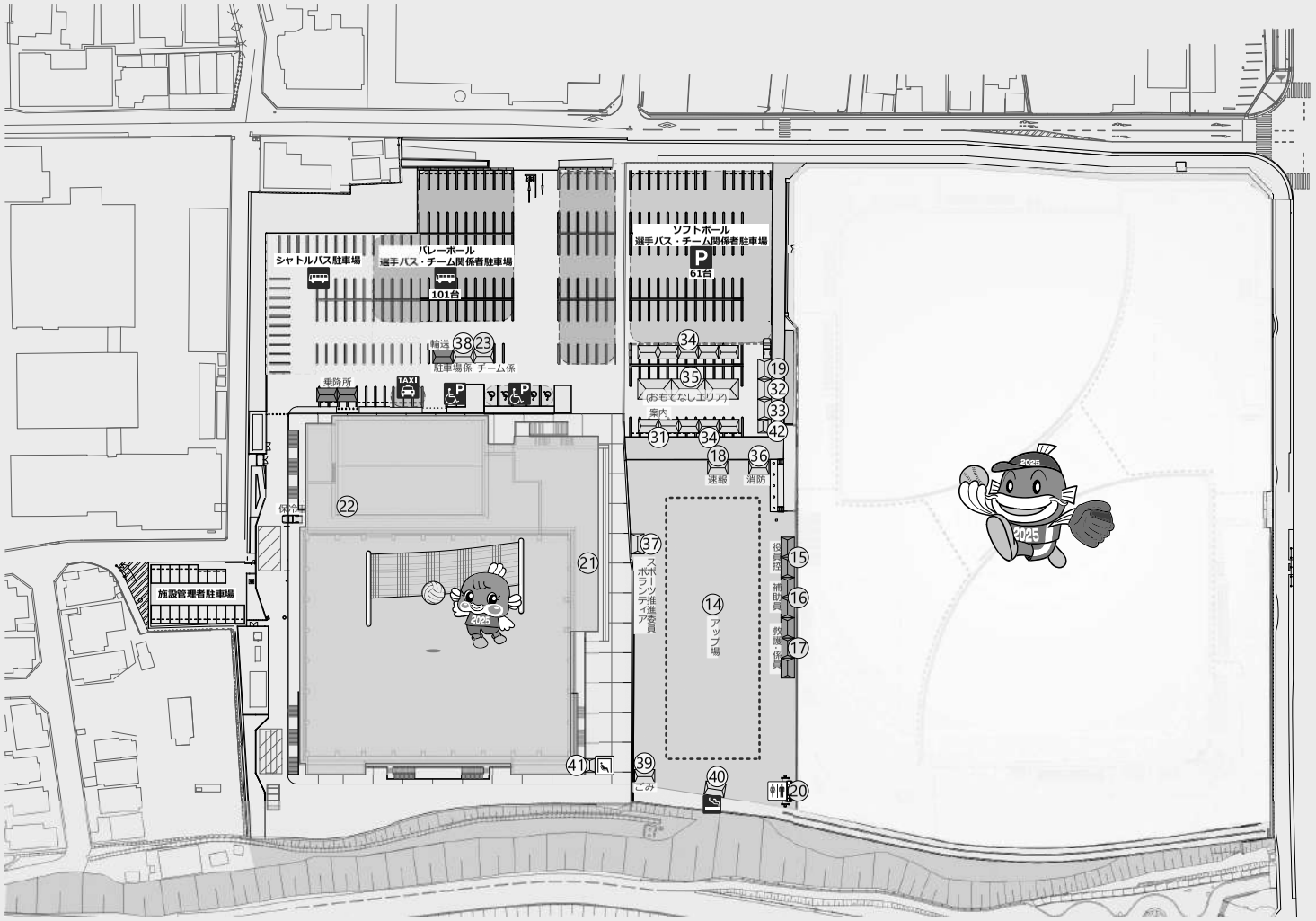
- イレクターフェンス
- ロープピング
- 仮設床設備

競技備品

- 外野フェンス
- 内野フェンス
- ベンチ前フェンス
- 出入口フェンス

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ 高島市実行委員会	湖国の感動 未来へつなぐ わたSHIGA輝く国スポ 第79回国民スポーツ大会 2025	競技名	第79回国民スポーツ大会 ソフトボール競技会	縮尺	S=1/700(A3)
		図面名	会場配置計画 高島市今津総合運動公園 第2グラウンド	修正日	2025/09/01

バレーボール・ソフトボール



N

共通施設	
NO	施設名称
31	受付案内所
32	おふるまいコーナー
33	無料ドリンクコーナー
34	売店
35	休憩所
36	消防警備控所
37	スポーツ推進委員・ボランティア控所
38	駐車場係員控所
39	ごみ集積所
40	喫煙所
41	カームダウンスペース
42	エコステーション

ソフトボール	
NO	施設名称
14	アップ場
15	競技役員控所
16	競技補助員控所
17	救護席・競技会係員控所
18	記録速報所
19	弁当引換所
20	仮設トイレ
21	実施本部
22	救護所
23	チーム係控所

ゾーニング物品凡例

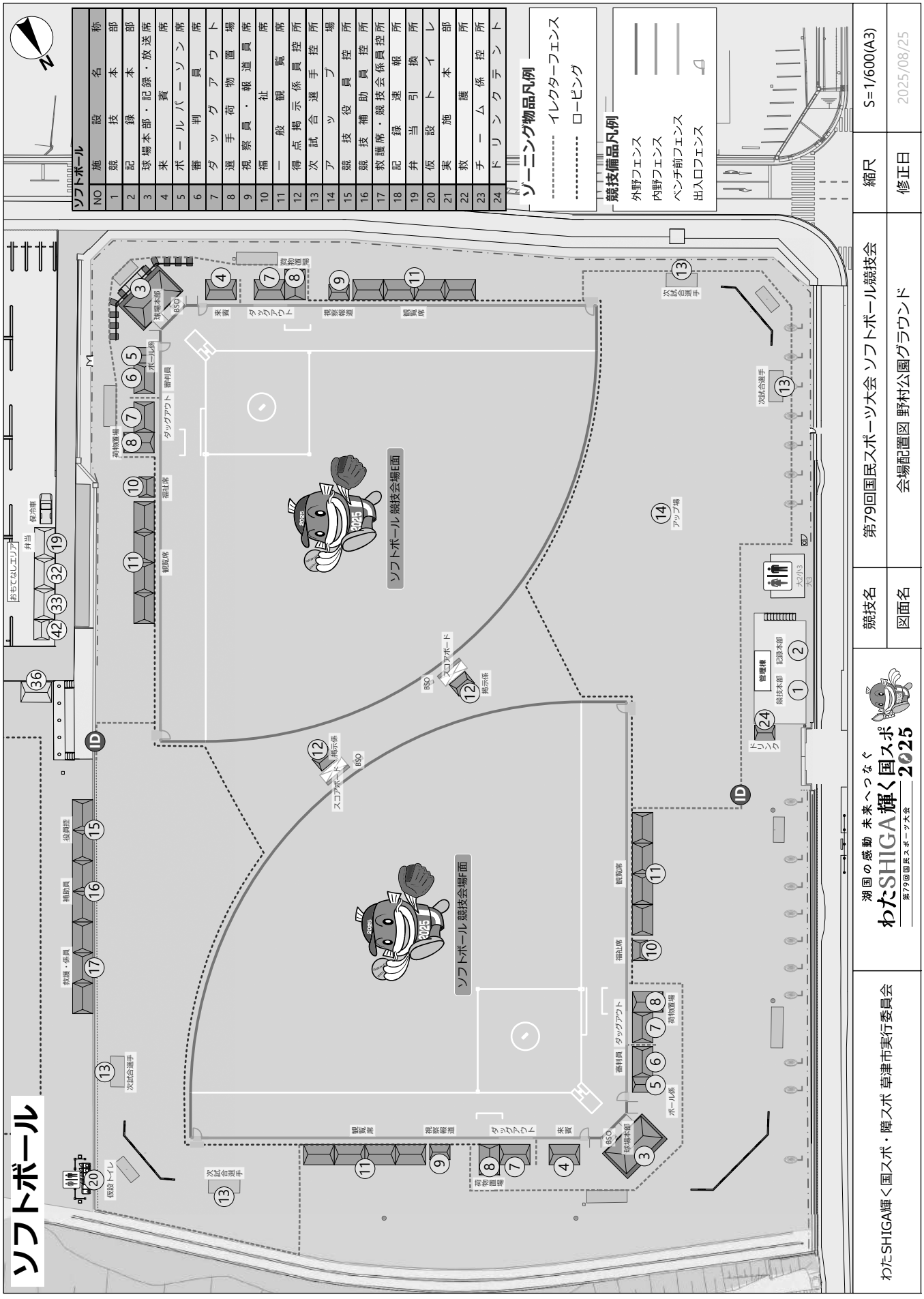
- イレクターフェンス
- ローピング

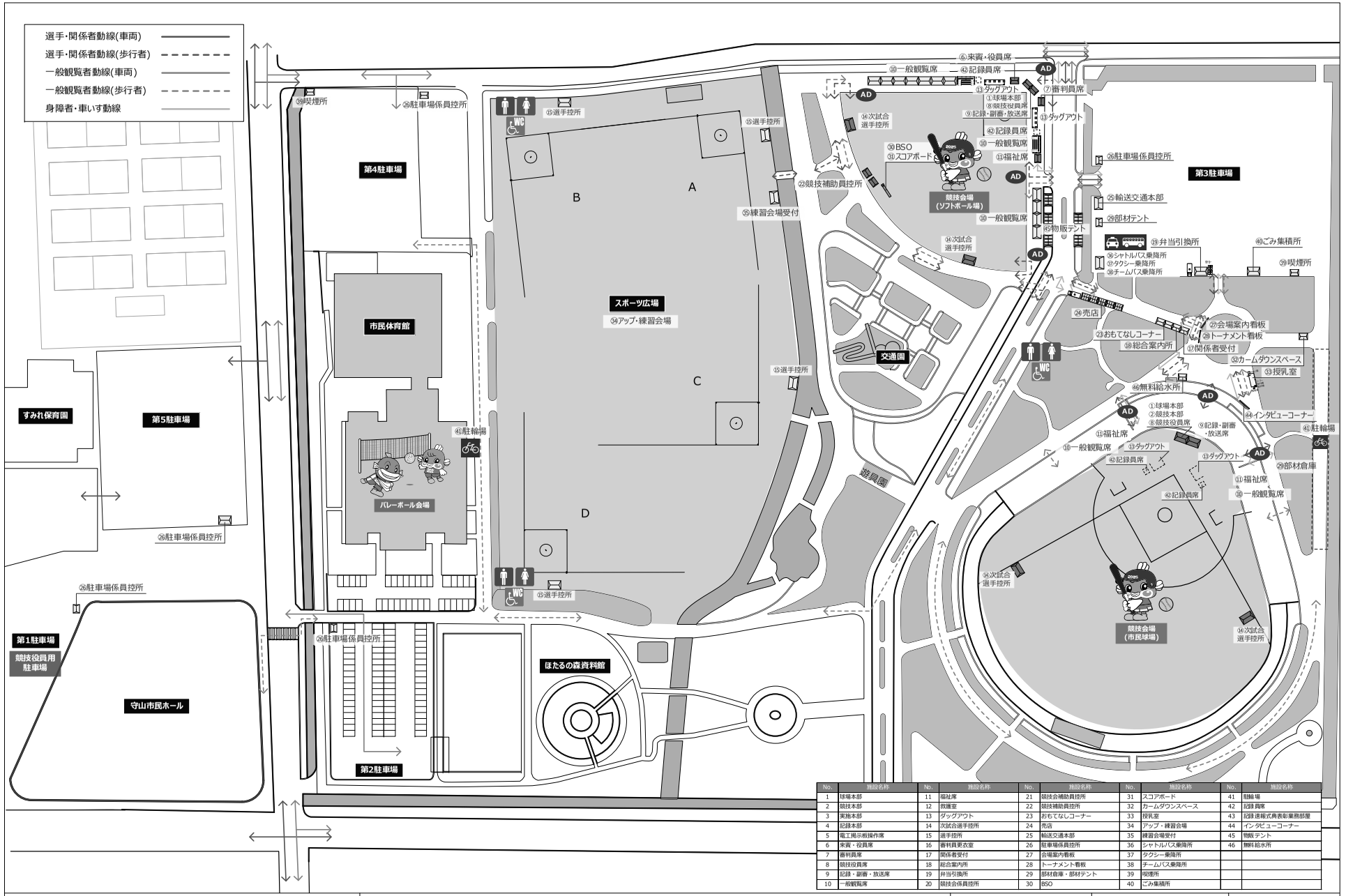
臨時駐車場 P バレーボール 競技役員駐車場

プール駐車場 P ソフトボール 競技役員駐車場

転回広場 P ボランティア 競技会係員駐車場

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ 草津市実行委員会	湖国の感動 未来へつなぐ わたSHIGA輝く国スポ 第79回国民スポーツ大会 2025	競技名	第79回国民スポーツ大会 バレーボール競技会・ソフトボール競技会	縮尺	S=1/1200(A3)
		図面名	会場周辺図 YMITアリーナ周辺・野村公園グラウンド	修正日	2025/08/25


ソフトボール
ソフトボール競技会場E面
ソフトボール競技会場F面
ソーニング物品凡例
イレクターフェンス
ローピング
競技備品凡例
外野フェンス
内野フェンス
ベンチ前フェンス
出入口フェンス
ソフトボール
NO 施設名称
1 競技本部
2 記録本部
3 球場本部・記録・放送席
4 来賓席
5 ボールパーソン席
6 審判員席
7 ダッグアウト
8 選手荷物置場
9 視察員・報道員席
10 福祉席
11 一般観覧席
12 得点掲示係員控所
13 次試合選手控所
14 アップ場
15 競技役員控所
16 競技補助員控所
17 救護席・競技会係員控所
18 記録速報所
19 弁当引換所
20 仮設トイレ
21 実施本部
22 救護所
23 チームム係控所
24 ドリンクテント
わたSHIGA輝く国スポ・障スポ 草津市実行委員会
湖国の感動 未来へつなぐ わたSHIGA輝く国スポ2025 第79回国民スポーツ大会
競技名 第79回国民スポーツ大会 ソフトボール競技会
図面名 会場配置図 野村公園グラウンド
縮尺 S=1/600(A3)
修正日 2025/08/25



No.	施設名称	No.	施設名称	No.	施設名称	No.	施設名称	No.	施設名称
1	球場本部	11	福祉席	21	競技会補助員控所	31	スコアボード	41	駐輪場
2	競技本部	12	救護室	22	競技補助員控所	32	カームダウンスペース	42	記録員席
3	実施本部	13	ダッグアウト	23	おもてなしコーナー	33	授乳室	43	記録速報式典表彰業務部屋
4	記録本部	14	次試合選手控所	24	売店	34	アップ・練習会場	44	インタビューコーナー
5	電工掲示板操作席	15	選手控所	25	輸送交通本部	35	練習会場受付	45	物販テント
6	来賓・役員席	16	審判員更衣室	26	駐車場係員控所	36	シャトルバス乗降所	46	無料給水所
7	審判員席	17	関係者受付	27	会場案内看板	37	タクシー乗降所		
8	競技役員席	18	総合案内所	28	トーナメント看板	38	チームバス乗降所		
9	記録・副審・放送席	19	弁当引換所	29	部材倉庫・部材テント	39	喫煙所		
10	一般観覧席	20	競技会係員控所	30	BSO	40	ごみ集積所		

PROJECT. わたSHIGA輝く国スポ・障スポ

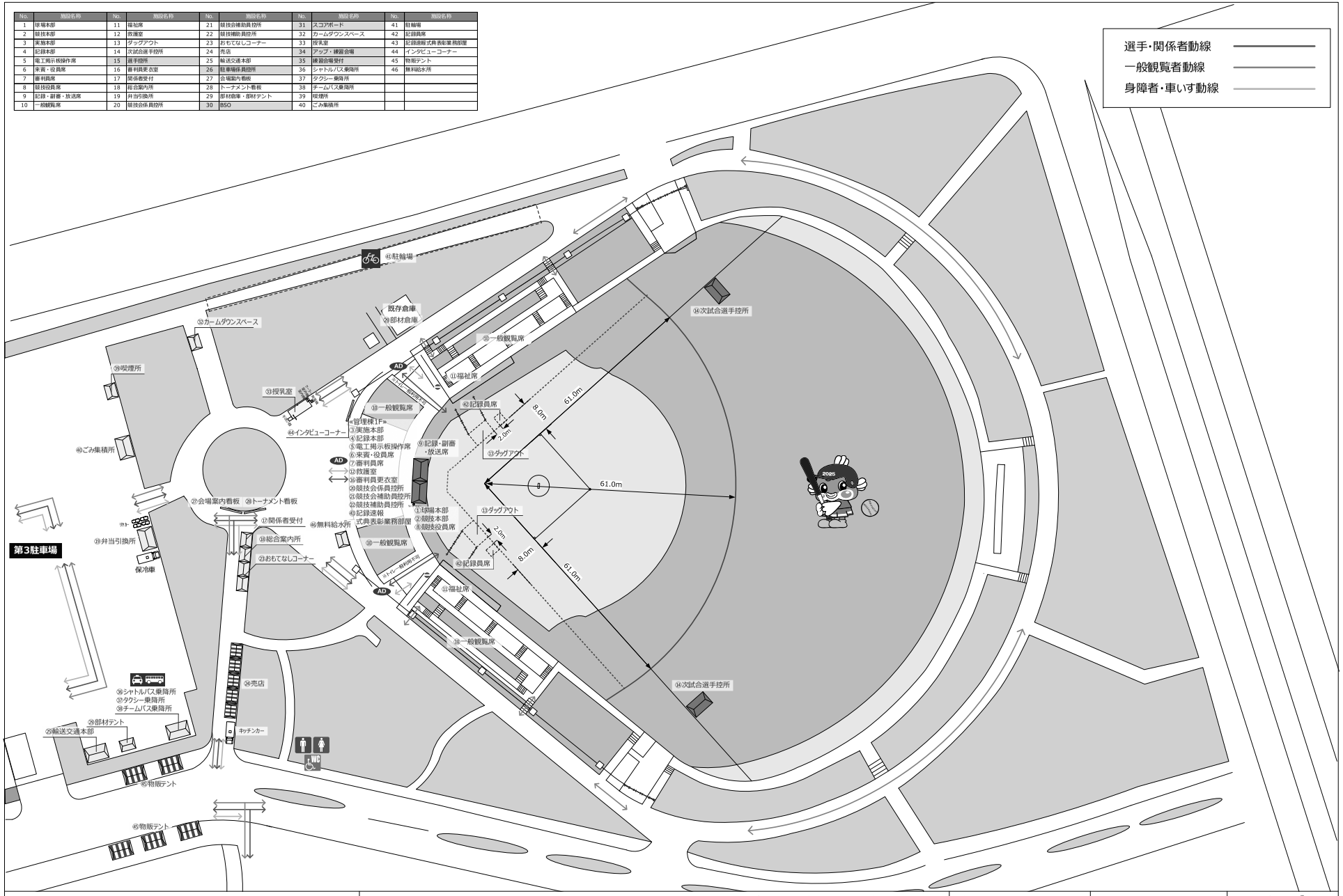
SUBJECT. わたSHIGA輝く国スポ ソフトボール競技（少年女子）
守山市民運動公園 会場配置・ゾーニング図

SCALE. 1/1400

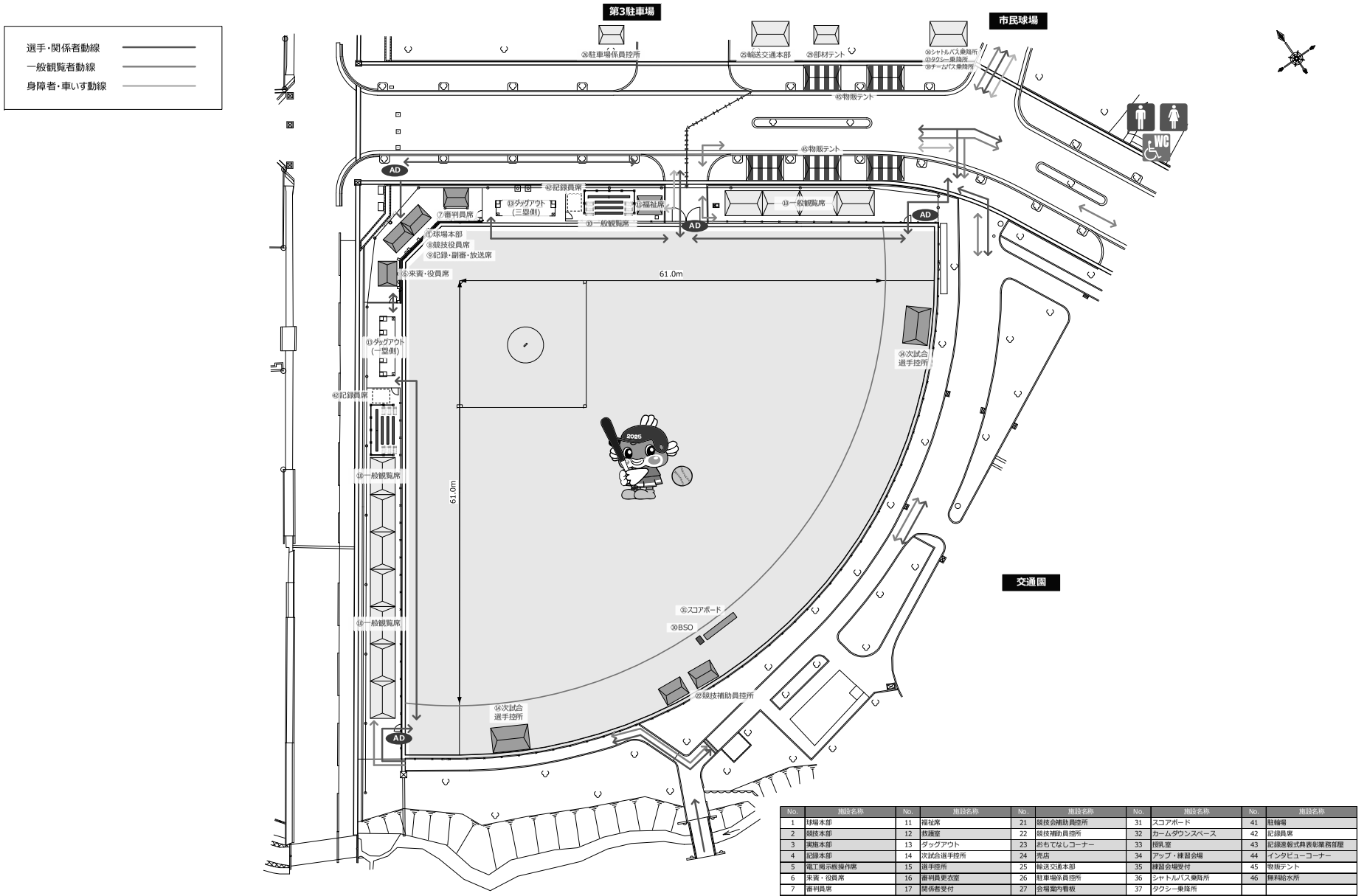
SIZE. A3

DATE. 2025.09.05

No.	施設名称	No.	施設名称	No.	施設名称	No.	施設名称	No.	施設名称
1	球場本部	11	福祉席	21	競技会補助員控所	31	スコアボード	41	駐輪場
2	競技本部	12	救護室	22	競技補助員控所	32	カームダウンスペース	42	記録員席
3	実施本部	13	ダッグアウト	23	おもてなしコーナー	33	授乳室	43	記録速報式典表彰業務部屋
4	記録本部	14	次試合選手控所	24	売店	34	アップ・練習会場	44	インタビューコーナー
5	電工掲示板操作席	15	選手控所	25	輸送交通本部	35	練習会場受付	45	物販テント
6	来賓・役員席	16	審判員更衣室	26	駐車場係員控所	36	シャトルバス乗降所	46	無料給水所
7	審判員席	17	関係者受付	27	会場案内看板	37	タクシー乗降所		
8	競技役員席	18	総合案内所	28	トーナメント看板	38	チームバス乗降所		
9	記録・副審・放送席	19	弁当引換所	29	部材倉庫・部材テント	39	喫煙所		
10	一般観覧席	20	競技係員控所	30	BSO	40	ごみ集積所		



PROJECT.	SUBJECT.	SCALE.	DATE.
わたSHIGA輝く国スポ・障スポ	わたSHIGA輝く国スポ ソフトボール競技（少年女子） 守山市民運動公園野球場 会場配置・ゾーニング図	1/350 SIZE. A3	2025.09.05



No.	施設名称	No.	施設名称	No.	施設名称	No.	施設名称	No.	施設名称
1	球場本部	11	福祉席	21	競技会補助員控所	31	スコアボード	41	駐輪場
2	競技本部	12	救護室	22	競技補助員控所	32	カームダウンスペース	42	記録員席
3	実施本部	13	ダッグアウト	23	おもてなしコーナー	33	授乳室	43	記録速報式典表彰業務部屋
4	記録本部	14	次試合選手控所	24	売店	34	アップ・練習会場	44	インタビューコーナー
5	電工掲示板操作席	15	選手控所	25	輸送交通本部	35	練習会場受付	45	物販テント
6	来賓・役員席	16	審判員更衣室	26	駐車場係員控所	36	シャトルバス乗降所	46	無料給水所
7	審判員席	17	関係者受付	27	会場案内看板	37	タクシー乗降所		
8	競技役員席	18	総合案内所	28	トーナメント看板	38	チームバス乗降所		
9	記録・副審・放送席	19	弁当引換所	29	部材倉庫・部材テント	39	喫煙所		
10	一般観覧席	20	競技会係員控所	30	BSO	40	ごみ集積所		

PROJECT. わたSHIGA輝く国スポ・障スポ

SUBJECT. わたSHIGA輝く国スポ ソフトボール競技（少年女子）
守山市民運動公園ソフトボール場 会場配置・ゾーニング図

SCALE. 1/500

SIZE. A3

DATE. 2025.09.05

競技会場：　東近江市総合運動公園布引多目的グラウンド（滋賀県東近江市芝原町1503）

練習会場：　長山公園（滋賀県東近江市上大森町370）

■雨天時 / 湖東体育館（滋賀県東近江市池庄町488）

蒲運動公園グラウンド第一グラウンド（滋賀県東近江市南町50）

■雨天時 / 蒲生体育館（滋賀県東近江市市子川原町679）

競技会場： 高島市今津総合運動公園第１グラウンド・第２グラウンド
（滋賀県高島市今津町日置前3110）
練習会場： 高島市今津総合運動公園第２グラウンド・第４グラウンド
（滋賀県高島市今津町日置前3110）
■雨天時 / 高島市今津総合運動公園サンルーフ今津
（滋賀県高島市今津町日置前3110）

競技会場：草津市立野村運動公園グラウンド（滋賀県草津市野村三丁目2-5）※3日目は練習会場
練習会場：矢橋帰帆島公園多目的グラウンド（滋賀県草津市矢橋町字帰帆2109）
■雨天時 / 草津市立ふれあい体育館（滋賀県草津市草津町1486-1）
常盤小学校（滋賀県草津市志那中町119）松原中学校（滋賀県草津市下笠町111）

会場案内図（草津市立野村運動公園グラウンド）
野村
びわ湖通り
大江霊仙寺線
YMITアリーナ
（くさつシティアリーナ）
西大路南
競技会場
草津市立野村運動公園グラウンド
新田会館
143

競技会場：守山市民球場・守山市民運動公園ソフトボール場（滋賀県守山市石田町335）
練習会場：守山市民運動公園市民スポーツ広場（滋賀県守山市三宅町94）
■雨天時 / 環境学習都市宣言記念公園（もりやまエコパーク）
（滋賀県守山市環境学習都市宣言記念公園1-1）
中洲小学校（滋賀県守山市幸津川町1406）速野小学校（滋賀県守山市木浜町112）
守山市民交流センター（さんさん守山）（滋賀県守山市守山二丁目16-45）
玉津小学校（滋賀県守山市赤野井町9-1）

会場案内図（守山市民球場・守山市民運動公園ソフトボール場）
42
147
競技会場
守山市民運動公園ソフトボール場
競技会場
守山市民球場
147
すこやか通り
守山市民ホール
立命館守山中高
市民ホール通り
くすの木通り
語らい学び舎通り
ふれあい通り
146

関係機関電話番号一覧（成年男子）

■実行委員会事務局

名称	所在地	連絡先
わたSHIGA輝く国スポ・障スポ 東近江市実行委員会	滋賀県東近江市八日市緑町10番５号	0748－24－5675

■競技会場

名称	所在地	連絡先
東近江市総合運動公園 布引多目的グラウンド	滋賀県東近江市芝原町1503	0748－20－1230

■監督会議、審判・記録員会議会場

名称	所在地	連絡先
東近江市役所　東庁舎東Ｄ会議室 （監督会議）	滋賀県東近江市八日市緑町10番５号	0748－24－5675
東近江市役所　東庁舎東Ｄ会議室 （審判会議）		
東近江市役所　東庁舎東E会議室 （記録員会議）		

■警察・消防・保健所

名称		所在地	連絡先
警察	東近江警察署	滋賀県東近江市八日市緑町26番18号	0748－24－0110
消防	東近江行政組合消防本部	滋賀県東近江市東今崎町５番33号	0748－22－7600
保健所	東近江健康福祉事務所 （東近江保健所）	滋賀県東近江市八日市緑町８番22号	0748－22－1253

■二次病院及び二次小児病院担当日割り

名称		所在地	連絡先
27日	東近江総合医療センター	東近江市五智町255	0748－22－3030
28日	近江八幡医療センター	近江八幡市土田町1379	0748－33－3151
29日	湖東記念病院	東近江市平松町２－１	0749－45－5000
30日	東近江医療センター	東近江市五智町255	0748－22－3030
１日	近江八幡医療センター	近江八幡市土田町1379	0748－33－3151

■タクシー

名称	所在地	連絡先
滋賀タクシー(株)八日市営業所	東近江市上之町120－2	0748-24-1201
永源寺タクシー(株)本社営業所	東近江市山上町3687	0748-27-1151
滋賀第一タクシー(株)近江八幡営業所	近江八幡市西生来町1558	0748-37-7913
近江タクシー(株)湖東営業所	近江八幡市上田町84－3	0748-37-4133

関係機関電話番号一覧（成年女子）

■実行委員会事務局

名称	所在地	連絡先
わたSHIGA輝く国スポ・障スポ高島市実行委員会	滋賀県高島市新旭町北畑565番地	0740-25-8567

■競技会場

名称	所在地	連絡先
高島市今津総合運動公園	滋賀県高島市今津町日置前3110	0740-22-5555

■監督会議、審判・記録員会議会場

名称	所在地	連絡先
【監督会議】高島市役所 新館3階 会議室10、11、12	滋賀県高島市新旭町北畑565番地	0740-25-8567
【審判・記録員会議】高島市役所 新館3階　会議室9、10	滋賀県高島市新旭町北畑565番地	0740-25-8567

■警察・消防・保健所

名称		所在地	連絡先
警察	高島警察署	滋賀県高島市今津町中沼二丁目4番地	0740-22-0110
消防	高島市消防本部	滋賀県高島市今津町日置前5150番地	0740-22-1234
保健所	高島保健所	滋賀県高島市今津町今津448番地45	0740-22-2525

■休日在宅当番医等

名称		所在地	連絡先
29日	高島市民病院	滋賀県高島市勝野1667番地	0740-36-0220
30日			
1日			

■タクシー

名称	所在地	連絡先
大津第一交通株式会社高島営業所	滋賀県高島市新旭町北畑807番地2	0740-32-4000

関係機関電話番号一覧（少年男子）

■実行委員会事務局

名称	所在地	連絡先
わたSHIGA輝く国スポ・障スポ 草津市実行委員会	滋賀県草津市草津三丁目１３番３０号	077-561-6896

■競技会場

名称	所在地	連絡先
草津市立野村運動公園グラウンド	滋賀県草津市野村三丁目２番５号	077-563-1265

■監督会議、審判・記録員会議会場

名称	所在地	連絡先
【監督会議】 草津市役所　８階大会議室	滋賀県草津市草津三丁目１３番３０号	077-561-6896
【審判・記録員会議】 草津市役所　８階大会議室		
【審判会議】 草津市役所　８階大会議室		
【記録員会議】 草津市役所　２階特大会議室		

■警察・消防・保健所

名称		所在地	連絡先
警察	草津警察署	滋賀県草津市野村三丁目１番１１号	077-563-0110
消防	西消防署	滋賀県草津市上笠町４７７番地１	077-568-0119
保健所	草津保健所	滋賀県草津市草津三丁目１４番７５号	077-562-3526

■休日在宅当番医等

名称		所在地	連絡先
27日	淡海医療センター	滋賀県草津市矢橋町１６６０番地	077-563-8866
28日	淡海医療センター	滋賀県草津市矢橋町１６６０番地	077-563-8866

■タクシー

名称	所在地	連絡先
桜タクシー㈱	滋賀県草津市矢橋町２１番地５	077-569-2655
㈱帝産タクシー滋賀	滋賀県草津市山寺町１９２番地１	077-562-3022
滋賀ヤサカ自動車㈱草津営業所	滋賀県草津市南笠東一丁目１番５５号	077-522-6767
近江タクシー㈱守山営業所	滋賀県守山市古高町２３０番地	077-582-5200
滋賀エムケイ㈱栗東営業所	滋賀県栗東市高野１９５番地１号	077-526-4141
滋賀第一交通㈱栗東営業所	滋賀県栗東市大橋七丁目７番８号	0120-553-043
滋賀タクシー㈱草津営業所	滋賀県栗東市小柿八丁目７番５号	077-553-1211

関係機関電話番号一覧（少年女子）

■実行委員会事務局

名称	所在地	連絡先
わたSHIGA輝く国スポ・障スポ守山市実行委員会事務局	滋賀県守山市吉身二丁目5番22号	077-582-1169

■競技会場

名称	所在地	連絡先
守山市民球場	滋賀県守山市石田町335番地	077-583-5354
守山市民運動公園ソフトボール場	滋賀県守山市石田町335番地	077-583-5354

■監督会議、審判・記録員会議会場

名称	所在地	連絡先
＜監督会議＞ 守山市民ホール　学習室１	滋賀県守山市三宅町125番地	077-582-1169
＜審判・記録員議＞ 守山市民ホール　会議室・学習室3	滋賀県守山市三宅町125番地	077-582-1169

■警察・消防・保健所

名称		所在地	連絡先
警察	滋賀県守山警察署	滋賀県守山市金森町494番地	077-583-0110
消防	湖南広域消防局　北消防署	滋賀県守山市石田町377-1	077-584-2119
保健所	草津保健所（南部健康福祉事務所）	滋賀県草津市草津3-14-75	077-562-3526

■タクシー

名称	所在地	連絡先
近江タクシー株式会社　守山営業所	滋賀県守山市古高町230	077-582-0106
守山タクシー株式会社	滋賀県守山市守山3-3-44	077-582-2590

JSPO
Japan Sport Association

スポーツと、望む未来へ。

わたしたちは、JAPAN GAMES を応援しています。

Otsuka 大塚製薬　MIZUNO　三井住友海上 MS&AD INSURANCE GROUP

セレスポ　時事通信

『スポハラ（スポーツ・ハラスメント）』とは？

「スポハラ（スポーツ・ハラスメント）」とは、スポーツの現場において、「暴力」、「暴言」、「ハラスメント」、「差別」など“安全・安心にスポーツを楽しむことを害する行為”のことです。

指導者と指導を受ける者との関係のみならず、スポーツの現場における関係者の誰によっても、また誰に対してであっても、スポハラは起こりえます。

JSPO Japan Sport Association　Japanese Olympic Committee　JPSA　UNIVAS

『スポハラ』根絶に向けた取組み

JSPO
Japan Sport Association

NO! スポハラ

スポーツ・ハラスメント
（暴力・暴言・ハラスメントなど）に、
みんなが『NO ！』と言う社会を目指して

スポーツにおける暴力行為等相談窓口（ぼうりょくこういとうそうだんまどぐち）

どなたでもご利用（りよう）可能（かのう）！

お気軽（きがる）にご相談（そうだん）ください

スポーツにおける暴力行為等根絶宣言・
スポーツ・インテグリティ確保に関する協力覚書»

JSPO
Japan Sport Association

JSPO事業についてはこちら»»»JSPO事業概要パンフレット「スポーツと、望む未来へ。」

『スポハラ』根絶に向けた取組み JSPO Japan Sport Association

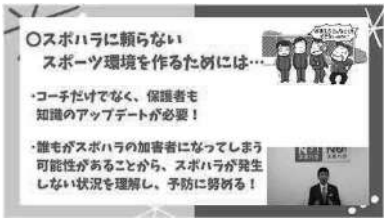
グッドコーチとして適切に対応するための動画・ワークブックの公開

JSPO グッドコーチ

スポーツ現場におけるハラスメント防止動画・情報発信動画の公開

＜スポーツ現場におけるハラスメント防止動画＞

＜「スポハラ」に関する情報発信動画＞



ハラスメント防止・啓発セミナーの実施

＜令和6（2024）年度の様子（計4会場で実施）＞

「NO！スポハラ」活動に関する各種広報資料・動画の公開

＜過去開催した研修会等の動画公開＞

＜ポスター・ロゴ等広報ツール＞

NO! スポハラ NO! スポハラ
私たちは、「スポハラ」のないスポーツ界を目指します。

アスリートの盗撮、写真・動画の悪用、悪質なSNS投稿は卑劣な行為です。

スポーツは、子供から大人まで誰もが楽しめるものです。そのためにも安心してスポーツに取り組める環境を守っていく必要があります。
盗撮はもちろん、アスリートの写真・動画を使用した性的目的のSNS投稿やWEB掲載は、アスリート、更には多くのファン、家族、関係者を傷つける絶対に許されない卑劣な行為です。
すべてのアスリートが競技に集中し、スポーツを心から楽しめる環境を守るため、スポーツ界全体でこの問題に取り組みます。

- 大会における盗撮防止事例を共有し、各大会での防止策の取り組みを後押しします。
- 研修等を通じ、アスリート自身がネットやSNSで身を守る必要性を啓発していきます。
- SNS投稿やWEB掲載の実態把握に努め、関係機関に共有していきます。

この問題を解決するには皆さんのご理解が欠かせません。
これからも安心してスポーツができる環境を守るために、ご理解ご協力をお願いいたします。

安全な環境を、すべてのスポーツ愛好者のために。

SAVE ATHLETES, SAVE SPORT.

大会会場で盗撮等が疑われる行為を見かけましたら大会主催者にお知らせください。

アスリートを傷つける性的目的のSNS投稿やWEB掲載を見かけましたら下記サイトよりご連絡ください。
今後の対応に活用するとともに、悪質な事例については当局への通報も検討します。

https://www.joc.or.jp/about/savesport/

- 盗撮は迷惑防止条例で犯罪として処罰される可能性があります。
- SNS等で本人の名誉を傷つける書き込みは犯罪（名誉毀損罪）として処罰される可能性があります。
- 匿名による投稿であっても、法的手続により、投稿者が特定され、損害賠償請求の対象になる可能性があります。

公益財団法人 日本オリンピック委員会　公益財団法人 日本スポーツ協会　公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会　一般社団法人 大学スポーツ協会
公益財団法人 全国高等学校体育連盟　公益財団法人 日本中学校体育連盟　独立行政法人 日本スポーツ振興センター

勝利を超える価値がある

私たちは信じる。

正々堂々と競いあう潔さを。

相手をリスペクトすることで生まれる友情や感動を。

まっすぐ挑戦しつづける、そこに、

自分や、仲間や、社会さえ変える力があることを。

さあ、すべては、私たちの中にある

フェアネスの心からはじまる。

スポーツのフェアネスが、社会のフェアネスを支えるために。

JADA PLAY TRUE
Japan Anti-Doping Agency

湖国の感動 未来へつなぐ
わたSHIGA輝く国スポ 第79回国民スポーツ大会 2025

公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構

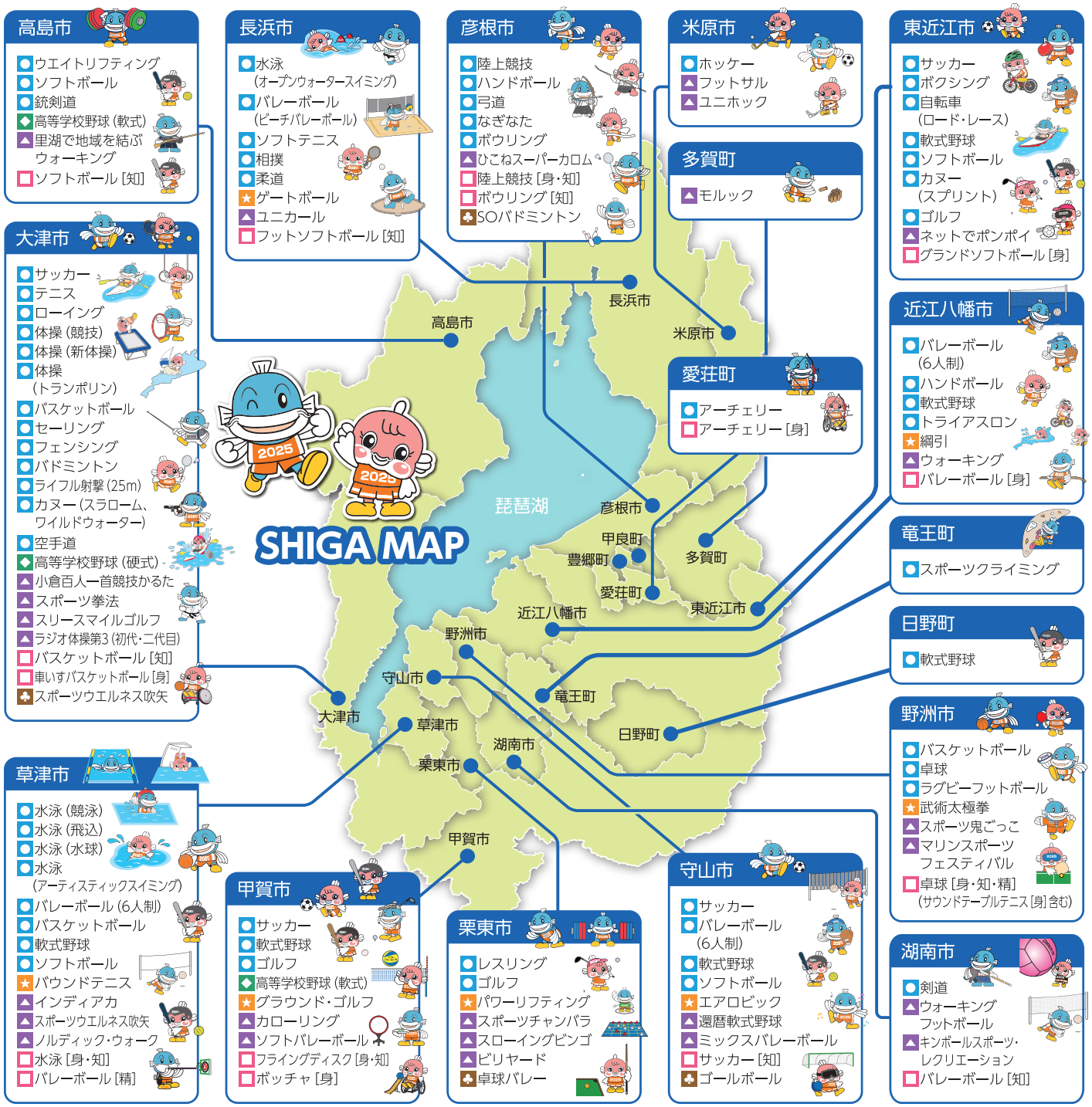
スポーツ庁委託事業
Copyright © JAPAN Anti-Doping Agency All Rights Reserved.
Ver.201903

MEMO

MEMO

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ 競技会場地マップ

2025年8月現在



国民スポーツ大会

- ○ 正式競技（37競技）
- ◆ 特別競技（1競技）
- ★ 公開競技（7競技）
- ▲ デモンストレーションスポーツ（26競技）

全国障害者スポーツ大会

- □ 正式競技（14競技）
- ♣ オープン競技（4競技）

［身］＝身体障害者　［知］＝知的障害者　［精］＝精神障害者

※国スポ競技会の詳細については各競技会場市町にお問合せください。
※所在地と運営準備市町が異なる場合があります。

県外開催競技

京都府 向日市	大阪府 豊能郡能勢町	兵庫県 三木市
○ 自転車（トラック・レース）	○ ライフル射撃（50m、10m、BR・BP）	○ 馬術

びわこ国体・びわこ大会から44年ぶりの開催！

国スポ実施期間 令和7年 9月28日(日)～10月8日(水)［11日間開催］
国スポ会期前実施競技 令和7年9月6日(土)～9月15日(月)、令和7年9月21日(日)～9月25日(木)
障スポ実施期間 令和7年10月25日(土)～10月27日(月)［3日間開催］

大会PR動画を公開！ さらなる高みを目指して、日々努力するアスリートの姿を臨場感あふれる競技音と合わせてご覧ください。

大会公式SNS・HPはコチラから！ 滋賀2025 検索

Instagram　X　大会HP

2024年から国民体育大会（国体）は、国民スポーツ大会（国スポ）に名称変更されました。

VEGETABLE OIL INK

湖国の感動 未来へつなぐ

わたSHIGA輝く 国スポ・障スポ2025

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

競技結果速報ページ

開設期間 ： 令和７年９月１日 ～ １２月２６日

▶ PC・スマホ

https://kirokukensaku.net/5NS25/index.html

▶ フィーチャーフォン

http://kirokukensaku.net/5NS25/mob/index.html

国スポの観覧・観戦に関するお問合せ

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会

事務局コールセンター 0120-550-882 10/31まで毎日（9：00～18：00）

国スポチャンネル

JAPAN GAMES 国スポチャンネル

37の正式競技の
決勝戦を中心に
「国スポチャンネル」で配信！

障スポチャンネル

14の正式競技の全試合を
「障スポチャンネル
(YouTube)」で配信！

実行委員会ホームページ

滋賀県
https://shiga-sports2025.jp/

高島市
https://www.city.takashima.lg.jp/kanko_bunka_sports/sport/1/index.html